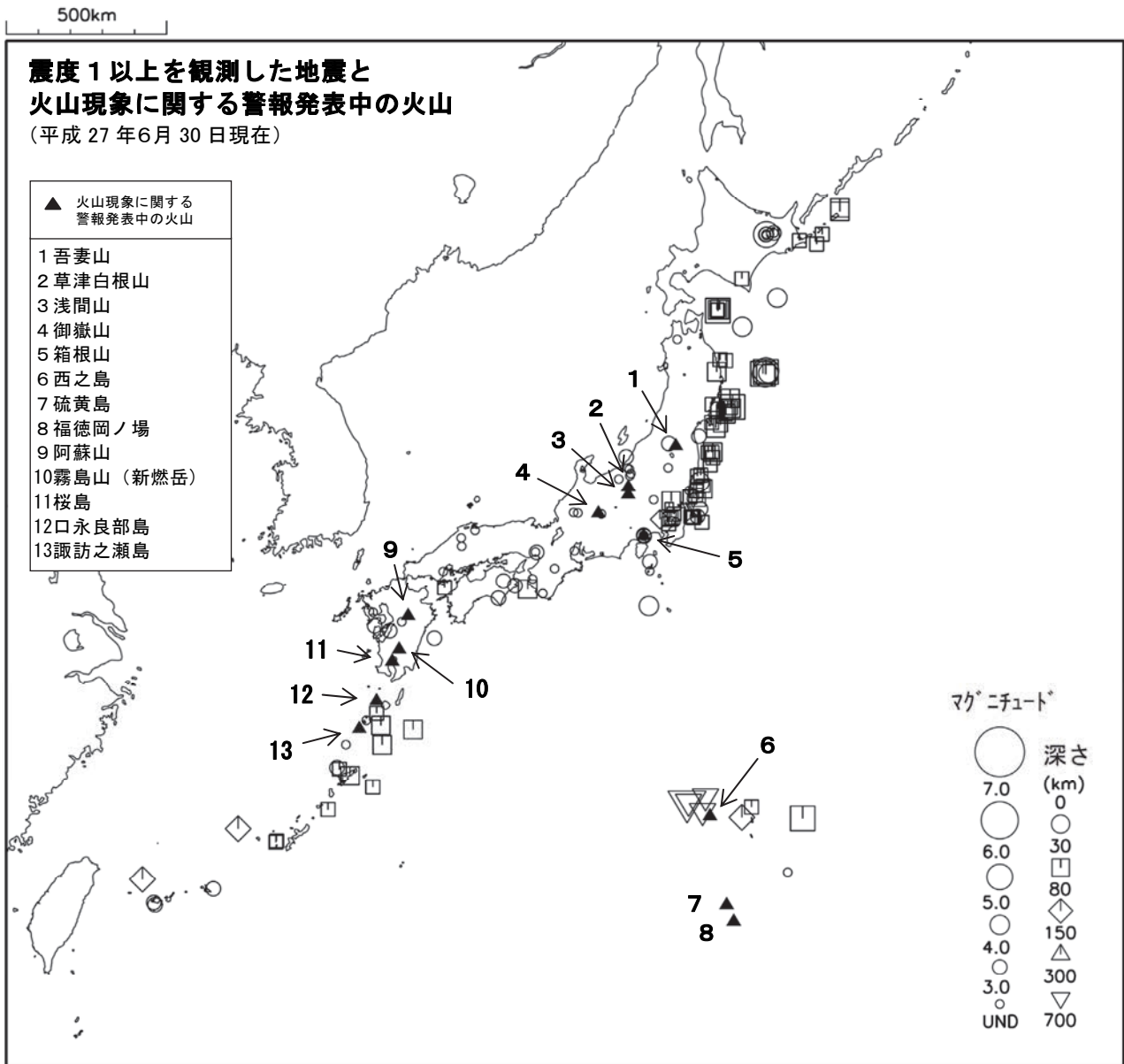


# 平成 27 年 6 月 地震・火山月報(防災編)

## Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

June 2015



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体\*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け\*\*、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 平成 27 年 6 月 30 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注\*\* 平成 27 年 6 月 30 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを基に作成している。また、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

### □ 本書利用上の注意

#### ・ 震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

#### ・ 発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

#### ・ 発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

#### ・ Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

#### ・ M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・ 震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

#### ・ 震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・ 地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

#### ・ 火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index\\_vcatalog.html](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html)]に掲載する。

#### ・ 本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

## 目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	7
東北地方の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	13
近畿・中国・四国地方の地震活動	16
九州地方の地震活動	17
沖縄地方の地震活動	18
その他の地域の地震活動	19
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	21
● 日本の主な火山活動	30
北海道地方	32
東北地方	33
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	33
九州地方及び南西諸島	36
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	41
資料 2 第 132 回火山噴火予知連絡会について	45
● 世界の主な地震	55
● 世界の主な火山活動	56
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	57
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	77
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	78
4. 緊急地震速報の提供状況	79
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	80
● 正誤表	81

## ●日本及びその周辺での主な地震活動

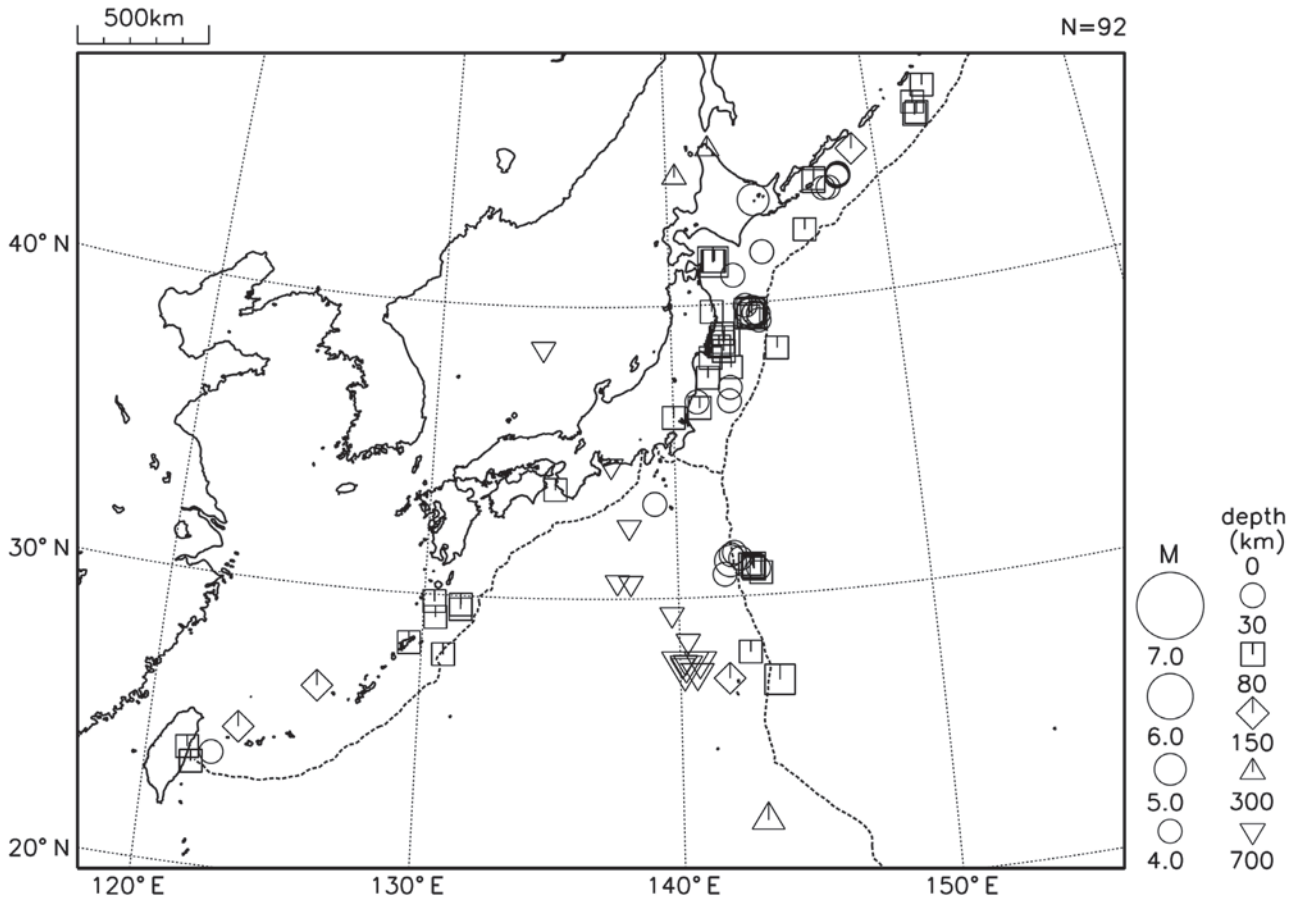


図 1 平成 27 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

6 月 4 日 04 時 34 分に網走地方で M5.0 の地震が発生した。この地震により、北海道釧路市で最大震度 5 弱を観測したほか、北海道東部で震度 3～1 を観測した。

平成 27 年（2015 年）6 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 160 回（5 月は 161 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 92 回（5 月は 84 回）であった。

6 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。6 月中に震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回であった。津波を観測した地震はなかった。（5 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 4 回であった。津波を観測した地震は 1 回であった。）

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震は次第に少なくなっているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な活動が継続している。6 月中に発生した M5.0 以上の地震の回数は 5 回（5 月は 3 回）であった。

表 1 平成 27 年 6 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M <sub>w</sub> (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	6 4 04 34	網走地方 <sup>注 6</sup>	5.0	4.8	・ ・ S ・	5 弱：北海道 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*	4、8
2	6 8 15 01	青森県東方沖	5.6	6.1	・ ・ S ・	4：青森県 東通村砂子又沢内* 階上町道仏*	4、11
3	6 9 05 44	茨城県南部	4.4	4.3	・ ・ S ・	4：栃木県 真岡市石島*	5、14
4	6 11 13 51	三陸沖	5.9	5.6	・ ・ ・ ・	3：岩手県 盛岡市玉山区薮川* など 3 県 6 地点	5、12
5	6 23 00 35	青森県東方沖	4.6	4.7	・ ・ S ・	4：青森県 東通村砂子又沢内*	5、11
6	6 23 21 18	小笠原諸島西方沖	6.8	6.5	M ・ S ・	4：東京都 小笠原村母島	6、20
7	6月29日～	神奈川県西部（箱根山 付近）の地震活動			・ ・ ・ ・	震度 1 以上を観測する地震が 15 回（震度 3：2 回、震度 2：3 回、震度 1：10 回）発生し、このうち最大規模の地震は、30 日 06 時 56 分に発生した M3.3 の地震（最大震度 3）	6、15

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）M<sub>w</sub>欄の「-」はM<sub>w</sub>が求められていないことを示す。

（注 4）M H S T の各項目について、M：M6.0 以上の地震、H：被害を伴った地震、S：震度 4 以上を観測した地震、T：津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある\*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注 6）情報発表に用いた震央地名は「釧路地方中南部」である。

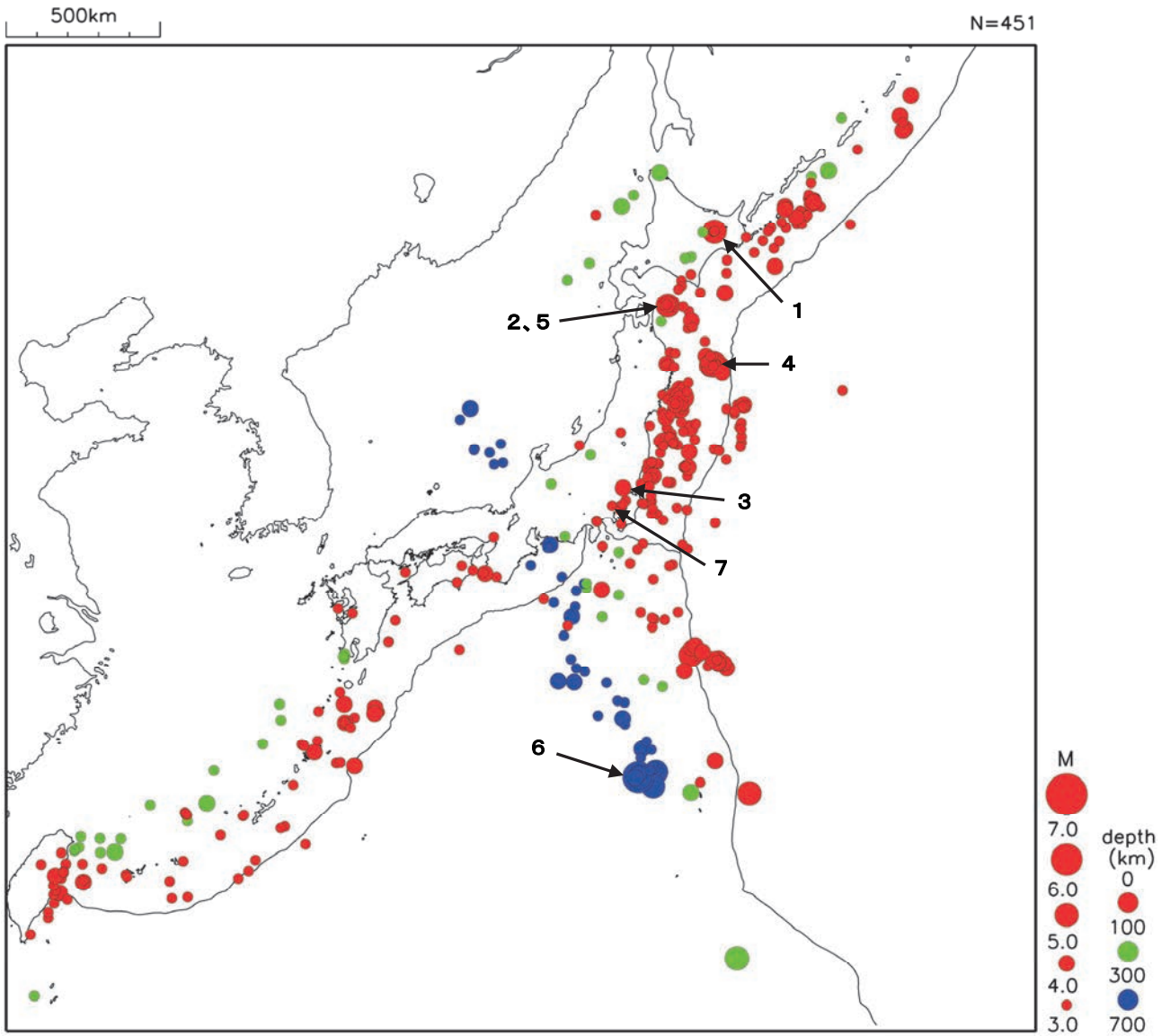
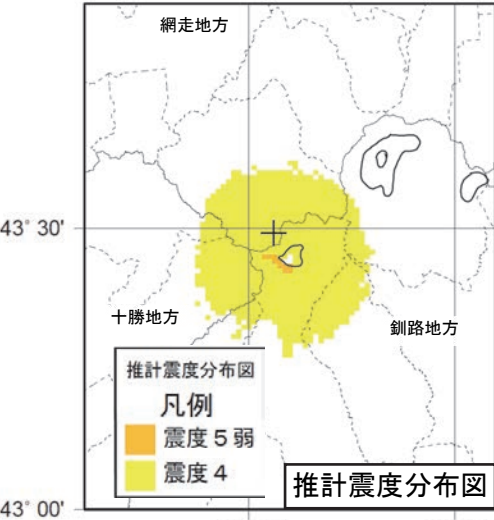
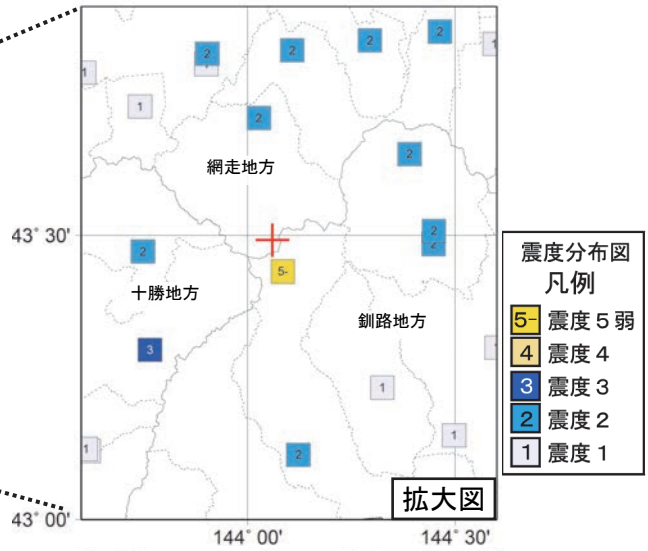
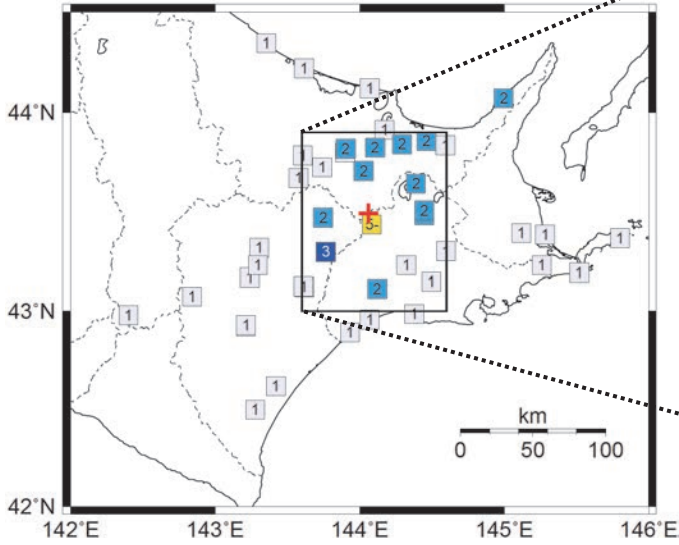


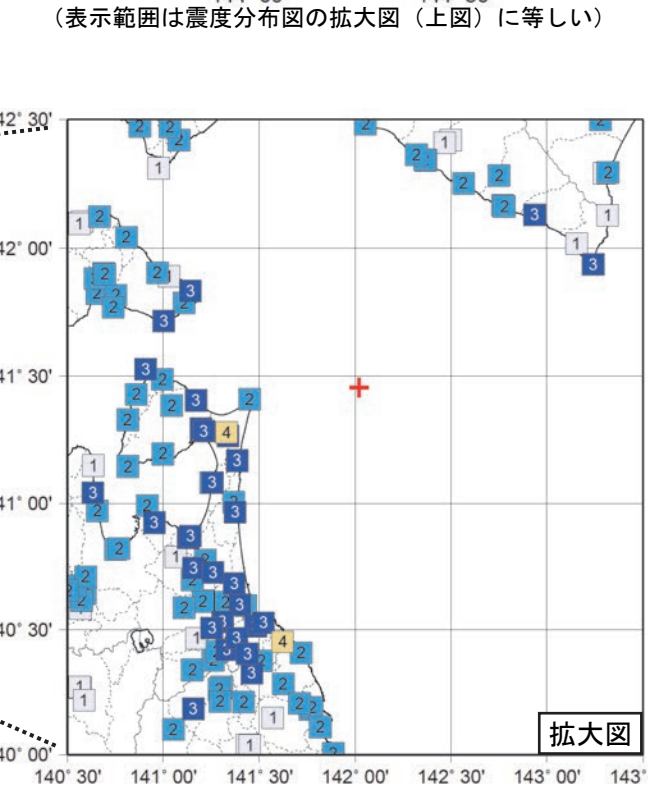
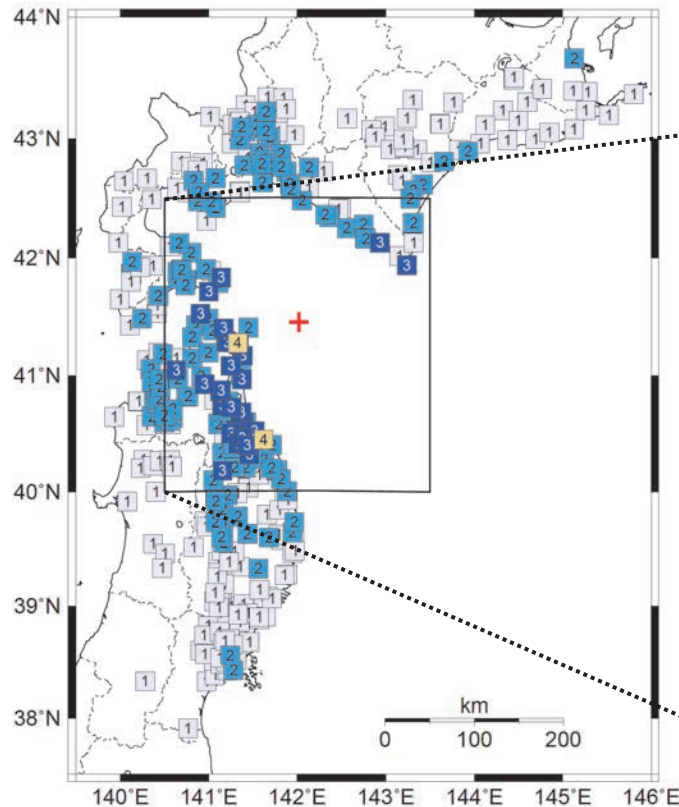
図 2 平成 27 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図  
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

1 6月4日 04時34分 網走地方  
(M5.0、ごく浅い、最大震度5弱)



<推計震度分布図について>  
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

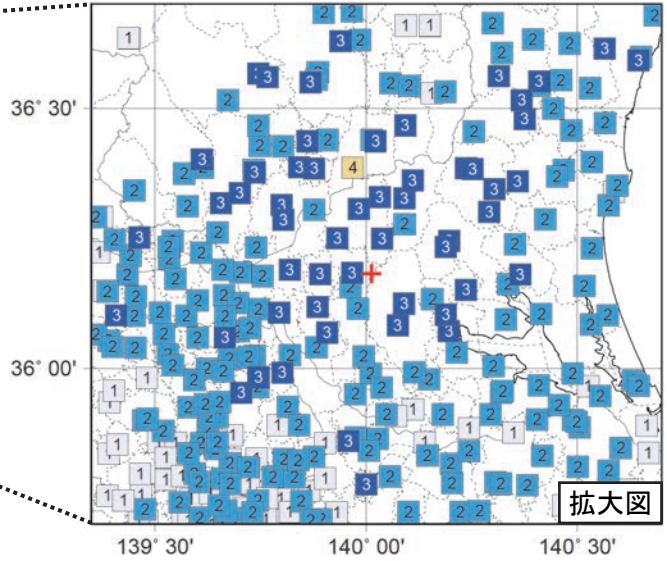
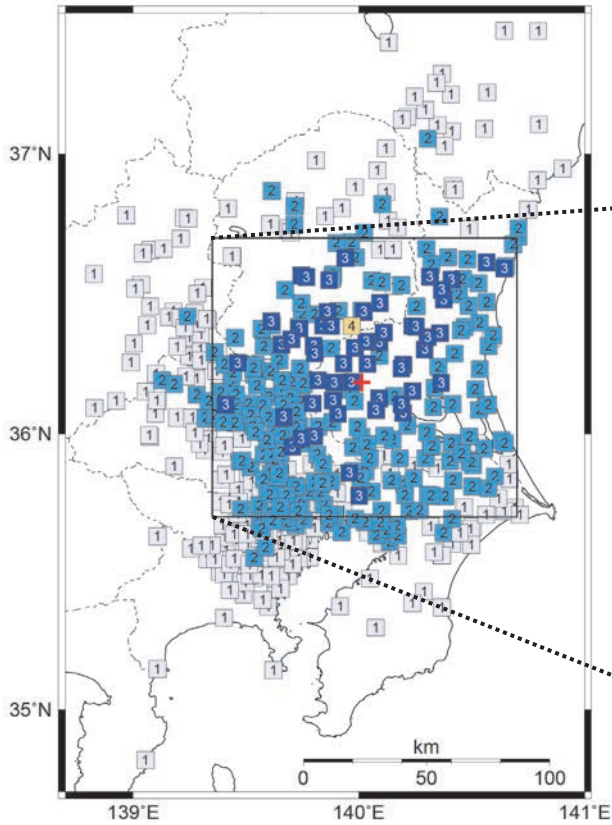
2 6月8日 15時01分 青森県東方沖  
(M5.6、深さ66km、最大震度4)



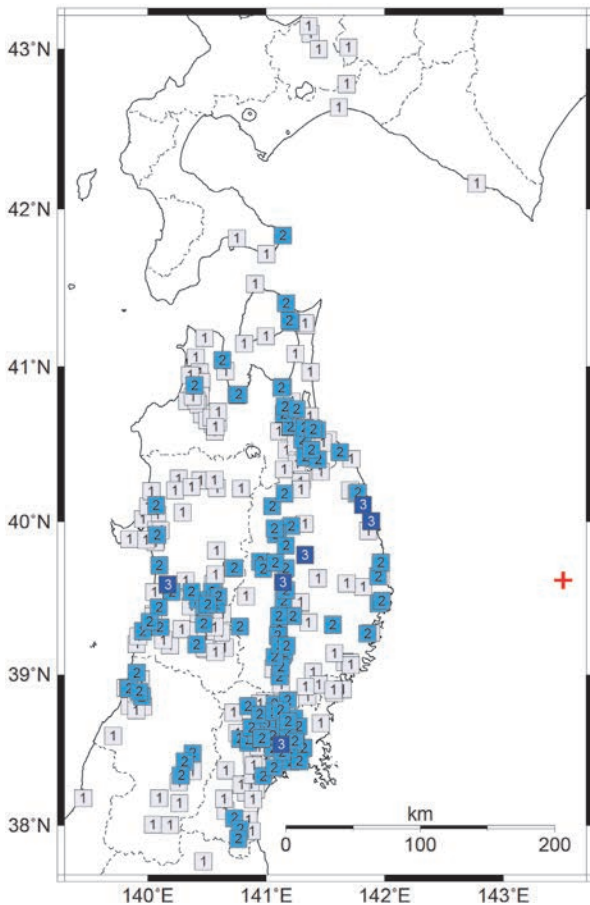
(表示範囲は震度分布図の拡大図(上図)に等しい)

図3-1 震度分布図(各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。)

3 6月9日 05時44分 茨城県南部  
(M4.4、深さ51km、最大震度4)



4 6月11日 13時51分 三陸沖  
(M5.9、最大震度3)



5 6月23日 00時35分 青森県東方沖  
(M4.6、深さ63km、最大震度4)

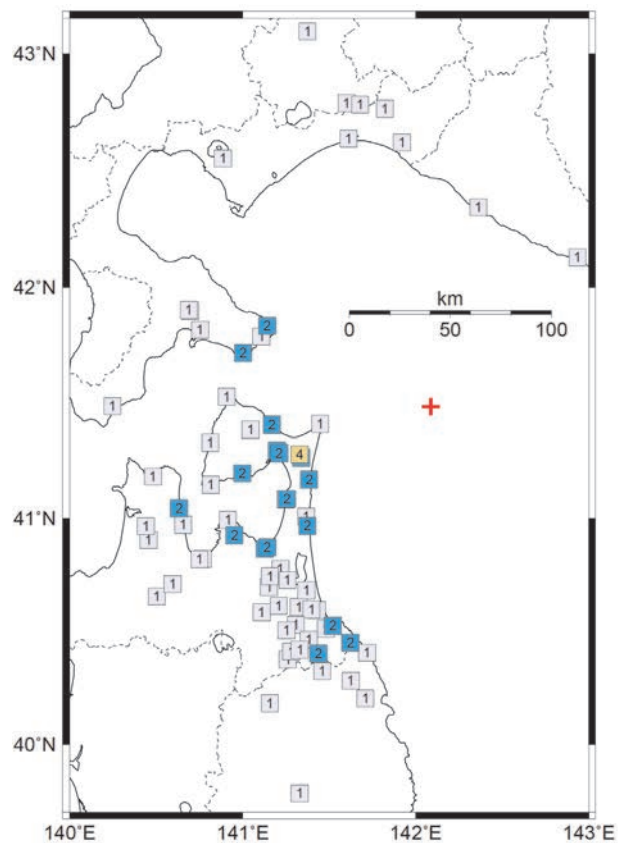
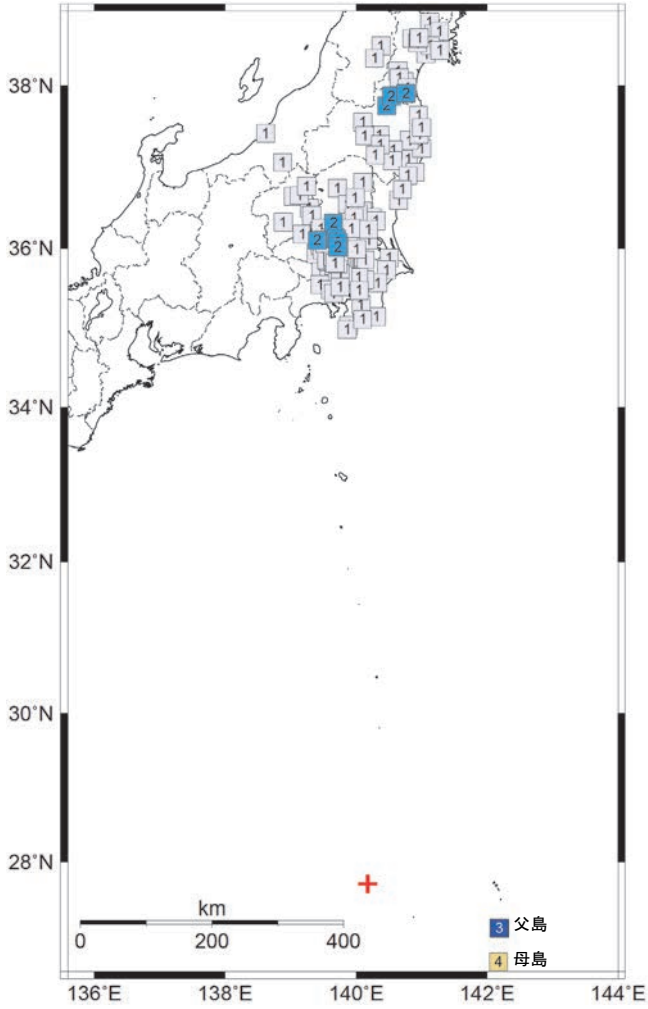


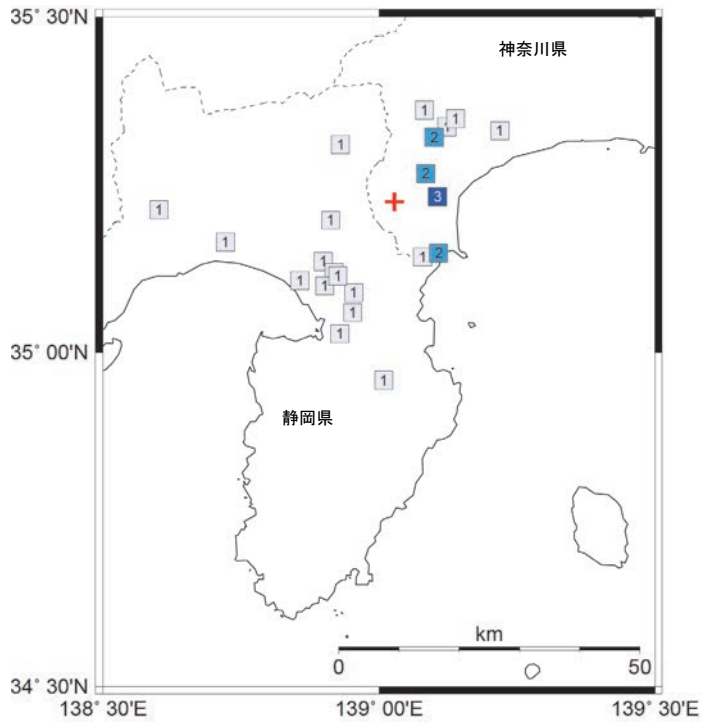
図 3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）



6 6月23日21時18分 小笠原諸島西方沖  
(M6.8、深さ484km、最大震度4)



7 6月30日06時56分 神奈川県西部  
(M3.3、深さ3km、最大震度3)  
※神奈川県西部（箱根山付近）の地震活動のうち、最大規模の地震の震度分布を表示



震度分布図 凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

## ○北海道地方の地震活動

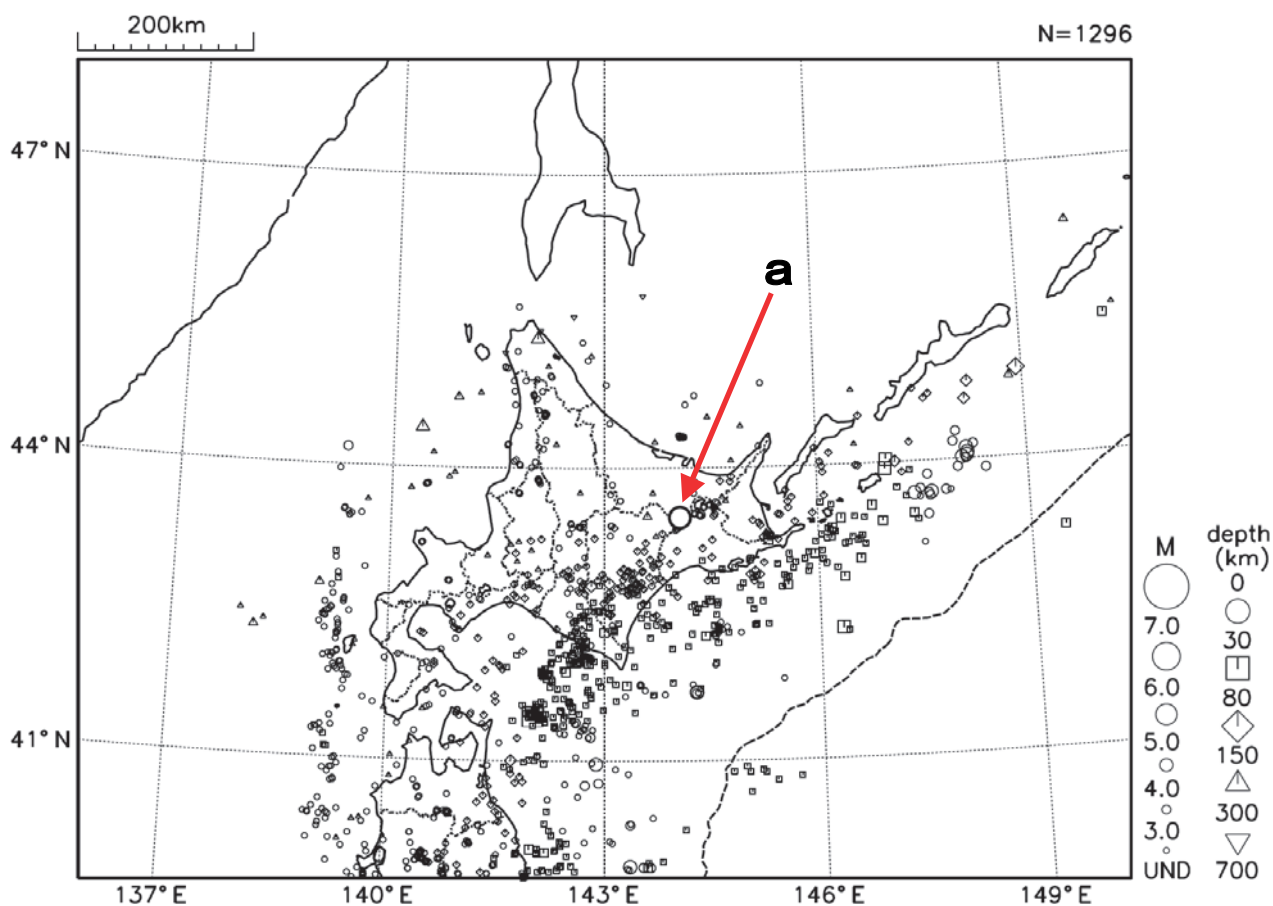


図 4 北海道地方の震央分布図（2015 年 6 月 1 日～6 月 30 日）

### [概況]

6 月に北海道地方で震度 1 以上を観測した地震は 31 回（5 月は 16 回）であった。6 月中の主な活動は次のとおりである。

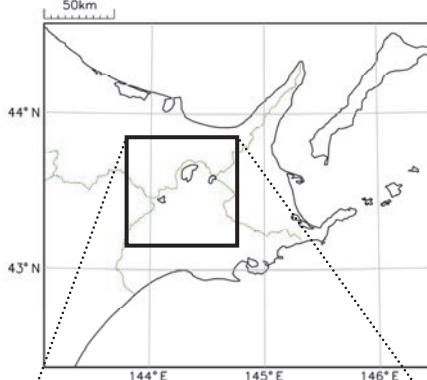
4 日 04 時 34 分に網走地方のごく浅い場所で M5.0 の地震（図 4 中の a）が発生し、釧路市阿寒町で震度 5 弱を観測したほか、北海道東部で震度 3～1 を観測した（p 4、8 参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔釧路地方中南部〕である。

## 6 月 4 日 網走地方の地震

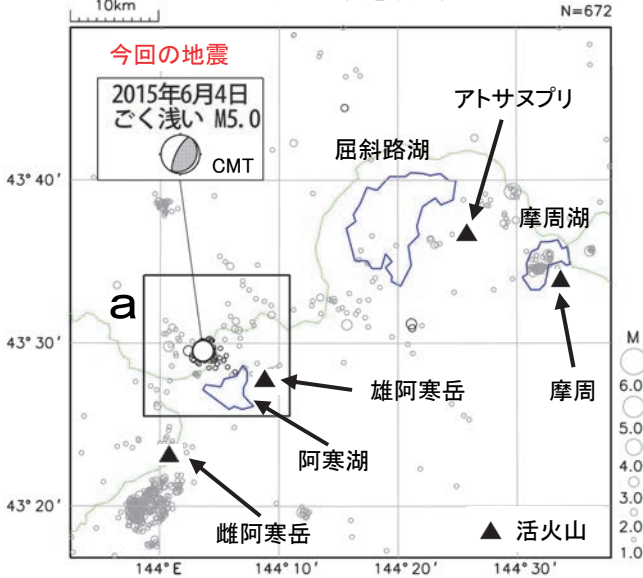
情報発表に用いた震央地名は〔釧路地方中南部〕である。

北海道東部の地図



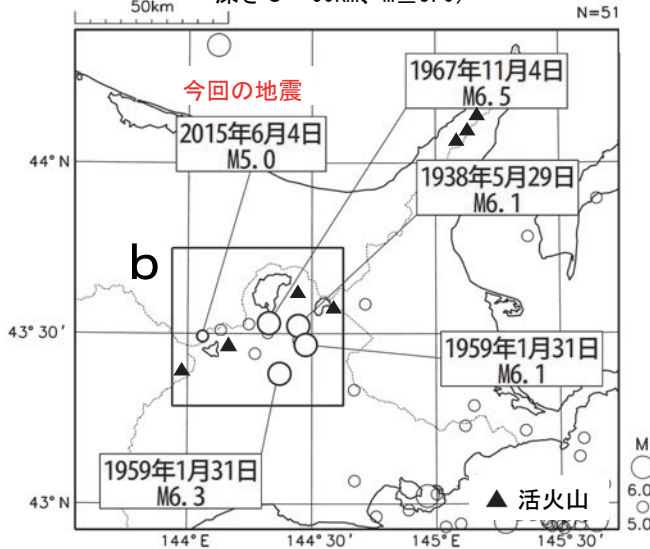
震央分布図

(2001 年 10 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
深さ 0～30km、 $M \geq 1.0$ )  
2015 年 6 月の地震を濃く表示



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
深さ 0～60km、 $M \geq 5.0$ )

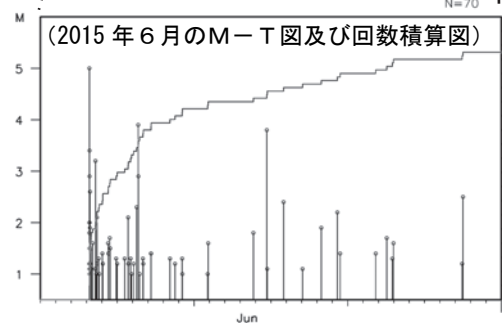
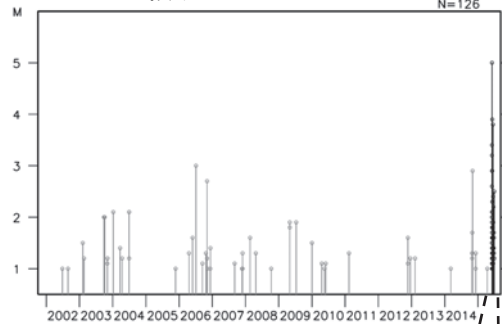


2015 年 6 月 4 日 04 時 34 分に網走地方のごく浅い場所で  $M5.0$  の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構（CMT 解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震の後、震度 1 以上を観測した余震が 12 回（震度 3：3 回、震度 2：4 回、震度 1：5 回）発生している（6 月 30 日現在）。

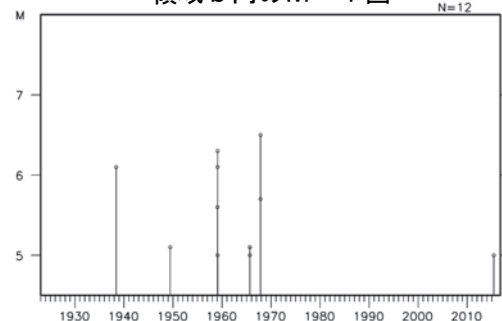
2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、 $M4.0$  以上の地震は初めてである。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では  $M5.0$  以上の地震がしばしば発生していたが、1968 年以降は  $M5.0$  以上の地震は発生していなかった。1938 年 5 月 29 日に発生した  $M6.1$  の地震（最大震度 5：区内観測所（委託観測）による）では、死者 1 人、家屋倒壊 5 棟、半潰 2 棟、破損 36 棟などの被害が生じた。なお、この地震により屈斜路湖では小津波と思われる高さ 90cm の水位変化があった（被害と水位変化は「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図



領域 b 内の M-T 図



## ○東北地方の地震活動

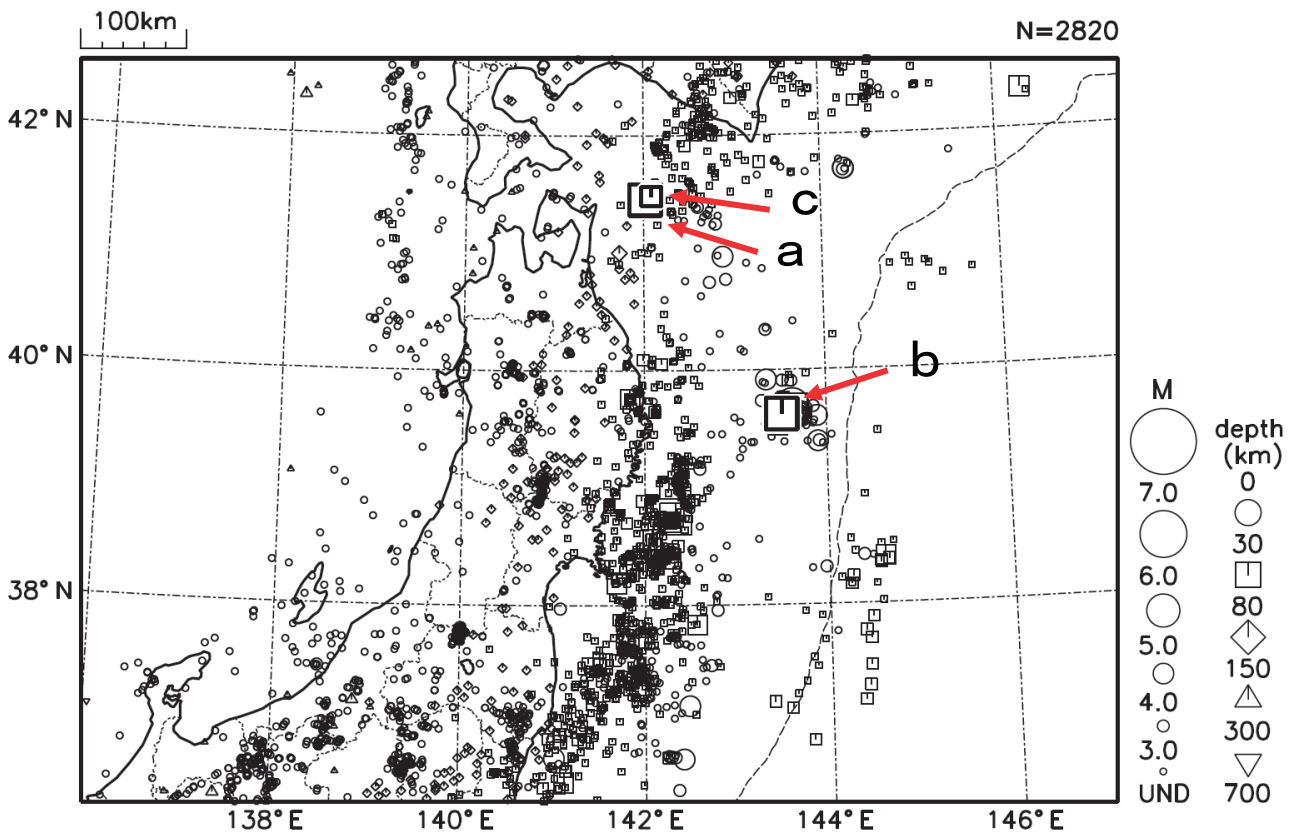


図5 東北地方の震央分布図（2015年6月1日～6月30日）

### 〔概況〕

6月に東北地方で震度1以上を観測した地震は43回（5月は51回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（図5、p.10参照）。

8日15時01分に青森県東方沖の深さ66kmでM5.6の地震（図5中のa）が発生し、青森県階上町と東通村で震度4を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度3～1を観測した。（p.4、11参照）。

11日13時51分に三陸沖でM5.9の地震（図5中のb）が発生し、岩手県盛岡市、宮城県涌谷町、秋田県秋田市などで震度3を観測したほか、北海道から東北地方と新潟県の一部にかけて震度2～1を観測した。（p.5、12参照）。

23日00時35分に青森県東方沖の深さ63kmでM4.6の地震（図5中のc）が発生し、青森県東通村で震度4を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度2～1を観測した。（p.5、11参照）。

## 平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 6 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 5 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は発生しなかった。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなってきたものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

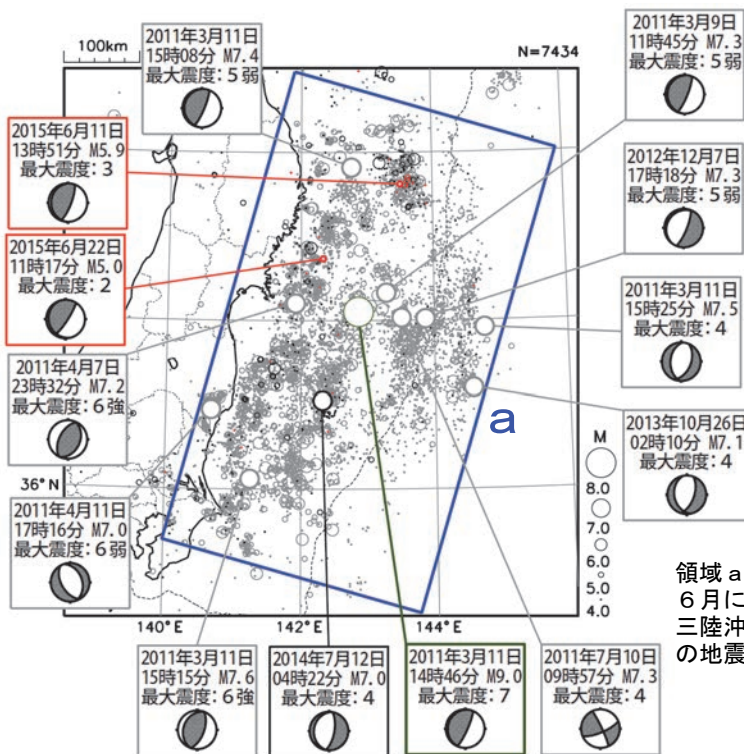
領域 a で 2015 年 6 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

2015 年 6 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
06月10日 17時32分	三陸沖	5.8	5.6	2	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
06月11日 13時45分	三陸沖	5.9	5.6	2	東西方向に圧力軸を持つ逆断層型
06月11日 13時51分	三陸沖	5.9	5.6	3	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
06月11日 13時56分	三陸沖	5.6	-	2	-
06月22日 11時17分	宮城県沖	5.0	4.9	2	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、深さすべて、M $\geq$ 4.0）  
 2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 6 月から 2015 年 5 月の地震を濃く、  
 2015 年 6 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



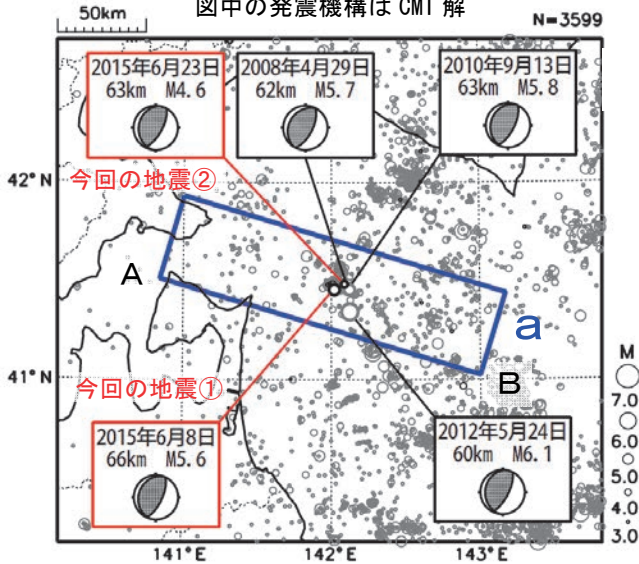
領域 a 内の M7.0 以上の地震と 2015 年 6 月に発生した M5.0 以上の地震（ただし、三陸沖の地震活動については、最大震度 3 の地震のみ）に吹き出しをつけた。



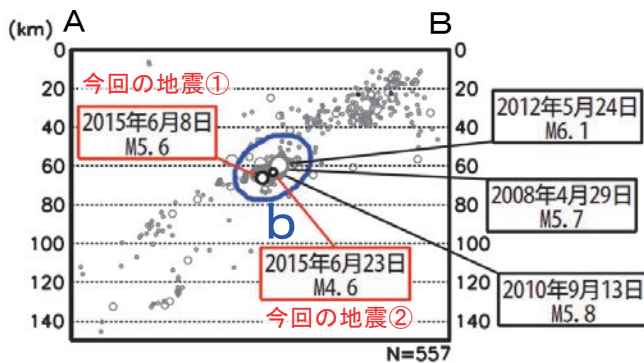
## 6 月 8 日、23 日 青森県東方沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$ )  
2015 年 6 月の地震を濃く表示  
図中の発震機構は CMT 解

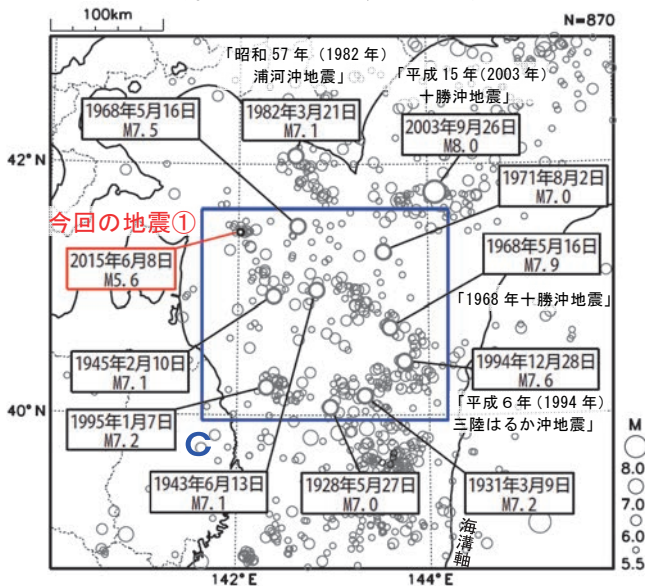


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
深さ 0～150km、 $M \geq 5.5$ )

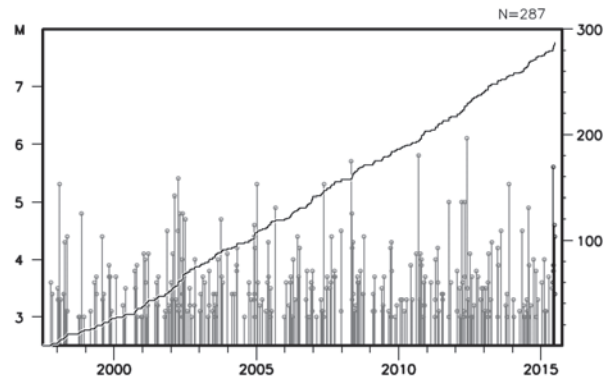


2015 年 6 月 8 日 15 時 01 分に青森県東方沖の深さ 66km で M5.6 の地震 (最大震度 4、①) が発生した。また、23 日 00 時 35 分にほぼ同じ場所で M4.6 の地震 (最大震度 4、②) が発生した。これらの地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

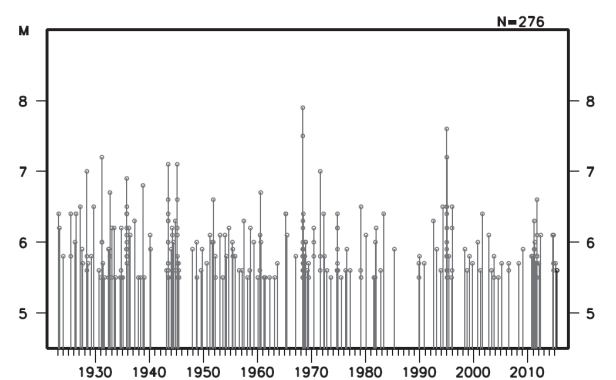
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 以上の地震が時々発生している。最近では、2012 年 5 月 24 日に M6.1 の地震 (最大震度 5 強) が発生し、青森県で文教施設の一部破損 (ガラス破損等) 10 か所などの被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) で、「1968 年十勝沖地震」や「平成 6 年 (1994 年) 三陸はるか沖地震」など、M7.0 以上の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図





## ○関東・中部地方の地震活動

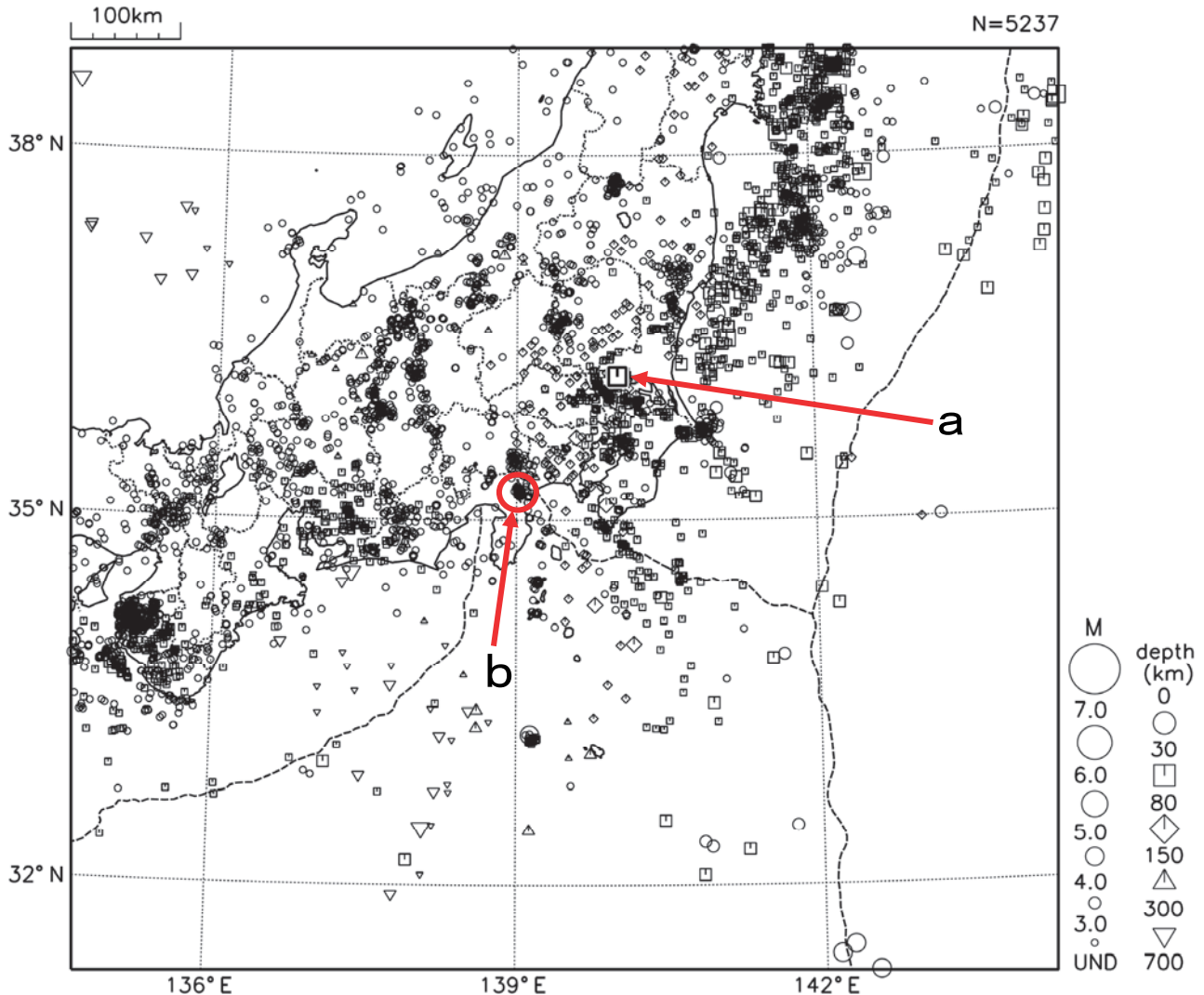


図6 関東・中部地方の震央分布図（2015年6月1日～6月30日）

### [概況]

6月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は67回（5月は80回）であった。6月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 9 の図 5、p. 10 参照）。

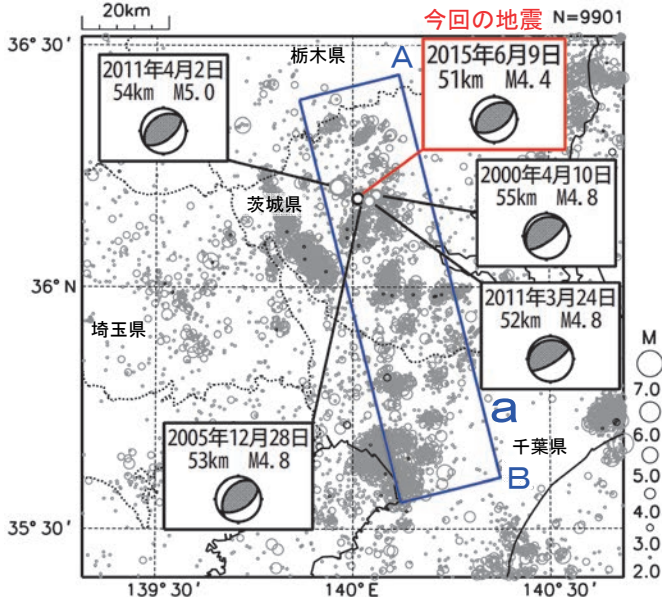
9日 05時 44分に茨城県南部の深さ 51km で M4.4 の地震（図 6 中の a）が発生し、栃木県真岡市で震度 4 を観測したほか、関東地方を中心に福島県から静岡県の一部にかけて震度 3～1 を観測した（p. 5、14 参照）。

2015年6月29日から、神奈川県西部の箱根山付近（図 6 中の領域 b）で地殻内を震源とする地震活動が活発になり、6月30日までに最大震度 1 以上を観測する地震が 15 回発生した（p. 6、15 参照）。

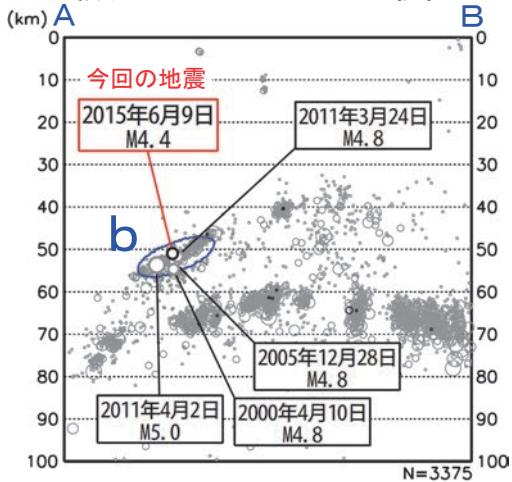


# 6 月 9 日 茨城県南部の地震

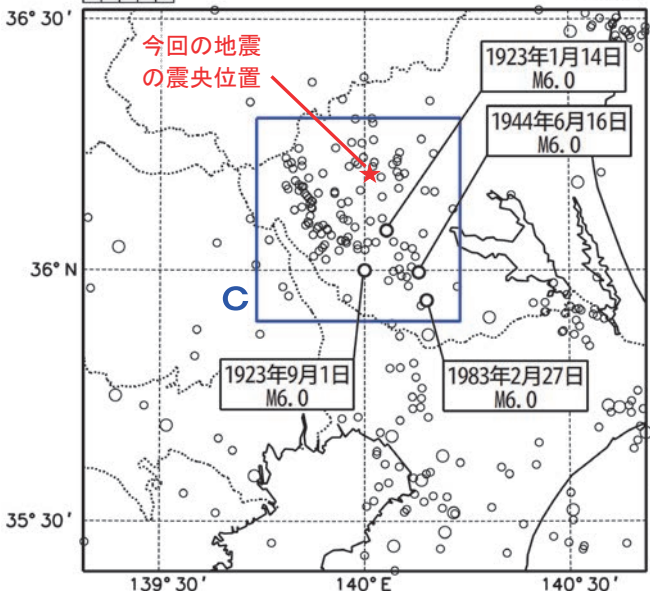
震央分布図  
 (1997 年 10 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
 2015 年 6 月の地震を濃く表示



領域 a 内の断面図（A－B 投影）



震央分布図  
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )

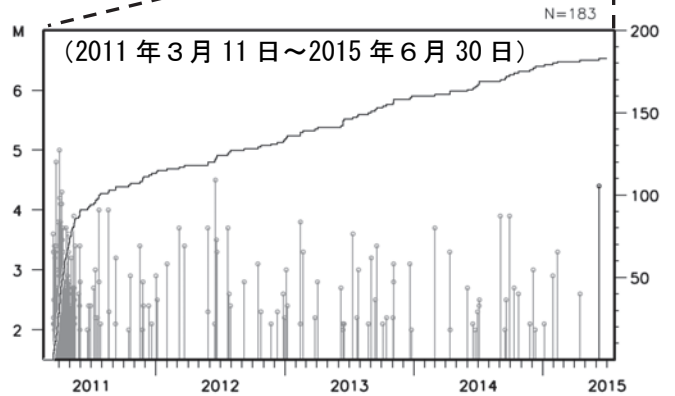
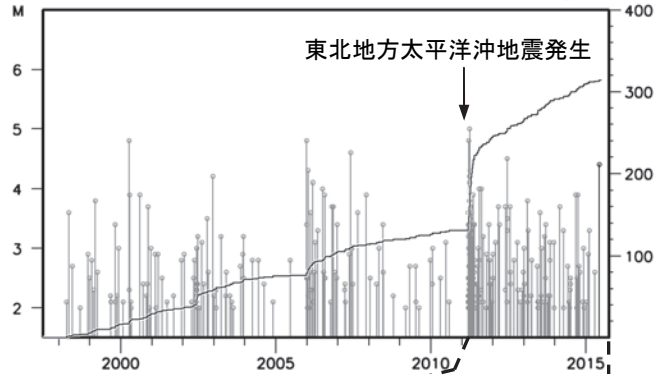


2015 年 6 月 9 日 05 時 44 分に茨城県南部の深さ 51km で  $M4.4$  の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は発震機構が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

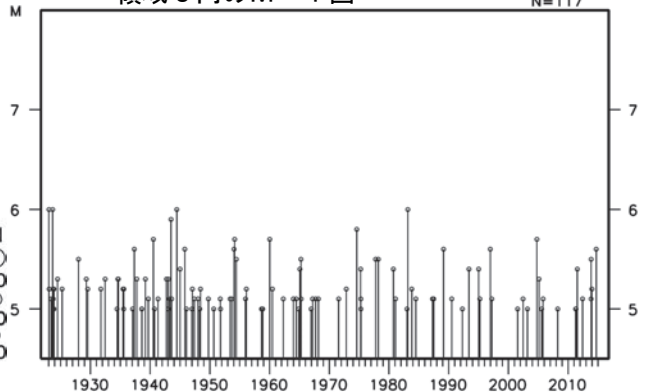
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、 $M5$  程度の地震が時々発生している。「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2011 年 4 月 2 日には  $M5.0$  の地震（最大震度 4）が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、 $M6$  程度の地震が時々発生している。1983 年 2 月 27 日に発生した  $M6.0$  の地震（最大震度 4）では、負傷者 11 人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

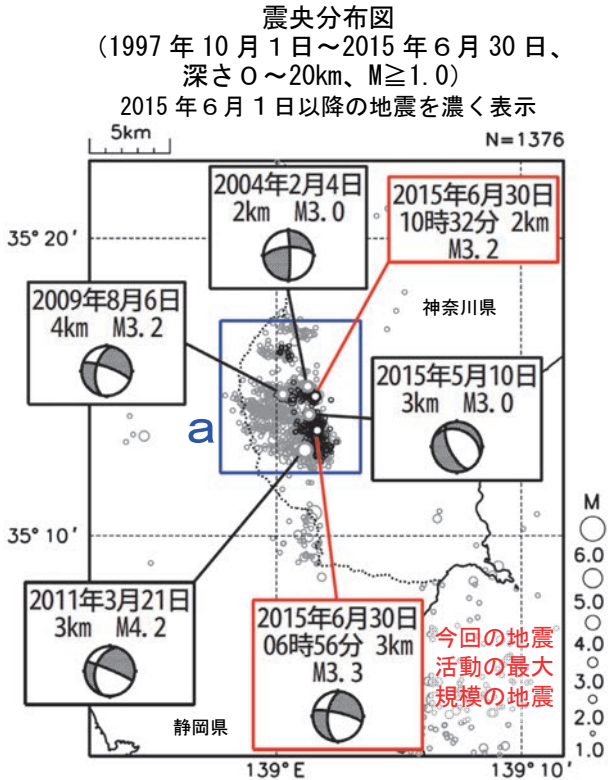
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



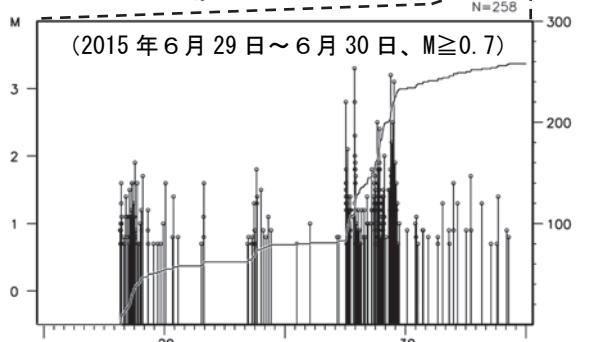
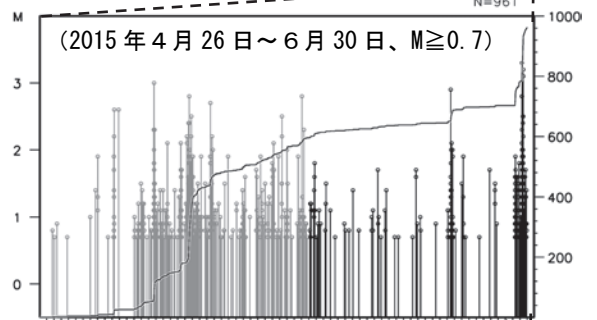
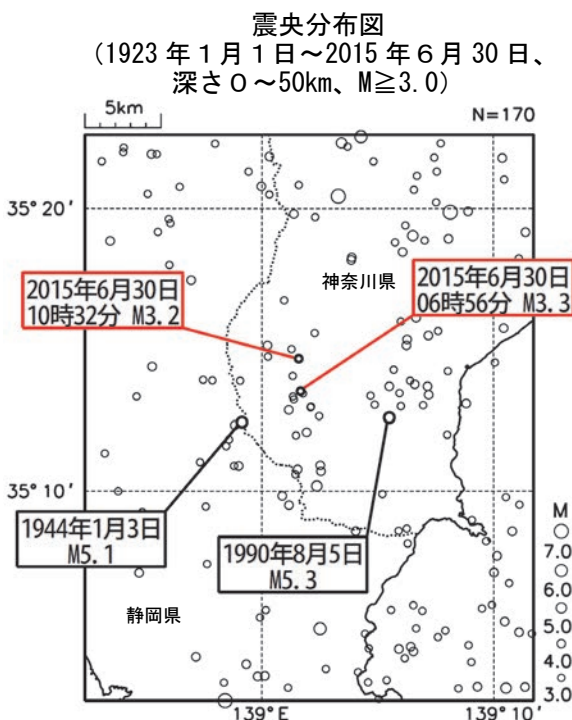
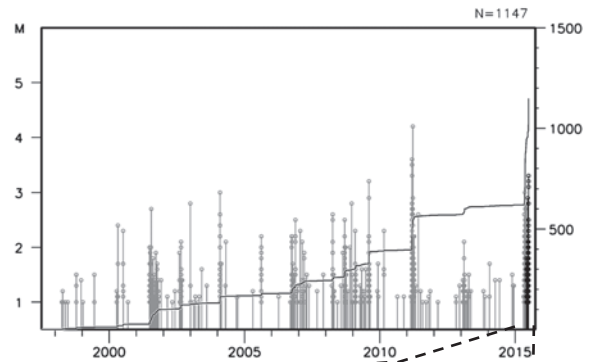
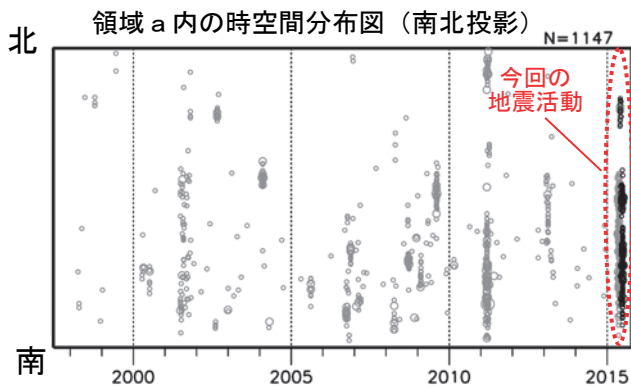
## 神奈川県西部（箱根山付近）の地震活動



2015年6月29日から、神奈川県西部（箱根山付近）で火山性地震が増加し、6月30日06時56分にM3.3の地震（最大震度3）が、同日10時32分にM3.2の地震\*（最大震度3）が発生したのをはじめ、30日にかけて最大震度1以上を観測する地震が15回（最大震度3：2回、最大震度2：3回、最大震度1：10回）発生した。これらの地震活動は地殻内で発生した。30日06時56分の地震の発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。なお、箱根山では4月26日から火山活動が活発な状態となり、火山性地震が多い状態で経過している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の活動の周辺（領域 a）では、しばしばまとまった活動がみられるが、M1.0以上の地震回数をみると、今回の地震活動が最も活発となっている。

\* 情報発表に用いた震央地名は「静岡県東部」である。



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震活動の周辺では、M5.0を超える地震が2回発生している。

## ○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

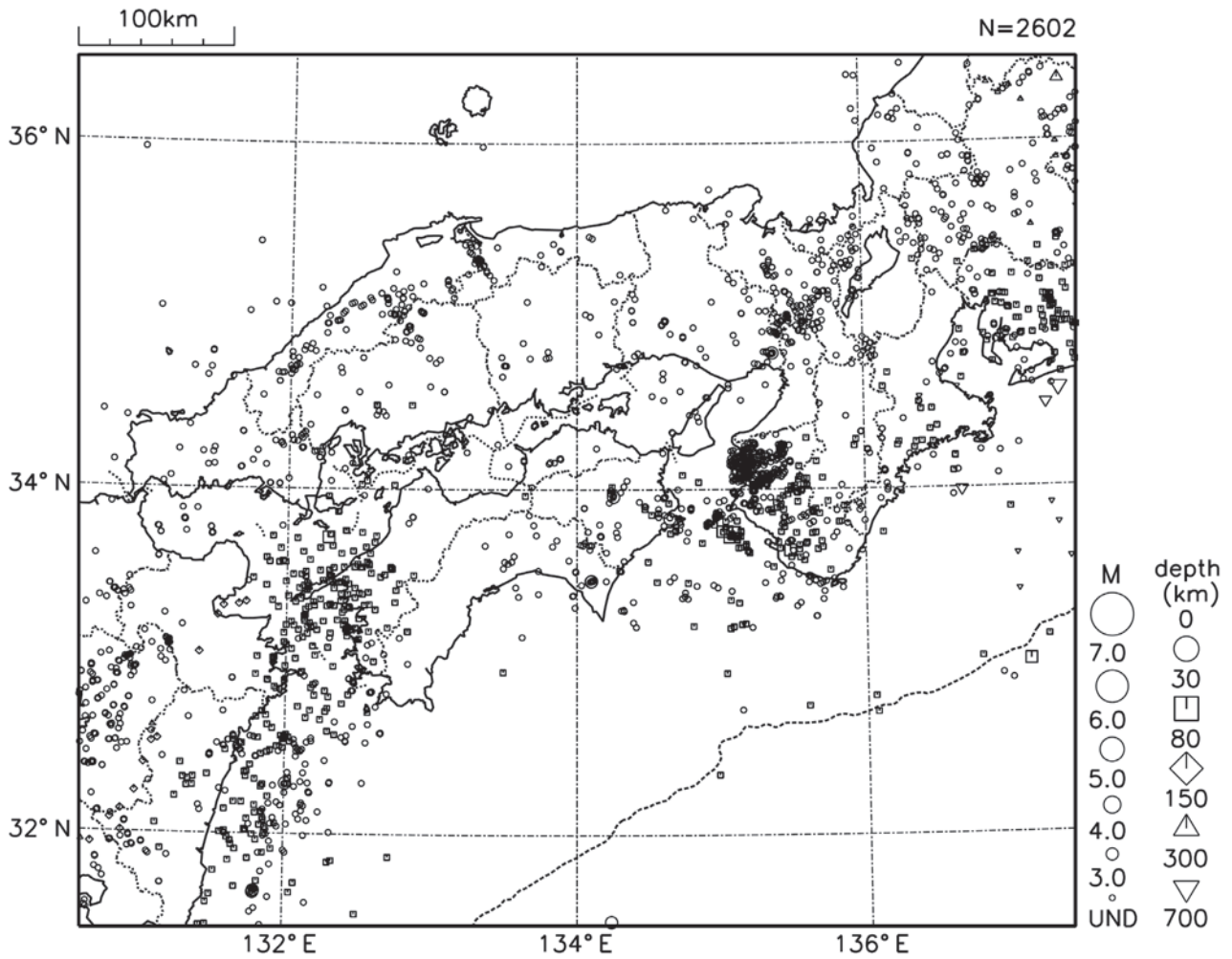


図 7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2015 年 6 月 1 日～6 月 30 日）

### [概況]

6月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は15回（5月は12回）であった。6月中、特に目立った活動はなかった。

## ○九州地方の地震活動

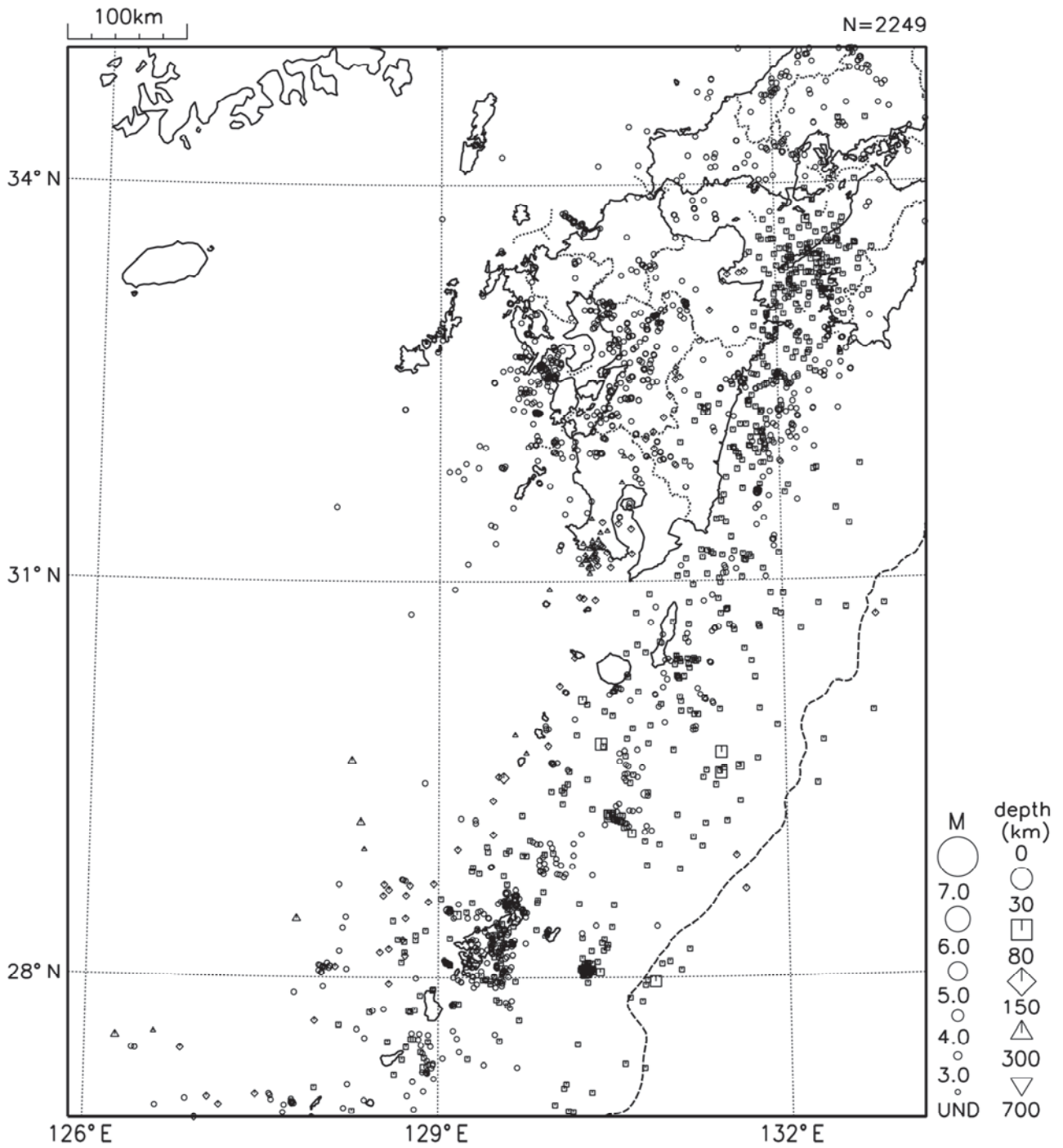


図8 九州地方の震央分布図（2015年6月1日～6月30日）

### [概況]

6月に九州地方で震度1以上を観測した地震は16回（5月は13回）であった。  
6月中、特に目立った活動はなかった。

## ○沖縄地方の地震活動

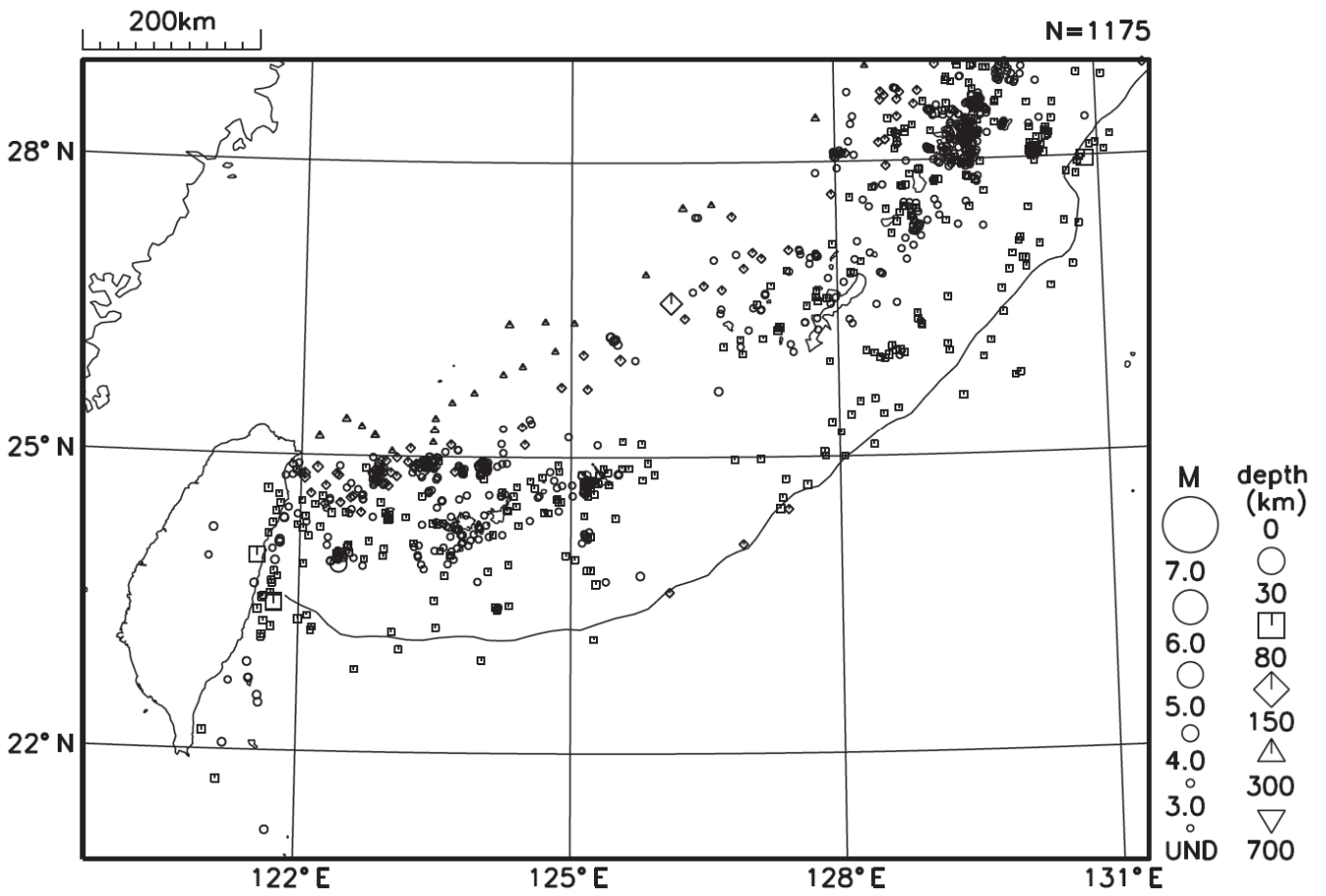


図9 沖縄地方の震央分布図（2015年6月1日～6月30日）

### [概況]

6月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回（5月は13回）であった。  
6月中、特に目立った活動はなかった。

## ○その他の地域の地震活動

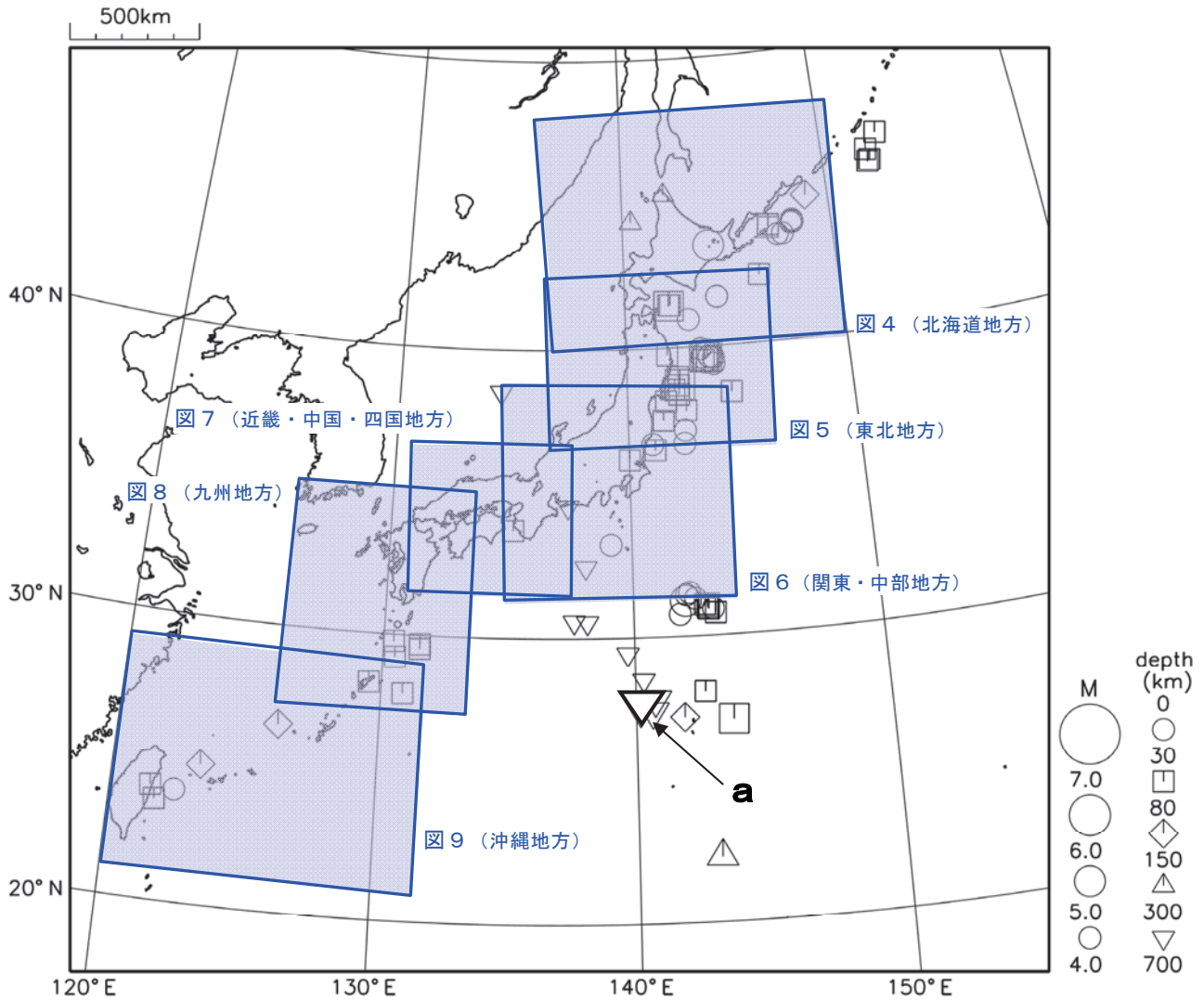


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2015 年 6 月 1 日～ 6 月 30 日、 $M \geq 4.0$ ）

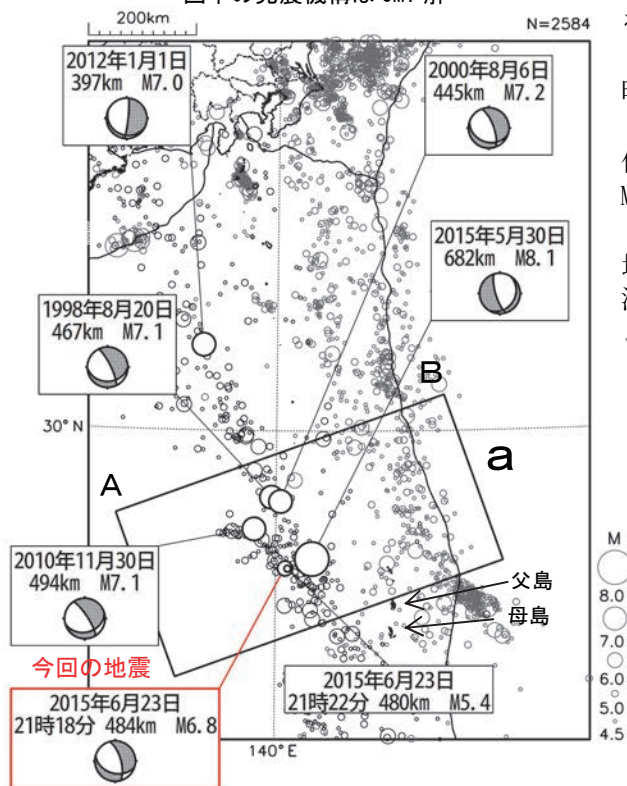
### [概況]

6 月に日本周辺で発生した  $M6.0$  以上の地震は 1 回（5 月は 4 回）であった。  
6 月中、図 4～9 の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

23 日 21 時 18 分に小笠原諸島西方沖の深さ 484km で  $M6.8$  の地震（図 10 中の a）が発生し、東京都小笠原村（母島）で震度 4 を観測したほか、東北地方の一部から関東地方、新潟県の一部にかけて震度 2～1 を観測した（p. 6、20 参照）。

## 6 月 23 日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図  
 (1997 年 10 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～700km、 $M \geq 4.5$ )  
 100km より深い地震を濃く表示  
 図中の発震機構は CMT 解



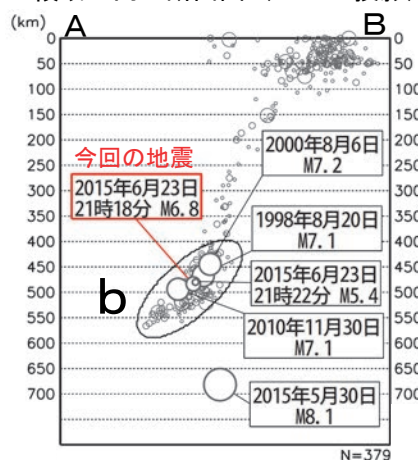
2015 年 6 月 23 日 21 時 18 分に小笠原諸島西方沖の深さ 484km で  $M 6.8$  の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

余震活動は低調で、最大規模の余震は、6 月 23 日 21 時 22 分に発生した  $M 5.4$  の地震 (最大震度 2) である。

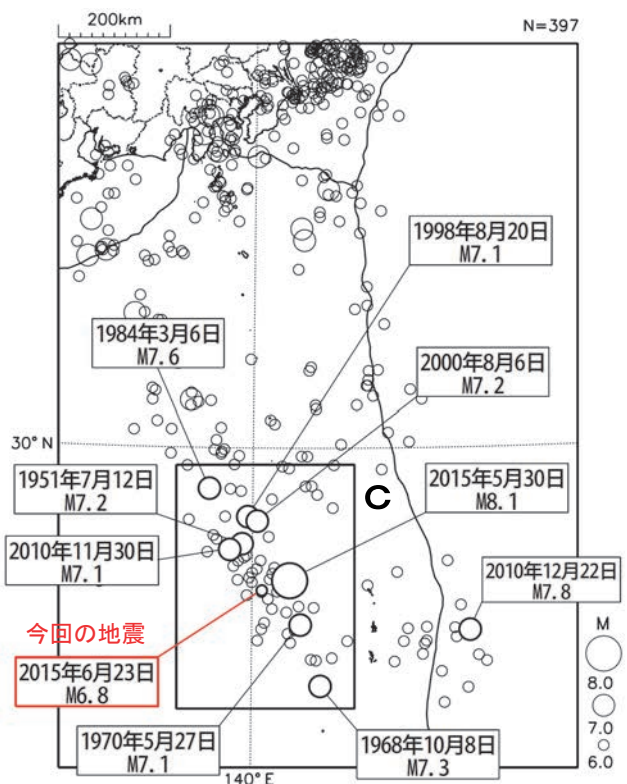
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では定常的な地震活動が見られており、 $M 7.0$  以上の地震が 3 回発生している。

なお、今回の地震の周辺では、先月 30 日に  $M 8.1$  の地震 (深さ 682km、最大震度 5 強) が発生しているが、深さがおよそ 200km 異なっているため、今回の地震はこの地震の余震ではないと考えられる。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

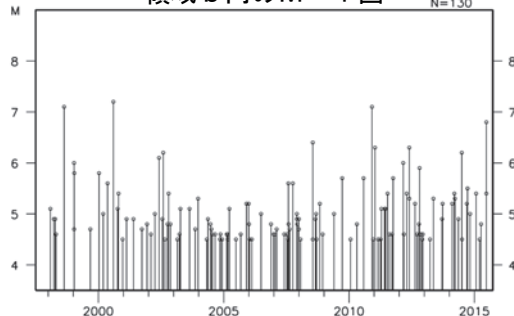


震央分布図  
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～700km、 $M \geq 6.0$ )

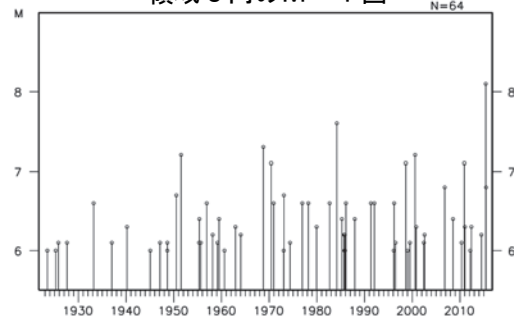


1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、 $M 7.0$  以上の地震が時々発生している。先月 30 日に発生した  $M 8.1$  の地震 (最大震度 5 強) では、東京都で地震関連負傷者 8 件、埼玉県で負傷者 3 人、神奈川県で負傷者 2 人などの被害を生じた (総務省消防庁による)。

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



# ●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

## 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

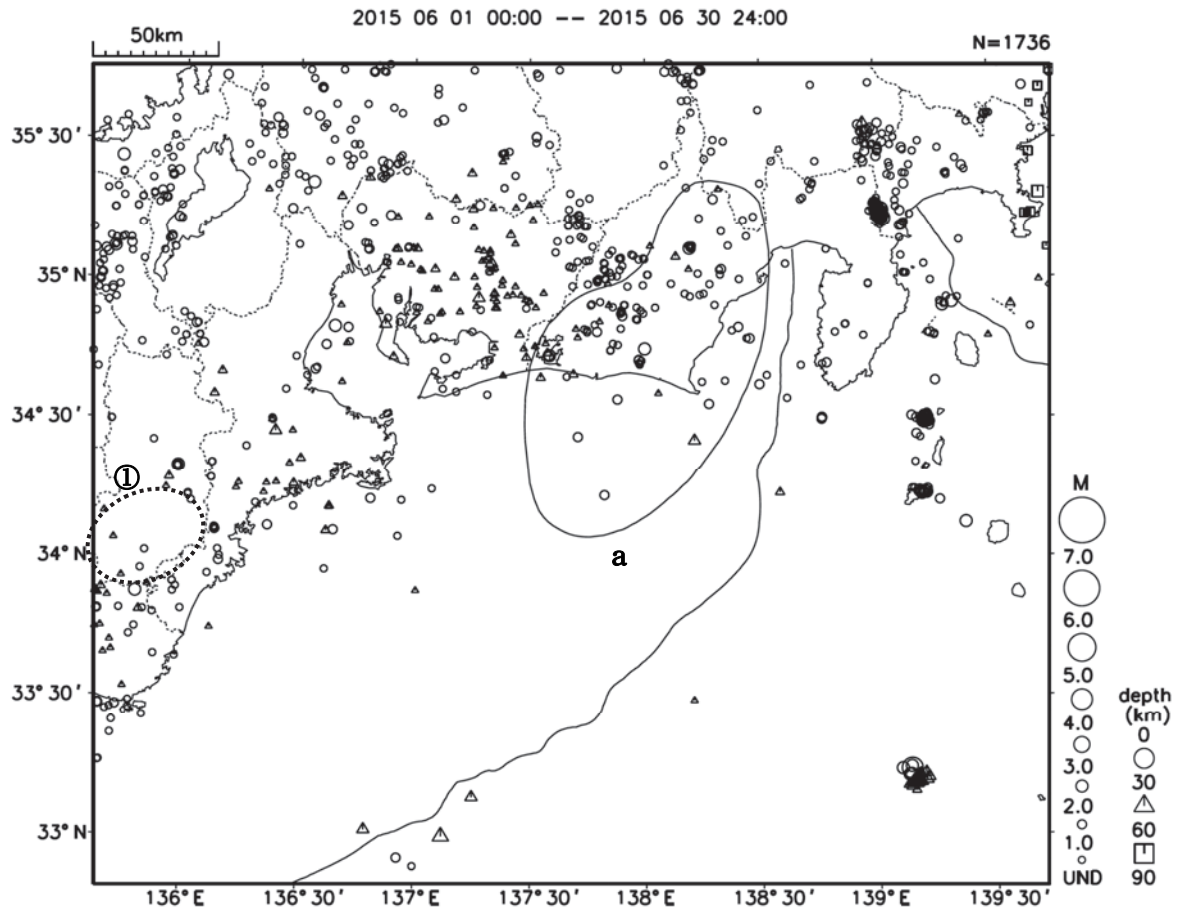


図1 震央分布図（2015年6月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

### [概況]

特に目立った活動はなかった。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

なお、6月4日から8日にかけて、和歌山県南部から奈良県にかけての領域（①）で、深部低周波地震を観測した。



## 地震防災対策強化地域判定会検討結果

6 月 29 日に気象庁において第 350 回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した(図 2～図 8)。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

### 1. 地震の観測状況

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度の低い状態が続いています。

### 2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成25年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけてのGNSS観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、現在も継続しています。

### 3. 地殻活動の評価

平成25年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界で「長期的ゆっくりすべり」が発生している可能性を示しており、現在も継続しています。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

なお、GNSS観測の結果によると「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村(平成 24 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

#### 【地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語】

##### ・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

##### ・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

##### ・「長期的ゆっくりすべり(長期的スロースリップ)」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生した。

##### ・「深部低周波地震(微動)」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状に広がる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

##### ・「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震(微動)の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震(微動)活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)\* によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

\*Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

# 東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

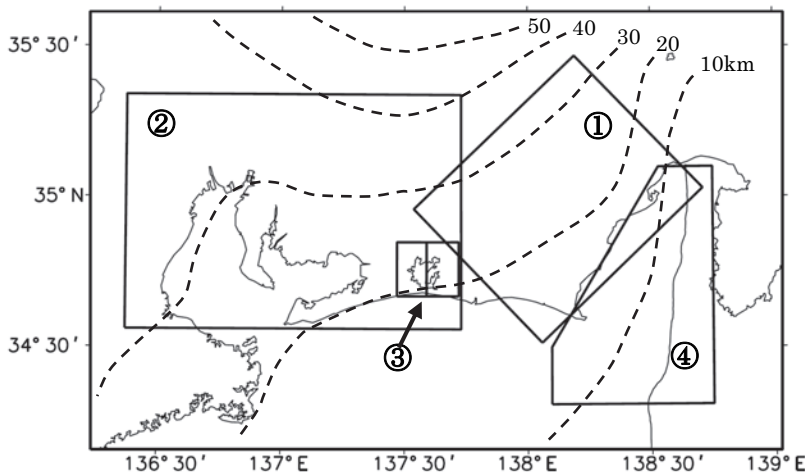
(参考)

2015年6月24日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域	余震 除去
短期活動指数	5	1	2	6	4	7	2	4	2
短期地震回数 (平均)	7 (5.29)	2 (7.00)	8 (13.16)	18 (14.15)	6 (6.16)	5 (2.46)	1 (3.70)	6 (6.06)	1 (3.89)
中期活動指数	2	1	2	5	2	4	1	5	1
中期地震回数 (平均)	11 (15.87)	13 (21.00)	29 (39.48)	48 (42.44)	7 (12.32)	5 (4.93)	2 (7.39)	15 (12.12)	3 (7.79)

- \* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M $\geq$ 1.1、駿河湾：M $\geq$ 1.4
- \* クラスタ除去：震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。  
静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$   
駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$
- \* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間  
浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- \* 基準期間： おおむね長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）発生前の地震活動を基準とする。  
静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、  
浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

[各領域の説明] ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。  
② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。  
③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。  
④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。  
余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。



\* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	
6	10	
5	15	ほぼ平常
4	40	
3	15	やや少ない
2	10	
1	4	
0	1	少ない

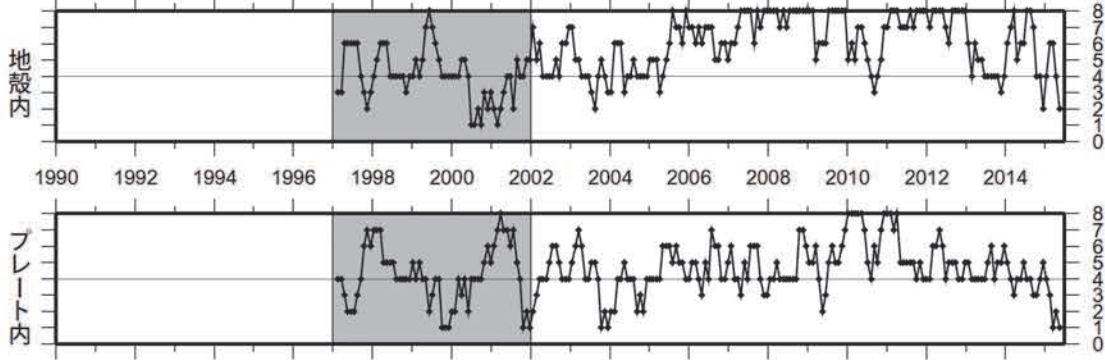
図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

## 地震活動指数の推移（中期活動指数）

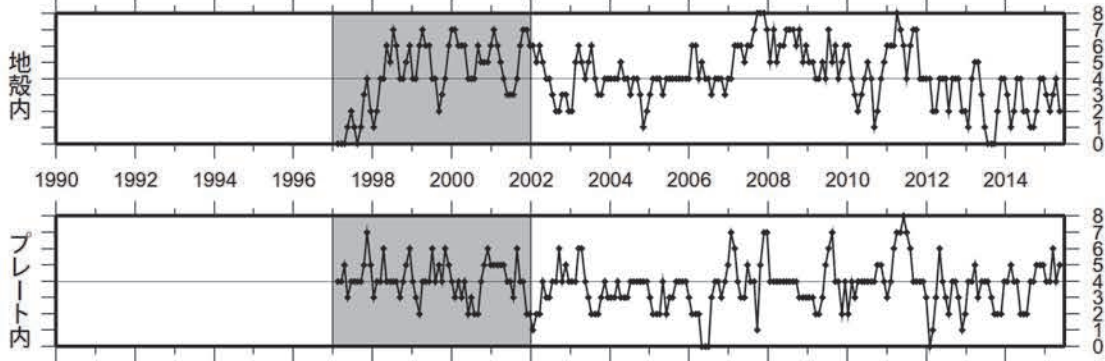
① 静岡県中西部（対象期間：90日）

1997/1/1~2015/6/24 M ≥ 1.1



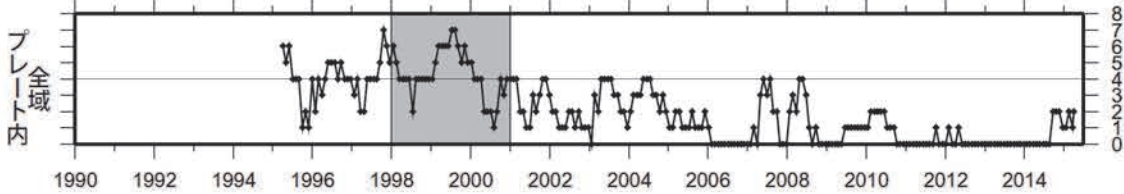
② 愛知県（対象期間：90日）

1997/1/1~2015/6/24 M ≥ 1.1



③ 浜名湖周辺（対象期間：180日）

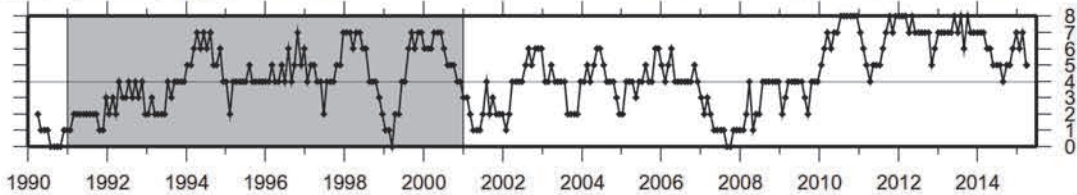
1995/1/1~2015/6/24 M ≥ 1.1



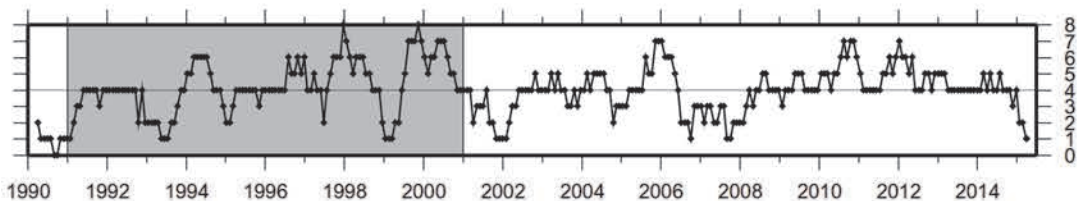
少ない  
(継続中)

④ 駿河湾（対象期間：180日）

1990/1/1~2015/6/24 M ≥ 1.4



2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除去した場合



■：基準期間      /：地震活動指数（0-8）

図3 東海地域の地震活動指数の推移

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

気象庁作成

深部低周波地震は、「短期的ゆっくすりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 24 日)

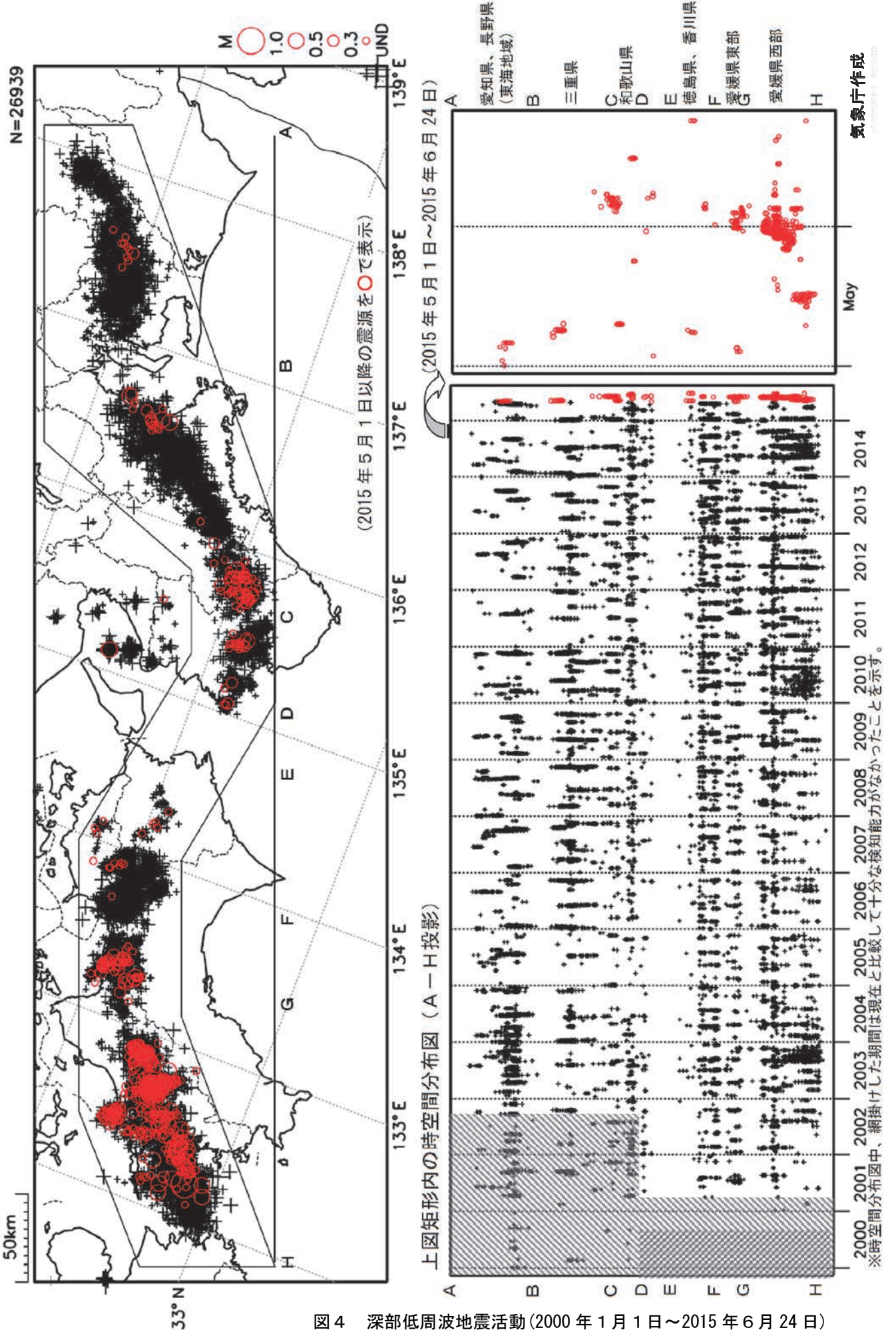
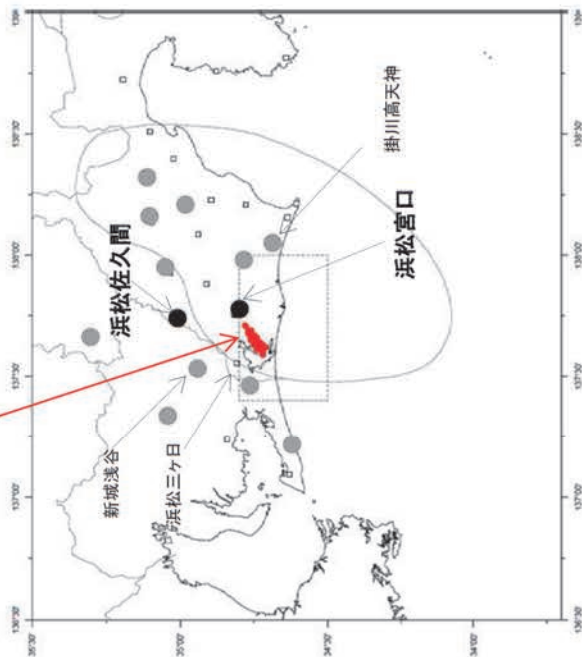


図 4 深部低周波地震活動(2000 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 24 日)

# ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

ひずみ変化から推定されるすべり候補点

Mw6.4~6.7程度



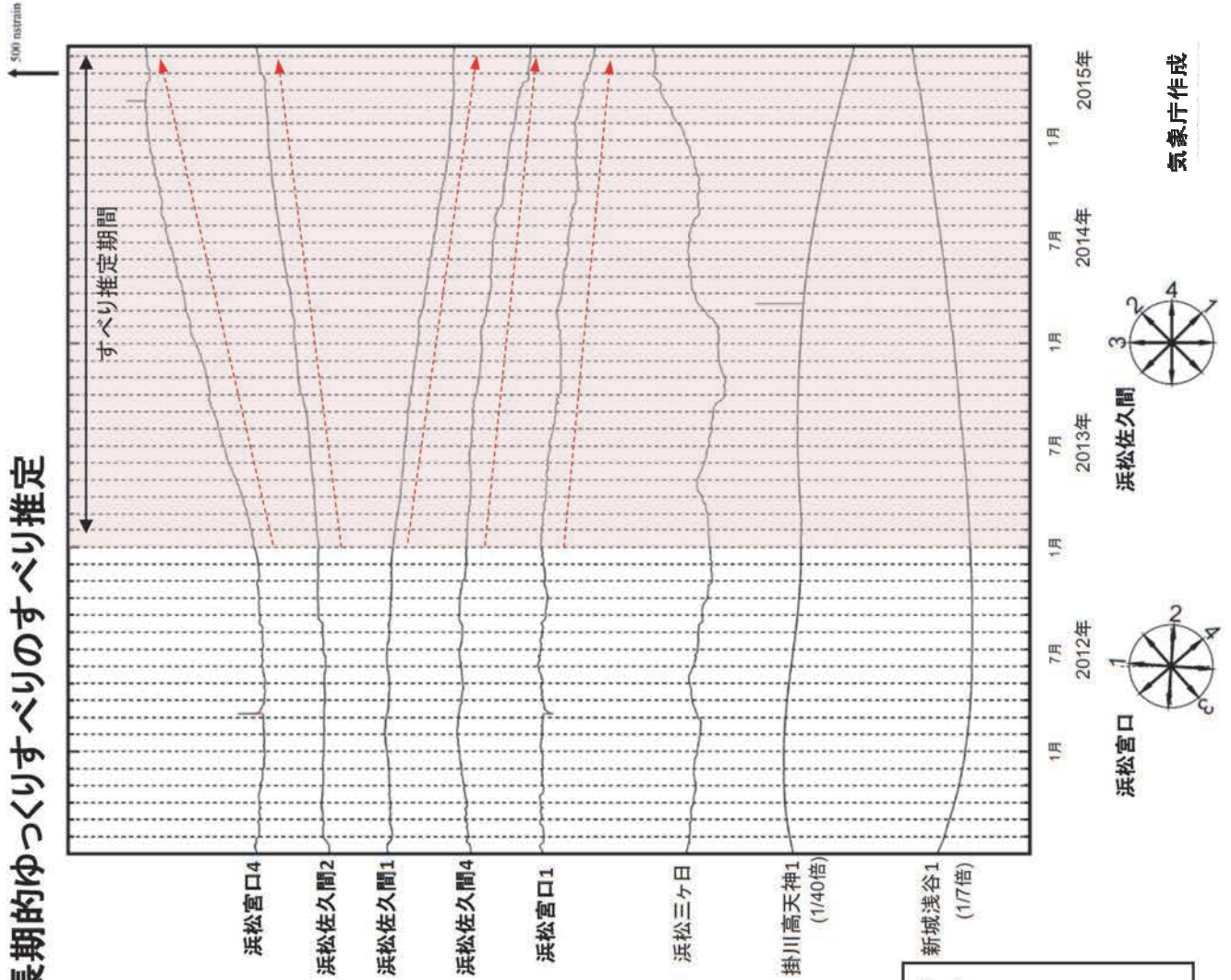
- すべり推定に使用したひずみ観測点(多成分ひずみ計)
- ひずみ観測点(多成分ひずみ計)
- ひずみ観測点(体積ひずみ計)

すべり候補領域は、中村・竹中(2004)<sup>1)</sup>によるグリッドサーチの手法※により求めた。プレート境界と断層面の形状はHirose et al.(2008)<sup>2)</sup>による。

※ すべり候補領域の位置とその規模(Mw)を、すべりがプレート境界面上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と観測値を比較し、合致するものを抽出する手法

1) 中村浩二・竹中潤, 東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発, 地震時報, 68, 25-35, 2004

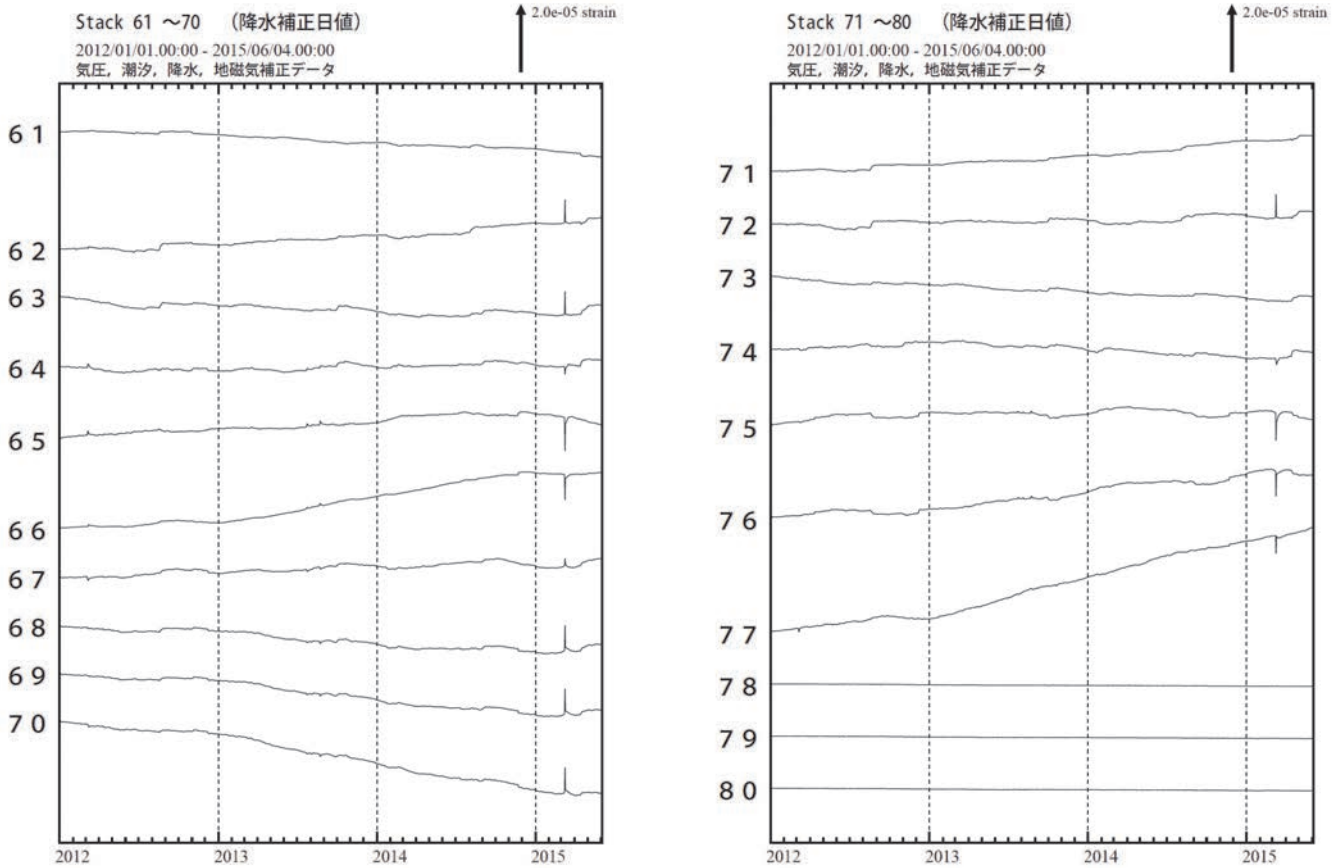
2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274, 2008



気象庁作成

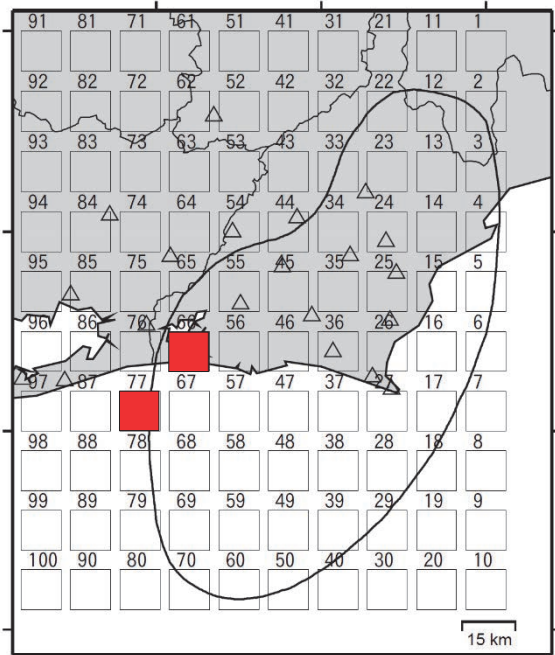
図5 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

## スタッキング\*による長期的ゆっくりすべりの検出について



日値スタッキング波形。番号は監視グリッド（左下図参照）を示す。

- データ : 補正日値（体積ひずみ計とアナログ式多成分ひずみ計）
- ノイズレベル : 2011年6月～2012年12月の、60日階差（単純な階差）の標準偏差
- 理論値計算 : 0.15° ごとの各グリッドを中心とする、20×20kmの断層



グリッド配置及びすべり位置

グリッド No. 66 と No. 77 に明瞭な変化が見られている。総すべり量は Mw6.4 相当となる。

□ スタッキンググリッド

\*スタッキング手法は、ひずみ計のデータを重ね合わせることによって、微小な地殻変動のシグナルを強調させて、検知能力を向上させる解析方法である。

### 参考文献

宮岡一樹，横田 崇（2012）：地殻変動検出のためのスタッキング手法の開発－東海地域のひずみ計データによるプレート境界すべり早期検知への適用－，2012，地震 2, 65, 205-218.

気象庁・気象研究所作成

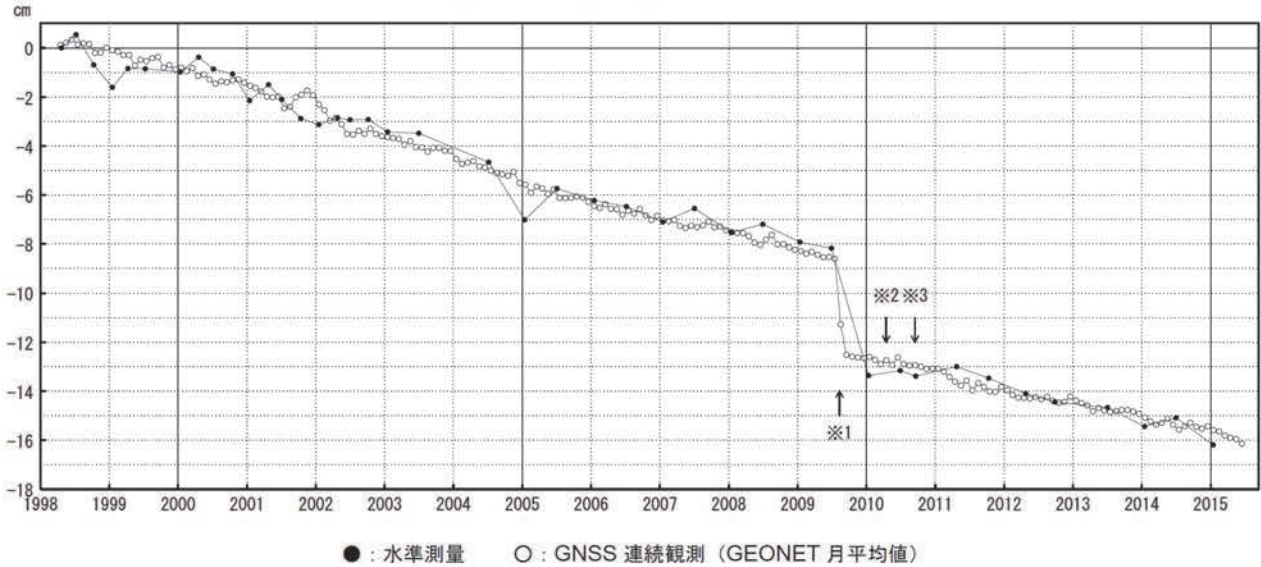
図 6 スタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出

## 御前崎 電子基準点の上下変動

### 水準測量と GNSS 連続観測

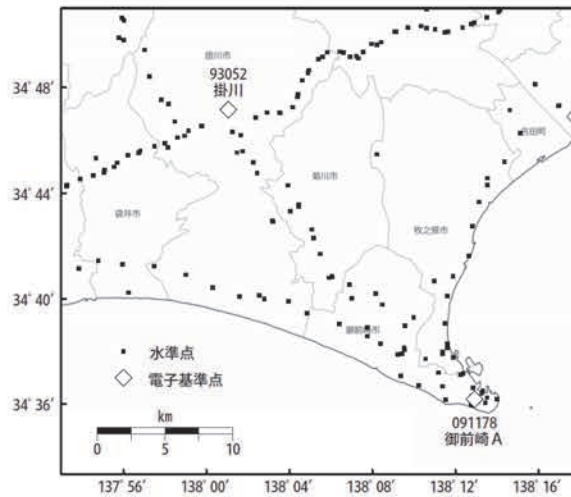
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 (93052) - 御前崎 A (091178)



・最新のプロット点は 06/01~06/06 の平均。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。

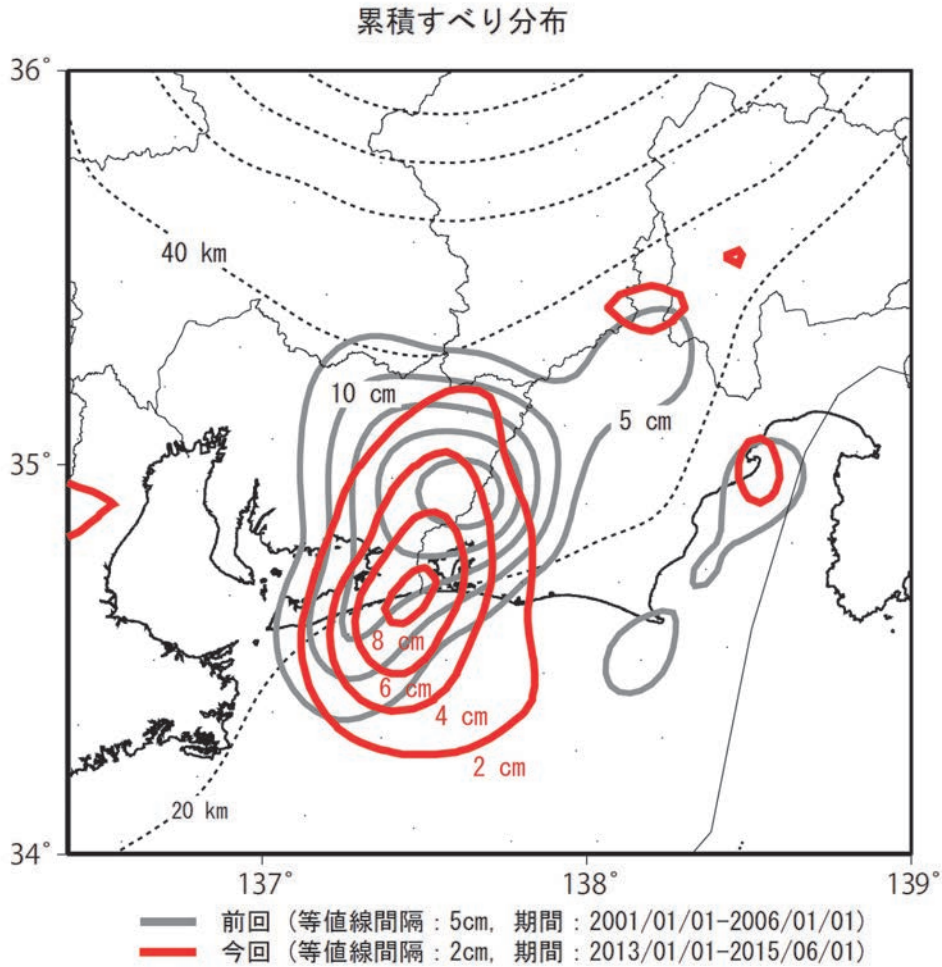


国土地理院

図 7 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

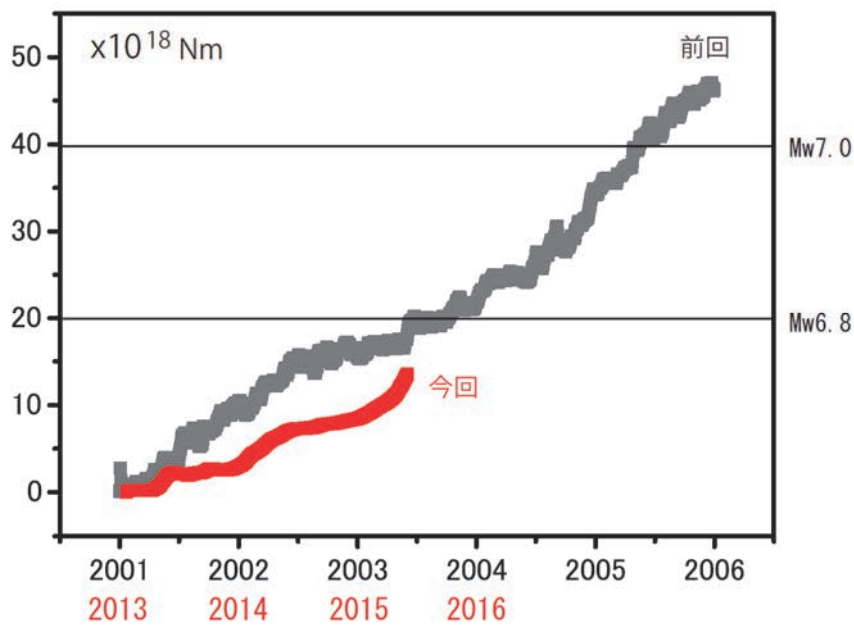
掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較（暫定）



- ・それぞれの期間の、累積のすべり量を等値線で示している。
- ・黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。

モーメントの時間変化



- ・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

図 8 国土地理院 GNSS 観測結果による累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

国土地理院



## ● 日本の主な火山活動

口永良部島では 18 日 12 時 17 分頃に噴火が発生し、口永良部島の東海上で、噴火に伴う小さな噴石及び降灰が確認された。また、18 日 16 時 31 分と 19 日 09 時 43 分にもごく小規模な噴火が発生した。今後も、5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性がある。

大きな噴石の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

箱根山では、29 日 07 時 32 分から約 5 分間の火山性微動が発生し、同日 12 時 45 分頃には大涌谷の北から北東にかけて最大約 1.2 km の範囲で降下物を確認した。その後の調査で大涌谷において新たな噴気孔が確認された。30 日に実施した現地調査では、29 日に確認した噴気孔周辺で火山灰等の堆積による盛り上がり確認され、ロープウェイ大涌谷駅付近で降灰を確認した。これらのことから、大涌谷で 29 日夜から 30 日朝にかけてごく小規模な噴火が発生したと判断し、30 日 12 時 30 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げた。

今後も小規模な噴火が発生する可能性があるため、大涌谷周辺の概ね 1 km の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。また、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

桜島の昭和火口では、爆発的噴火が 64 回発生するなど、活発な噴火活動が継続した。

桜島内の伸縮計では、1 月 1 日頃から山体の膨張と考えられる変化が継続している。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

西之島では、海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いている。今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるため、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒が必要である。

吾妻山では、大穴火口付近直下を震源とする火山性地震が増減を繰り返しながらやや多い状態で経過している。また、大穴火口からの噴気活動はやや活発な状態が継続している。大穴火口から概ね 500 m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められている。湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発な状態が継続しており、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられている。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、4 月下旬頃から山頂直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震が多い状態が続いている。また、二酸化硫黄の放出量が 11 日から急増した。

これらのことから、浅間山では火山活動が高まっていると考えられ、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があることから、11 日 15 時 30 分に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。

その後、16 日及び 19 日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生した。

19 日の噴火以降、噴火は発生していないが、火山ガスの放出量が多い状態が続いているなど、火山活動は引き続き高まった状態で経過している。今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014 年）10 月以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。

これらのことから、26 日 17 時 00 分に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げた。

しかしながら、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山の中岳第一火口では、今期間、噴火は観測されなかった。火山性微動の振幅は、消長を繰り返しながら、概ね大きな状態で継続した。

中岳第一火口では火山活動が停滞する傾向がみられるものの、活発な火山活動が続いていることから、

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、火山性地震は概ね少ない状態で経過した。北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられていたが、2015 年 1 月頃から停滞している。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、今期間、噴火は観測されなかった。御岳火口は、長期にわたり噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

蔵王山では、2015 年 4 月に御釜周辺が震源と推定される火山性地震が増加し、火山活動が活発になったが、5 月下旬以降は地震の少ない状態で経過している。火山性微動は 5 月 17 日を最後に観測されていない。また、これまでに行った現地調査や上空からの観測等では、御釜周辺と丸山沢噴気地熱地帯をはじめ想定火口域（馬の背カルデラ）内に特段の変化は確認されていない。

これらのことから、蔵王山では噴火の発生する可能性が低くなったと判断し、16 日 09 時 00 分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げた。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

三宅島では、火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 9 月以降は 1 日あたり 500 トン以下で経過している。また、山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過していることから、三宅島では噴火が発生する可能性は低くなったものと考えられる。

これらのことから、5 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

しかし、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内及び主火孔から 500 m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出が継続していることから、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では警戒が必要である。

**表 1 6 月 30 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況**  
(※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中)

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル 5（避難）	口永良部島※
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	箱根山、桜島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、新潟焼山、焼岳、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の活火山

\*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図1 6月30日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

## 各火山の6月の活動解説

### 【北海道地方】

#### 雌阿寒岳めあかんだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

4月以降、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする、微小な火山性地震がやや多い状態が継続していたが、6月以降は徐々に減少している。

全磁力連続観測によると、ポンマチネシリ96-1火口近傍の地下では、2015年3月中旬以降熱活動が活発化している可能性がある。今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 十勝岳とちかだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

15日から18日にかけて実施した現地調査では、赤外熱映像装置により、62-2火口内の南側と振子沢噴気孔群で地熱域の広がり観測された。62-2火口周辺の一部では熱活動が次第に高まっている可能性が考えられる。

ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生及び発光現象などが観測されており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 樽前山たるまえさん [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

山頂溶岩ドーム周辺では1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（活火山であることに留意）]

大雪山たいせつざん [噴火予報（活火山であることに留意）]

倶多楽くつたら [噴火予報（活火山であることに留意）]

うすざん  
有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

ほっかいどうこまがたけ  
北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

えさん  
恵山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

## 【東北地方】

あきたこまがたけ  
**秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕**

めだけ  
女岳では、2009 年から地熱域の拡大が認められている。地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられないが、地熱活動が継続しているので今後の火山活動の推移に注意が必要である。

さおうざん  
**蔵王山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕**  
←16 日に火口周辺警報（火口周辺危険）から引下げ

2015 年 4 月に御釜周辺が震源と推定される火山性地震が増加し、火山活動が活発になったが、5 月下旬以降は地震の少ない状態で経過している。火山性微動は 5 月 17 日を最後に観測されていない。また、これまでに行った現地調査や上空からの観測等では、御釜周辺と丸山沢噴気地熱地帯をはじめ想定火口域（馬の背カルデラ）内に特段の変化は確認されていない。

これらのことから、噴火の発生する可能性が低くなったと判断し、16 日 09 時 00 分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引下げた。

17 日からは地震回数がやや増加し、その後、増減を繰り返しながら 27 日に 21 回、29 日に 24 回と、やや多い状態となっている。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

あづまやま  
**吾妻山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕**

大穴火口付近直下を震源とする火山性地震は、増減を繰り返しながらやや多い状態で経過し、今期間の地震回数は 255 回（前月 247 回）となった。火山性微動は観測されなかった。

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

浄土平の傾斜計<sup>1)</sup>では、2014 年 4 月以降、緩やかな西側（火口方向側）上がりの変動が継続している。

GNSS<sup>2)</sup>連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経山南山腹観測点が関係する基線で緩やかな変化がみられており、一切経山付近の膨張を示すと考えられる。

大穴火口から概ね 500m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石<sup>3)</sup>、火山ガスに注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

いわきさん  
岩木山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

ほっこうざん  
八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

あきたやげやま  
秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

いわてさん  
岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

ちようかいさん  
鳥海山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

くりこまやま  
栗駒山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

あだたらやま  
安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

ぼんだいさん  
磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

## 【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くまつしらねざん  
**草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕**

2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加している。2014 年 8 月 20 日以降はやや少ない状態で経過しているが、2015 年 1 月以降一時的な地震の増加もみられている。28 日 19 時 13 分頃に振幅の小さな火山性微動（継続時間：2 分 15 秒）が発生した。火山性微動の発生は 2013 年 1 月 1 日（継続時間：2 分 12 秒）以来である。火山性微動の発生前後で地震活動やその他のデータに特段の変化はなかった。

地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められていたが、2015 年 4 月頃より鈍化している。

湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発な状態が継続している。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分及び湯釜湖水の化学成分にも活動活発化を示す変化がみられている。また、全磁力観測による 2014 年 5 月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7

月以降停滞している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石<sup>3)</sup>が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

**あさまやま**  
**浅間山[噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）]**  
**←11日に噴火警戒レベル 1（活火山であることに留意）から引上げ**

4 月下旬頃から山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震が多い状態が続いている。また、二酸化硫黄の放出量が、1 日の観測で 1 日あたり 200 トン、8 日の観測で 500 トンであったが、11 日の観測で 1,700 トンと急増した。

これらのことから、浅間山では火山活動が高まっていると考えられ、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があることから、11 日 15 時 30 分に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。

その後、16 日及び 19 日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生した。

19 日の噴火以降、噴火は発生していないが、火山ガスの放出量が多い状態が続いているなど、火山活動は引き続き高まった状態で経過している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石<sup>3)</sup>に注意が必要である。



浅間山 警戒が必要な範囲（黒円内：火口から概ね 2 km の範囲）

**みだかはら**  
**弥陀ヶ原[噴火予報（活火山であることに留意）]**

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過した。

以前から熱活動が活発な立山地獄谷では、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

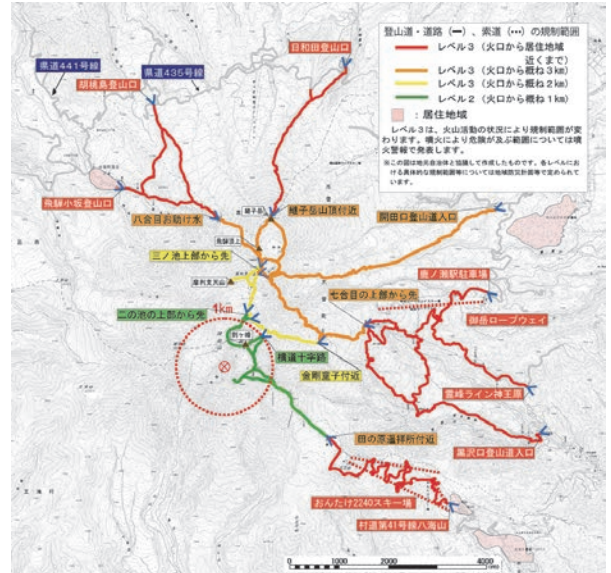
**おんたけさん**  
**御嶽山[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]←26日に噴火警戒レベル 3（入山規制）から引下げ**

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014 年）10 月以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。

これらのことから、26 日 17 時 00 分に噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引下げ、警戒の必要な範囲を火口から概ね 1 km の範囲に縮小した。

しかしながら、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石<sup>3)</sup>に注意が必要である。



御嶽山 警戒が必要な範囲（赤円内：火口から概ね 1 km の範囲）

**ふじさん**  
**富士山[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]**

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていたが、その後、地震活動は低下してきている。その他

の観測データでも浅部の異常を示すものはない。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

**箱根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）] ←30 日に噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）から引上げ**

29 日 07 時 32 分から約 5 分間の火山性微動が発生し、同日 12 時 45 分頃には大涌谷の北から北東にかけて最大約 1.2 km の範囲で降下物を確認した。その後の調査で大涌谷において新たな噴気孔が確認された。30 日に実施した現地調査では、29 日に確認した噴気孔周辺で火山灰等の堆積による盛り上がり確認され、ロープウェイ大涌谷駅付近で降灰を確認した。これらのことから、大涌谷で 29 日夜から 30 日朝にかけてごく小規模な噴火が発生したと判断し、30 日 12 時 30 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げた。

今後も小規模な噴火が発生する可能性があるため、大涌谷周辺の概ね 1 km の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。また、風下側では火山灰や小さな噴石<sup>3)</sup>が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。



箱根山 警戒が必要な範囲（赤円内：大涌谷周辺の概ね 1 km の範囲）

**伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]**

火山性地震は少ない状態で経過している。

GNSS<sup>2)</sup>連続観測では、地下深部へのマグマの供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。2011 年頃から鈍化していたが、2013 年 8 月頃から再び膨張傾向がみられる。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないが、山体の膨張が続いていることから、今後の火山活動に注意が必要である。

**三宅島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）] ←5 日に噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）から引下げ**

噴火は 2013 年 1 月 22 日以降発生していない。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 9 月以降は 1 日あたり 500 トン以下で経過している。また、山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過していることから、三宅島では噴火が発生する可能性は低くなったものと考えられる。

これらのことから、5 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

しかし、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。

また、火山ガスの放出は続いているため、引き続き火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では警戒が必要である。

**西之島 [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]**

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石<sup>3)</sup>等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いている。

7 日、12 日、14 日に第三管区海上保安本部が、18 日に海上保安庁が上空からの観測を実施し、第 7 火口での活発な噴火活動の継続を確認した。

第 7 火口の火砕丘北東斜面に形成されている溶岩流出口からは溶岩が流出し、火砕丘東側を回り込んで扇型に拡がりながら南東方向へ流下していた。また、溶岩流出口からは、青白色の火山ガスを放出していた。

ごく薄い黄緑色の変色域が海岸線に沿って幅約 100~200m で分布していたのが確認された。

新たな陸地の大きさは、東西方向に約 1,980 m、南北方向は約 2,090m、面積は約 2.70km<sup>2</sup>（前回 5 月 20 日：約 2.57km<sup>2</sup>）であった。

西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある断層やクラックは認められなかった。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>や水面を高速で広がるベースサージ<sup>4)</sup>等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるため、西之島の中心から概ね 4 km 以内の範囲では噴火に警戒が必要である。

### 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過している。GNSS<sup>2)</sup> 連続観測によると、地殻変動は 2014 年 12 月上旬頃から隆起の傾向がみられ、2015 年 3 月頃から隆起速度が上がっている。その他の観測データに特段の異常は認められない。

島北西部の井戸ヶ浜では、20 日 18 時 18 分から 22 分にかけて最大 200m の水蒸気の噴出を確認した。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

### 福岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による観測によると、福岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生している。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

日光白根山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

新瀧焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

白山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

### 【九州地方及び南西諸島】

#### 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められないが、GNSS<sup>2)</sup> 連続観測によると、わずかに伸びの傾向が認められるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

中岳第一火口では、今期間、噴火は観測されなかった。

火山性微動の振幅は、消長を繰り返しながら、概ね大きな状態で継続した。

期間中に実施した現地調査では、10 日に 141 火孔<sup>5)</sup> 内の一部に湯だまりを確認した。赤外熱映像装置による観測では、湯だまりの最高温度は約 80℃であった。湯だまりを確認したのは、2014 年 7 月 8 日以来である。その後も、引き続き湯だまりを確認したが、29 日には湯だまりが消失しているのを確認した。

中岳第一火口では火山活動が停滞する傾向がみられるものの、活発な火山活動が続いていることから、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。火口周辺では強風時に小さな噴石が 1 km を超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意が必要である。

#### 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められないが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっており、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

新燃岳火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過した。

GNSS<sup>2)</sup> 連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向が見られていたが、2015 年 1 月頃から停滞している。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるため、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup> に警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>3)</sup>（火山れき<sup>6)</sup>）が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。降雨時には、泥流や土石流に注意が必要である。

#### さくらじま **桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]**

昭和火口では、爆発的噴火が 64 回発生するなど、活発な噴火活動が継続した。

弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup> が 4 合目（昭和火口より 800～1,300m）まで達する爆発的噴火が 5 回発生した。また、4 日 11 時 25 分、14 時 22 分及び 21 時 04 分の爆発的噴火に伴い、ごく小規模の火砕流が発生し、最大で火口から東側へおよそ 400m 流下した。噴煙の高さの最高は、1 日 12 時 33 分の爆発的噴火による火口縁上 3,300m であった。

南岳山頂火口では、22 日に灰白色の噴煙が火口縁上 200m まで上がるごく小規模な噴火が発生した。同火口でごく小規模な噴火が観測されたのは 5 月 12 日以来である。

桜島島内の伸縮計<sup>7)</sup> では、2015 年 1 月 1 日頃から山体の膨張を示す変化が継続している。桜島島内の傾斜計<sup>4)</sup> では、2015 年 1 月以降、山体がわずかに隆起する傾向が続いていたが、3 月以降停滞する傾向が見られる。GNSS<sup>2)</sup> 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、2013 年 6 月頃から停滞していたが、2015 年 1 月から伸びの傾向がみられる。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup> 及び火砕流に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>3)</sup>（火山れき<sup>6)</sup>）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

#### まつまいおうじま **薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、硫黄岳火口では噴煙活動が続いており、火口内では火山灰等の噴出する可能性がある。また、火口周辺では火山ガスに注意が必要である。

#### くちのえらぶじま **口永良部島 [噴火警報（噴火警戒レベル 5、避難）及び火山現象に関する海上警報]**

口永良部島の火山活動は活発な状態が継続している。

18 日 12 時 17 分頃に噴火が発生し、口永良部島の東海上で、噴火に伴う小さな噴石<sup>3)</sup> 及び降灰が確認された。現地調査及び聞き取り調査では、屋久島町、西之表市及び中種子町で降灰を確認した。また、18 日 16 時 31 分と 19 日 09 時 43 分にもごく小規模な噴火が発生した。

20 日に九州地方整備局の協力により、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した上空からの観測によると、新岳火口周辺や山体斜面で 18 日の噴火による新たな火砕流の痕跡は認められなかった。噴煙のため火口内の状況は未確認であるが、新岳火口の形状に特段の変化は認められなかった。

6、20、21、29 日に、東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所及び気象庁が実施した観測では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 800～1,700 トン（5 月 29 日の噴火直後 3,800 トン）と依然として多い状態であった。

今後も、5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性がある。

大きな噴石<sup>3)</sup> の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>3)</sup> が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。

新岳火口から半径 2 海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶ恐れがあるので、噴火に警戒が必要である。

#### すわのせじま **諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]**

おたけ  
御岳火口では、噴火は観測されなかったが、長期にわたり噴火を繰り返している。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup> に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>3)</sup> が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらんだけ  
鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]  
きりしまやま おはち  
霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]



- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 4) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 5) 阿蘇山では、火口内の火山灰や噴石を噴出する孔を火孔と呼んでいる。火山活動に伴い、火孔の位置が変わったり、同時に複数個の火孔が開いたりしたことがあり、明瞭に区別するために、141 火孔のように西暦の下 2 桁と通し番号で命名している。
- 6) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。
- 7) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。

表 2 平成 27 年 6 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要					
		種類、号数等	発表日時						
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 5、避難)	解説情報 第 51 号～80 号 第 82 号～86 号 第 88 号～113 号	1 日～4 日 6 日～30 日 10 時 00 分 16 時 00 分 5 日 10 時 10 分 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。					
		解説情報第 81 号	15 日 18 時 30 分	第 132 回火山噴火予知連絡会見解					
		解説情報第 87 号	18 日 12 時 50 分	12 時 17 分に発生した噴火の状況。					
		火山活動解説資料	1 日 20 時 20 分 7 日 14 時 00 分 21 日 14 時 00 分 18 日 17 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。上空からの観測の状況。 12 時 17 分に発生した噴火の状況。上空からの観測の状況。					
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 62 号、63 号、 65 号、66 号	5 日、12 日、19 日、 26 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。					
		解説情報第 64 号	15 日 18 時 30 分	第 132 回火山噴火予知連絡会見解					
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	26 日 17 時 00 分	火山活動は低下した状態が続き、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられることから、噴火警戒レベル 2 (火口周辺規制) に引下げ。					
		火山活動解説資料							
解説情報第 67 号	3 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。							
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	降灰予報 (速報)	1 日 10 時 17 分 1 日 12 時 40 分 1 日 16 時 33 分 4 日 02 時 18 分 4 日 07 時 50 分 4 日 10 時 56 分 4 日 14 時 31 分 4 日 16 時 18 分 4 日 19 時 44 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。					
			降灰予報 (詳細)		1 日 10 時 40 分 1 日 12 時 55 分 1 日 16 時 50 分 4 日 02 時 33 分 4 日 08 時 10 分 4 日 11 時 10 分 4 日 14 時 45 分 4 日 16 時 31 分 4 日 20 時 00 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。			
					解説情報第 46 号 ～54 号		1 日、5 日、8 日、 12 日、15 日、19 日、 22 日、26 日、29 日 16 時 00 分	爆発的噴火による大きな噴石の飛散状況。 傾斜計・伸縮計・地震回数等火山活動の状況。	
					火口周辺警報 (火口周辺危険)		解説情報第 28 号 ～30 号	1 日、8 日、15 日 16 時 00 分	地震回数、微動の発生状況等火山活動の状況。
							噴火予報 (活火山であることに留意)	噴火予報	16 日 09 時 00 分
					火山活動解説資料			16 日 10 時 00 分 30 日 10 時 30 分	17 日から増加した火山性地震の状況。
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)				解説情報第 32 号 ～36 号		1 日、8 日、15 日、 22 日、29 日 16 時 00 分	噴煙・傾斜計・地震回数等火山活動の状況。	
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)				解説情報第 25 号 ～28 号		5 日、12 日、19 日、 26 日 16 時 00 分	傾斜計・地震回数等火山活動の状況。	

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
箱根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報第 32 号 ～59 号	1 日～18 日 20 日～28 日 16 時 00 分 19 日 16 時 10 分	火温泉供給施設の蒸気・傾斜計・ひずみ計・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
		火山活動解説資料	5 日 10 時 00 分	
		解説情報第 60 号 ～61 号	29 日 16 時 25 分 29 日 21 時 20 分	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	火口周辺警報	30 日 12 時 30 分	大涌谷で 29 日夜から 30 日朝にかけてごく小規模な噴火が発生したと判断し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）に引き上げ。
		火山活動解説資料	30 日 13 時 30 分	
		解説情報第 62 号	30 日 16 時 25 分	
火山活動解説資料		30 日 21 時 30 分		
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報第 43 号 ～51 号	5 日、8 日、12 日、 15 日、19 日、22 日、 26 日、29 日 16 時 00 分	噴気・火山性微動等の火山活動の状況。現地調査の状況。
浅間山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	解説情報第 5 号	5 日 16 時 00 分	火山性地震・火山性微動の状況等火山活動の状況。二酸化硫黄の放出量の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	11 日 15 時 30 分	火山性地震の多い状態が継続し、11 日に二酸化硫黄の放出量が急増したことから、噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）に引上げ。
		解説情報第 6 号	11 日 16 時 05 分	
		火山活動解説資料	11 日 16 時 50 分	
		解説情報第 7 号～ 10 号、12 号～15 号、17 号～26 号	12 日～15 日、16 日、 18 日、19 日、21 日 ～30 日 16 時 00 分 17 日 16 時 10 分	噴煙・火映・火山性地震・火山性微動の状況等火山活動の状況。二酸化硫黄の放出量の状況。上空からの観測状況。
		解説情報第 11 号	16 日 10 時 30 分	16 日に発生したごく小規模な噴火の状況。上空からの観測の状況。
		火山活動解説資料	16 日 17 時 40 分	
		火山活動解説資料	18 日 17 時 00 分	16 日夜から 17 日未明にかけて観測した微弱な火映の状況。火山灰の分析結果。
解説情報第 16 号	20 日 16 時 00 分	19 日に発生したごく小規模な噴火の状況。		
火山活動解説資料	24 日 18 時 30 分	噴煙・火映・火山性地震・火山性微動の状況等火山活動の状況。二酸化硫黄の放出量の状況。上空からの観測状況。		
三宅島	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	噴火予報	5 日 14 時 00 分	噴火が発生する可能性は低くなったことから噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ。
		火山活動解説資料		

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

この他、三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。

阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

## 資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 27 年 6 月 30 日現在）

## (1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	東北地方	岩木山	噴火予報（活火山であることに留意）
秋田焼山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年7月25日 噴火予報（レベル1、平常）
岩手山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
秋田駒ヶ岳		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
鳥海山		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
栗駒山		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
蔵王山		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年4月13日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日 噴火予報（活火山であることに留意）
吾妻山		火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
安達太良山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
磐梯山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	乗鞍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年6月26日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	白山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	西之島	火口周辺警報(入山危険)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年11月20日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日 火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日 火口周辺警報(入山危険)切替 2015年2月24日 火口周辺警報(入山危険)切替
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福德岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年2月1日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年3月22日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年6月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2013年10月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	霧島山 (御鉢)	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2014年10月24日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年5月1日 噴火予報 (平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年3月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年6月4日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年7月10日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	口永良部島	噴火警報 (レベル 5、避難)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年1月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年8月3日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年8月7日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年5月29日 噴火警報 (レベル 5、避難)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

## （２）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、\*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

## 資料 2 第 132 回火山噴火予知連絡会について

平成 27 年 6 月 15 日、第 132 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、全国の火山活動の評価のほか、口永良部島、御嶽山、桜島等の火山活動について特に重点的に検討を行い、委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめた。その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

### 第 132 回火山噴火予知連絡会 口永良部島の火山活動に関する検討結果

**口永良部島の火山活動は活発な状態が継続しています。今後も 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性があります。**

口永良部島では 2015 年 5 月 29 日 09 時 59 分に新岳火口から爆発的噴火が発生し、大きな噴石が火口周辺に飛散し、黒灰色の噴煙が火口縁上 9,000m 以上に上がりました。

この噴火に伴い発生した火砕流は、新岳火口からほぼ全方位に広がり、北西側は海岸（向江浜地区）まで、南西側では海岸付近まで、また南東側では中腹まで流下しました。

噴火後に火口底は深くなり火口壁の一部が消失しましたが、火口縁の西側割れ目及び南側割れ目の形状には大きな変化はないことから、今回の噴火は既存の火口内で発生したものとみられます。

また今回の噴火は、昨年（2014 年）8 月 3 日の噴火を超える規模と推定され、噴出した火山灰の分析からマグマ水蒸気噴火と推定されています。

噴火前の 5 月 18 日以降、最大 M2.3 の地震を含む地震活動の活発化がみられ、噴火の直後から同日の 13 時にかけて多数の地震が発生しました。また火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 5 月中旬から減少し、5 月下旬には 1 日あたり 300～700 トンでしたが、噴火直後は 1 日あたり 3,800 トンと非常に多くなりました。

5 月 31 日以降は噴火は発生していませんが、現在も白色噴煙の活動は続いており、火山性地震も少ない状態ながら発生しています。二酸化硫黄の放出量も 1 日あたり 1,200 トンと多い状態です。

これらのことから、火山活動は活発であり、引き続き 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

大きな噴石の飛散や火砕流の流下が予想されますので、厳重な警戒（避難等の対応）が必要です。新岳火口の北西から南西にかけての沿岸海域でも、火砕流による影響が及ぶ可能性があります。

るため警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要です。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要です。

### 第 132 回火山噴火予知連絡会 御嶽山の火山活動に関する検討結果

**御嶽山の火山活動は低下した状態が継続しています。噴煙活動や地震活動は続いており、今後も火口周辺に影響を与える小規模な噴火が発生する可能性があります。**

御嶽山では、昨年（2014 年）10 月中旬以降、噴火は観測されていません。噴煙は噴火直後に比べて減少した状態で経過しています。火山性微動は昨年 12 月以降観測されていません。

火山性地震は減少していますが、昨年 8 月以前の状態には戻っていません。

地殻変動観測では、火山活動の高まりを示す変化は観測されていません。

以上のように、御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年中旬以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられます。しかしながら、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できません。

火口周辺では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

### 第 132 回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

第 131 回火山噴火予知連絡会（平成 27 年 2 月 24 日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

#### ○全国の主な火山活動

今期間（平成 27 年 2 月 24 日～6 月 15 日）、口永良部島、桜島、西之島、阿蘇山、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

口永良部島〔噴火警報（噴火警戒レベル 5）〕については別に「口永良部島の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕に



については別に「御嶽山の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

### 桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕

昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。火山灰の噴出量は 2015 年 1 月から 4 月までで 320 万トンと多くなっています。噴煙の高さの最高は火口縁上 4,300m、大きな噴石は最大 3 合目（昭和火口より 1,300~1,800m）まで達しました。

地殻変動観測では、桜島島内で 2014 年 12 月下旬頃から山体の隆起と膨張と考えられる変化が継続しています。今後、多量の火山灰を降らせる噴火が発生する可能性があります。

また、始良カルデラ深部では長期的に膨張が進行してきており、引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

### 西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕

西之島では噴石等を放出する噴火や溶岩の流出が続いています。2015 年 5 月 20 日時点で、新たな陸地の面積は約 2.6km<sup>2</sup> になっています。

島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

### 阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

2014 年 11 月 25 日から始まったマグマ噴火は、2015 年 5 月 21 日までは断続的に続いていたことが確認されています。GNSS 連続観測では、深部のマグマだまりがあると考えられる草千里を挟む GNSS 連続観測の基線で、わずかな伸びの傾向が認められていましたが、2015 年 3 月頃から停滞しています。二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり 800~3,700 トンと多い状態で経過しています。

以上のように中岳第一火口では火山活動が停滞する傾向がみられるものの、活発な火山活動が続いていることから、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

### 草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が継続しています。湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な

状態が継続しています。また、北側噴気地帯のガス組成及び湯釜湖水の化学成分の活動活発化を示す変化が継続しています。

草津白根山では火山活動が活発化しており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

### 吾妻山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

2015 年 1 月中旬以降、地震回数は減少していますが、5 月上旬には一時的な増加や火口側上がりの傾斜変化を伴う火山性微動もみられています。GNSS 観測及び SAR 干渉解析では、2014 年 9 月頃から一切経山付近の膨張を示す変化がみられています。大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いており、地熱域のわずかな拡大傾向もみられます。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

### 蔵王山〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

2015 年 4 月に御釜周辺が震源と推定される火山性地震が増加し、火山活動が活発になりましたが、5 月下旬以降は地震の少ない状態で経過しています。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

### 箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

4 月 26 日から火山性地震が増加し、活発な状態が続きました。5 月 3 日以降、大涌谷温泉供給施設で蒸気が継続的に勢いよく噴出しているのを確認したほか、この付近では局所的な隆起を示すと考えられる変化も確認されています。傾斜計、ひずみ計、GNSS により地殻変動も観測されています。

6 月に入ったころから地震回数が減少しているものの、地震活動、地殻変動及び活発な蒸気の噴出が継続している間は、大涌谷周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大涌谷周辺では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがありますので注意が必要です。

### 浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

火山性地震及び火山性微動が、2014 年頃から増加する傾向がみられ、火山性地震は 4 月下旬頃からさらに増加しています。6 月 11 日には火山ガスの放出量の急増もみられました。

火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

## 各地方の主な活火山の火山活動評価

### 1. 北海道地方

#### ①アトサヌプリ〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ②雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・4 月 15 日から 18 日にかけて、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする規模の小さな地震が増加しました。

・全磁力連続観測によると、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下では、2015 年 3 月中旬以降熱活動が活発化している可能性が考えられますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

#### ③大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ④十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・4 月 4 日から 7 日にかけて火山性地震が一時的に増加するなど、4 月以降火山性地震の一時的な増加や火山性微動の発生がしばしば観測されました。

・4 月 9 日及び 13 日に実施した上空からの観測（北海道、国土交通省北海道開発局の協力による）や 4 月 9 日に実施した現地調査では、火口や噴煙の状況及び火山ガスの放出量に特段の変化はありませんでした。

・ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生及び発光現象などが観測されており、長期的にみると火山活動は高まる傾向にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

#### ⑤樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

・山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

#### ⑥倶多楽〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑦有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・4 月 19 日から 21 日にかけて、有珠山北側山腹のやや深い所（深さ約 6 km 付近）を震源とする微小な地震が一時的に増加しましたが、その他の期間は少ない状態で経過しました。

・その他のデータに特段の変化はみられず、噴火に至る兆候は認められません。

#### ⑧北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑨恵山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 2. 東北地方

#### ①岩木山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ②八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ③秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ④岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・火山性地震は、期間をとおしては概ね少ない状態で経過しています。

・その他の火山活動は低調に経過しており、噴

火の兆候は認められません。

**⑤秋田駒ヶ岳** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・<sup>めだけ</sup>女岳では、2009 年から拡大している地熱域が引き続きみられますが、今期間は大きな変化は認められませんでした。
- ・地震活動は、一時増加することもありましたが概ね低調で、地殻変動に特段の変化はみられませんでしたが、地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

**⑥鳥海山** [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑦栗駒山** [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑧蔵王山** [火口周辺警報（火口周辺危険）] ←平成 27 年 4 月 13 日に噴火予報（活火山であることに留意）を火口周辺警報（火口周辺危険）に引上げ

- ・2015 年 4 月 7 日から 5 月中旬にかけて、御釜周辺が震源と推定される火山性地震が増加し火山活動が活発な状況となりました。
- ・このことから、小規模な噴火が発生する可能性があると考えられたことから、気象庁は 4 月 13 日に、火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。
- ・5 月下旬以降は地震の少ない状態で経過しています。
- ・2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

**⑨吾妻山** [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・1 月 14 日に 193 回を観測した地震回数は、同月中旬以降減少し 1 日あたり 10 回前後で経過していましたが、5 月 3 日以降増加し、5 月 6 日には地震の日回数が 110 回となり、1 月 14 日に次ぐ回数となりました。
- ・5 月 6 日に発生した火山性微動では、2 月 14 日同様、微動発生に伴い、火口側上がりの傾斜変化がみられました。
- ・GNSS 連続観測及び SAR 干渉解析では 2014 年

9 月頃から一切経山付近の膨張を示す変化がみられています。

- ・大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。また、地熱・噴気域のわずかな拡大傾向がみられています。
- ・大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

**⑩安達太良山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑪磐梯山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島**

**①那須岳** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**②日光白根山** [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**③草津白根山** [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が 2014 年 3 月上旬から増加しています。2014 年 8 月下旬以降はやや少ない状態で経過していますが、2015 年 1 月以降一時的な地震の増加がみられます。火山性微動は発生していません。
- ・GNSS による地殻変動観測では、2014 年 4 月頃から湯釜を挟む基線でわずかな伸びの傾向がみられます。湯釜周辺の傾斜計にも湯釜付近の膨張を示す変動が継続しています。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。
- ・2014 年 5 月頃から湯釜近傍地下の岩石の熱消磁によると考えられる全磁力変化がみられていましたが、7 月以降は停滞しています。
- ・2014 年 5 月から、北側噴気地帯の硫化水素ガ

ス成分が急減しています。湯釜湖水の温度は例年よりやや高めで推移しており、湖水中のフッ化物イオン・塩化物イオンが増加しています。

- ・草津白根山では火山活動が活発化した状態が続いており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

#### ④浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）]

←平成 27 年 6 月 11 日に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ

- ・火山性地震及び火山性微動ともに、2010 年 4 月以降やや少ない状態でしたが、2014 年頃から増加する傾向がみられています。このうち火山性地震は 4 月下旬頃からさらに増加しています。
- ・二酸化硫黄の放出量は、6 月 8 日の観測で 1 日あたり 500 トン、6 月 11 日の観測では 1,700 トンと急増しています。6 月 13 日の観測でも 1 日あたり 700 トン、15 日の観測でも 1,100 トンと多い状態が続いています。
- ・これらのことから、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があると考えられたことから、気象庁は 6 月 11 日に、火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。
- ・6 月に入ってから火口底の温度の上昇がみられます。
- ・山体周辺の GNSS による地殻変動観測では、2009 年秋頃から縮みの傾向がみられていましたが、2015 年 4 月頃から伸びに転じた可能性があります。
- ・火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

#### ⑤新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑥弥陀ヶ原 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今

後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

#### ⑦焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑧乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑨御嶽山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）] ←平成 27 年 3 月 31 日に警報事項を切替え（噴火警戒レベル 3（入山規制）は継続）

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。
- ・剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からの噴煙は、高さ火口縁上 100~500m で経過しています。
- ・地震回数は少ない状態で経過していますが、2014 年 8 月以前の状況には戻っていません。低周波地震は、2 月 23 日に 2 回、4 月 10 日、5 月 2 日、5 月 28 日に各 1 回観測していますが、いずれも振幅は小さく、発生前後で他のデータに特段の変化はみられていません。
- ・今期間火山性微動は観測されていません。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）観測によると、3 月までは 1 日あたりおよそ 100~300 トンとやや少ない状態が続いていましたが、6 月の調査で二酸化硫黄の放出量は検出限界以下となりました。
- ・GNSS による地殻変動観測では、御嶽山を挟む短い基線で 2014 年 10 月から 2015 年 3 月頃にかけて縮みの傾向がみられており、山体の収縮を示していた可能性があります。
- ・御嶽山の火山活動は低下した状態が継続しており、昨年（2014 年）10 月中旬以降噴火が発生していないことから、昨年（2014 年）9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられます。しかしながら、噴煙活動や地震活動が弱いながらも続いており、昨年（2014 年）9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できません。
- ・火口周辺では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

#### ⑩白山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・2011 年 3 月 15 日に山頂の南南西約 5 km、深さ 15 km を震源とする静岡県東部の地震（マグニチュード 6.4、最大震度 6 強）が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑫箱根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←平成 27 年 5 月 6 日に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ

- ・4 月 26 日から駒ヶ岳の北部で火山性地震が増加し、5 月中に活動の中心が駒ヶ岳の直下、北西方向、北方へと移りました。5 月 15 日には、北西方向で地震の日回数が 2001 年以降で最多の 442 回となるなど、特に活発な状態となりました。6 月に入ってからは少なくなつつも継続しています。低周波地震及び火山性微動は発生していません。
- ・5 月 3 日頃から、大涌谷温泉供給施設で蒸気が継続的に勢いよく噴出しているのを確認しています。噴出の勢いは 6 月 4 日の現地調査で 5 月に比べやや弱まっています。SAR 干渉解析によると、この大涌谷温泉供給施設付近では局所的な隆起を示すと考えられる変化が確認され、地上では亀裂が認められています。隆起には鈍化の傾向がみられます。
- ・傾斜計では、4 月下旬頃から火山活動に伴う変化が継続していますが、次第に鈍化する傾向を示す観測点もみられます。湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計では、4 月中旬頃からのわずかな縮みの変化の後、4 月下旬頃から伸びの変化に転じて継続しています。
- ・GNSS 連続観測では箱根山を挟む基線で 4 月頃から小さな伸びが継続しています。
- ・火山ガス成分によると新たなマグマの浅部への貫入は認められていません。
- ・箱根山の火山活動は活発な状態が続いていましたが、6 月に入って地震回数が減少しています。ただし、地震活動、地殻変動及び活発な蒸気の噴出が継続している間は、大涌谷周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があります。大涌谷周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがありますので注意が必要です。

⑬伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・地殻変動観測によると、短期的な膨張や収縮があるものの、長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

⑮新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑯神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑰三宅島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）] ←平成 27 年 6 月 5 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ

- ・噴火は 2013 年 1 月 22 日を最後に発生していません。
- ・噴煙は白色で、高さは火口縁上 100～500 m で経過しています。
- ・山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は長期的には緩やかな減少傾向にあり、2014 年以降は 1 日あたり 500 トン以下で経過しています。
- ・以上のことから、噴火の兆候が認められなくなったと判断し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げました。
- ・なお、GNSS による観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013 年頃から停滞しています。一方、島内の長距離の基線で 2006 年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。
- ・主火孔における噴煙活動及び火山ガスの放出が継続していることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

⑱八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑱青ヶ島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑳西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕

- ・2013年11月20日に西之島の南東海上で確認された噴火では、噴石等を放出する爆発的噴火や溶岩の流出により新島が拡大し、2013年12月26日には西之島旧島と一体となりました。
- ・その後も噴火活動は継続し、新たに形成された陸地（西之島旧島と接続した新島部分）の拡大が確認されており、西之島旧島のほとんどを埋没させています。2015年5月20日時点で、新たに形成された陸地の面積は約2.6km<sup>2</sup>になっています。
- ・西之島では噴火が継続しており、島の中心から概ね4km以内では噴火に警戒してください。

#### ㉑硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

- ・島北西部の井戸ヶ浜で、5月22日及び24日に水蒸気の噴出を確認しています。
- ・島西部のミリオンダラーホール（旧火口）では、2012年2月以降ごく小規模な水蒸気爆発が度々発生していますが、2013年4月12日以降、噴火は確認されていません。
- ・地震活動はやや多い状態で経過しています。火山性微動は時々観測されています。
- ・GNSSによる地殻変動観測では、2014年12月頃から隆起の傾向がみられ、2015年1月中旬頃から隆起速度が上がっています。4月中旬から西向きの変動速度が上がっています。なお、島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点及びその周辺では警戒してください。

#### ㉒福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）〕

- ・長期間にわたり変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

### 4. 九州地方・南西諸島

#### ①鶴見岳・伽藍岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ②九重山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・GNSS観測によると、わずかな伸びの傾向がみられていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

#### ③阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

- ・中岳第一火口では2015年5月21日まで断続的に噴火が続き、4月23、24及び26日には、灰白色の噴煙が火口縁上1,500mまで上がりました。3月2日、4月21日及び4月24日の夜間に実施した現地調査では、ストロンボリ式噴火を観測し、赤熱した噴石が断続的に火口縁上200mの高さまで上がるのを確認しました。また、夜間に遠望カメラ（高感度カメラ）で火映を時々観測しました。
- ・中岳第一火口周辺で観測された降灰量は、阿蘇山特別地域気象観測所では、3月2～31日に2,442g/m<sup>2</sup>、4月2～30日に1,868g/m<sup>2</sup>、阿蘇市役所では、3月2～31日に175g/m<sup>2</sup>、4月2～30日に26g/m<sup>2</sup>でした。
- ・現地調査によると2014年11月25日から2015年5月11日までの噴火による火山灰の総量は210万トン程度と概算されています。
- ・噴出したスコリア等の分析によると、マグマの組成は1970、1980年代の噴出物と類似しています。
- ・二酸化硫黄の放出量は、1日あたり800～3,700トンと多い状態でした。
- ・火山性微動は概ね振幅の大きな状態で継続しました。
- ・5月3日22時04分に、継続時間約5分間の振幅の大きな火山性微動が発生し、南阿蘇村中松で震度1を観測しました。火山性微動により震度1以上を観測したのは、1995年7月4日（震度1）以来です。翌日（4日）に実施した現地調査では、火口から北東約4kmの阿蘇市一の宮町宮地で降灰を確認しました。5月5日の現地調査では、中岳第一火口内の141火孔の南側が陥没していることを確認しました。
- ・5月8日12時58分に、中岳第一火口付近のごく浅い所を震源とする地震が発生し、南阿蘇村中松で震度3を観測しました。地震の前後で噴煙や地殻変動の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・傾斜計では、5月8日の地震に伴って、わずかに火口方向が下がる変化が認められました。
- ・GNSS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線の伸び

は、2015 年 3 月頃から停滞しています。

- 以上のように、阿蘇山では火山活動が停滞する傾向がみられるものの、活発な火山活動が続いていますので、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が 1 km を超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。
- 南阿蘇村吉岡の噴気活動はやや活発な状態が続いており、引き続き噴気活動に注意してください。

#### ④雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- 長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

#### ⑤霧島山

##### 新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- 新燃岳では、2011 年 9 月 7 日を最後に噴火は発生していません。
- 火口内に蓄積された溶岩のわずかな体積膨張は続いています。火口内南東側の火孔の形状にも特段の変化はみられませんでした。しかし、火口にたまった溶岩内部には依然高温状態の部分もあると考えられます。
- 3 月下旬から 4 月上旬にかけて新燃岳火口直下を震源とする火山性地震がやや増加し、4 月中旬以降もこれまでよりやや多い状況で経過しました。3 月頃から振幅のやや大きな BH 型地震が増加しています。
- 3 月 1 日に継続時間 1 分未満の振幅の小さな火山性微動が 1 回発生しました。火山性微動を観測したのは 2012 年 2 月 1 日以来です。
- GNSS 観測によると、新燃岳の北西数 km（えびの高原付近）の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられましたが、2015 年 1 月頃から停滞しています。
- 新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には泥石流や土石流に注意してください。

##### 御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### えびの高原（硫黄山）周辺 [噴火予報（活火山であることに留意）] ←平成 27 年 5 月 1 日に火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引下げ

- えびの高原（硫黄山）周辺では、2013 年 12 月頃から火山性地震の多い状態が続いていましたが、2015 年 4 月頃から少ない状態となっています。
- 2014 年 8 月 20 日には、硫黄山付近が震源とみられる火山性微動が発生しましたが、その後は発生していません。
- GNSS 連続観測では、えびの高原（硫黄山）周辺の一部の基線で、2013 年 12 月頃からみられた地盤の伸びの傾向は、2015 年 1 月頃から停滞しています。
- 火山活動によると考えられる傾斜変動は認められません。
- 噴気は認められず、赤外熱映像装置による観測では熱異常域は認められません。硫黄山周辺の全磁力繰り返し観測でも、地下の熱活動の高まりは認められません。
- 以上のことから、えびの高原（硫黄山）周辺の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、5 月 1 日 10 時 00 分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引下げました。
- 活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

##### ⑥桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

- 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- 今期間（2015 年 2 月から 5 月 31 日）の爆発的噴火の回数は 547 回で、大きな噴石が 3 合目まで達した噴火が 10 回発生しました。噴煙の高さが火口縁上 3,500m 以上の噴火は 15 回発生し、最高は火口縁上 4,300m（5 月 21 日 10 時 20 分の爆発的噴火）でした。ごく小規模な火砕流が 3 回発生し、昭和火口の東および南東側へ約 500m～600m 流下しました。
- 南岳山頂火口では、5 月 12 日にごく小規模な噴火が発生しました。
- 鹿児島県の降灰観測データをもとに解析した桜島の火山灰の月別の噴出量は、2 月及び 3

- 月はそれぞれ約 70 万トンとやや多い状況が続き、4 月は約 120 万トンと多くなりました。
- ・3 月 31 日 07 時 27 分に発生した地震（M2.8：暫定値）では、鹿児島市内で震度 1 を観測しました。この地震の震源は、桜島南西部の海拔下 8 km 付近で、同付近の海拔下 8～10km 付近に分布する A 型地震が 3 月 31 日から 4 月 2 日にかけて一時的に増加しました。
  - ・二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり 400～5,400 トンと概ね多い状態でした。
  - ・桜島島内の伸縮計・傾斜計・GNSS 連続観測では、2014 年 12 月下旬頃から山体の隆起と膨張と考えられる変化が継続しています。この山体の膨張・隆起により、2012 年 7 月 24 日及び 2013 年 8 月 18 日以上の多量の火山灰を噴出する噴火が発生する可能性があります。
  - ・GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）では、2013 年 6 月頃から停滞していましたが、2015 年 1 月から伸びの傾向がみられます。
  - ・火山灰の放出量と地殻変動量から導いた桜島直下へのマグマの供給量は、2015 年 1 月ごろから増加する傾向が続いています。
  - ・以上のように、桜島では引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。
  - ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

#### ⑦薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・硫黄岳火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

#### ⑧口永良部島 [噴火警報（噴火警戒レベル 5、避難）] ←平成 27 年 5 月 29 日に噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 5（避難）に引上げ

- ・口永良部島では 5 月 29 日 09 時 59 分に爆発的噴火が発生しました。噴火と同時に大きな噴石が火口周辺に飛散し、火砕流はほぼ全方位に流れ、北西側（向江浜地区）では海岸まで達しました。噴煙が火口縁上 9000m 以上上昇

- し東南東に流れました。今回の噴火は 2014 年 8 月 3 日の噴火を超える規模と考えられます。
- ・新岳火口の火口壁の一部は消失していましたが、西側割れ目及び南側割れ目の形状に大きな変化はありませんでした。
- ・噴火発生に伴い火山性微動と山頂側が沈降する傾斜変化が観測されました。
- ・5 月 23 日 08 時 00 分に、島内のごく浅いところを震源とする地震（M2.3：暫定値）が発生し、島内で震度 3 を観測しました。その後 A 型地震が一時的に増加しました。
- ・噴火前と比較して、新岳火口内及び火口縁で一部形状の変化が認められた他、火口底が深くなっていることが確認されました。
- ・噴火前には、現地調査及び上空からの観測で、新岳火口縁の西側及び南西斜面の噴気地帯で熱異常域を継続的に確認しており、西側の熱異常域では 3 月頃から明らかな温度の上昇が認められていました。
- ・3 月 24 日の夜間に、遠望カメラ（高感度カメラ）で火映を観測しました。口永良部島で火映を観測したのは初めてです。火映はその後時々観測していましたが、噴火発生後は観測されていません。
- ・火山ガスの観測によると、2014 年 8 月 3 日以降、二酸化硫黄の放出量がやや多くなり、2014 年 11 月から 2015 年 5 月上旬までは 1 日あたり 400～4,200 トンと多い状態で経過していましたが、5 月中旬には 1,200 トン以下、5 月下旬には 300～700 トンと、噴火前は次第に減少していました。噴火直後の観測では、1 日あたり 3,800 トンで、その後減少しましたが 1 日あたり 1,200 トンと多い状態です。
- ・GNSS 連続観測では、2014 年 12 月頃から一部の基線にわずかな伸びの傾向が認められていましたが、2 月頃から鈍化しています。
- ・噴火後の噴煙の状態、二酸化硫黄放出量、及び地震活動は、噴火前の地震活動が高まる以前と同程度で継続しています。今後も今回と同程度の規模の噴火が発生する可能性があるため、厳重な警戒が必要です。
- ・噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

#### ⑨諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・御岳火口では、爆発的噴火が 14 回発生するなど活発な噴火活動が継続しました。
- ・噴煙の高さの最高は、4 月 11 日の爆発的噴火に伴う火口縁上 1,700m でした。また、同火



口では夜間に遠望カメラ（高感度カメラ）で火映を時々観測しました。

- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、2月26日に切石港（御岳の南約3.5km）で、4月11日に集落（御岳の南南西約4km）で降灰が確認されました。
- ・火山性地震はやや少ない状態で経過しました。火山性微動は、断続的に発生しました。
- ・今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

## ●世界の主な地震

平成 27 年（2015 年）6 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

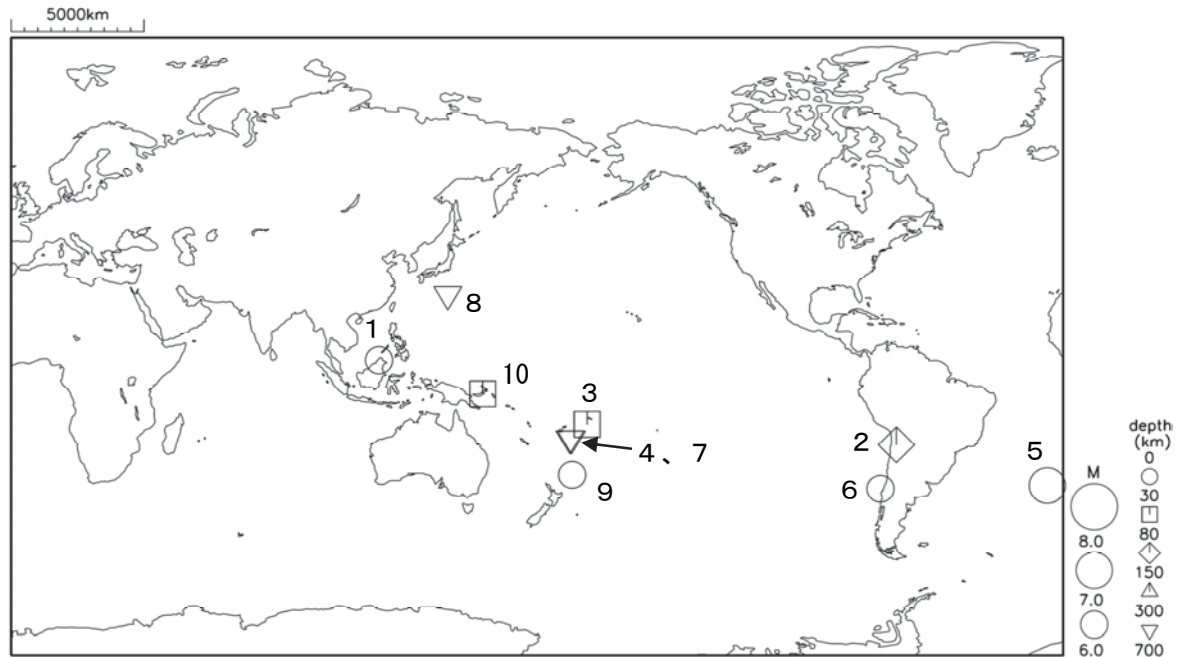


図 1 平成 27 年（2015 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- \* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2015 年 7 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- \*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- \*\*\* : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Mj (気象庁マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 27 年（2015 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	06月05日08時15分	N 5° 58.7′	E116° 31.7′	10			6.0	ボルネオ	死者18人		
2	06月10日22時52分	S22° 27.6′	W 68° 26.0′	124			6.0	チリ北部			
3	06月12日20時07分	S15° 41.0′	W173° 03.3′	41			6.0	トンガ諸島			
4	06月16日15時17分	S20° 24.3′	W178° 54.6′	653			6.0	フィジー諸島			
5	06月17日21時51分	S35° 21.7′	W 17° 23.4′	10			7.0	大西洋中央海嶺南部			
6	06月20日11時10分	S36° 19.7′	W 73° 49.0′	10			6.4	チリ中部沿岸			
7	06月22日06時28分	S20° 27.4′	W178° 21.0′	561			6.0	フィジー諸島			
8	06月23日21時18分	N27° 42.0′	W140° 10.7′	484		6.8	(6.5)	小笠原諸島西方沖		○	
9	06月26日03時45分	S32° 04.8′	W178° 08.1′	10			6.0	ケルマディック諸島南方			
10	06月30日12時39分	S 5° 27.1′	E151° 36.0′	35			6.0	パプアニューギニア、ニューブリテン			

- ・ 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2015 年 7 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・ 6 月 5 日のボルネオの地震の被害状況は The Board of Trustees of the Sabah Parks による (2015 年 6 月 22 日現在)。
- ・ 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9 時間] である。
- ・ 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

## ● 世界の主な火山活動

平成 27 年（2015 年）6 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）\*は以下のとおり。

### シナブン（Sinabung） インドネシア（図中 A） 標高 2,460m

6 月に発生した噴火により、溶岩流や火砕流が山腹を流れ下った。インドネシア当局によれば、この噴火で 10,184 人が退去や 10 の避難所に収容された。



図 平成 27 年（2015 年）6 月に噴火した主な火山（日本を除く）\*

\* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” ([http://www.volcano.si.edu/reports\\_weekly.cfm](http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

# ●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、\* のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注) を付した地震については、近接した地域でほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 02 52	福井県嶺北 福井県 岐阜県 1 大野市貝皿* <b>1.4</b> 大野市朝日* <b>0.9</b> 1 郡上市白鳥町長滝* <b>1.4</b>	35° 54.1' N	136° 46.4' E	9km	M: 2.8
2	1 09 49	択捉島付近 北海道 1 標津町北 2 条* <b>1.3</b> 根室市落石東* <b>0.9</b> 根室市牧の内* <b>0.5</b> 標茶町塘路* <b>0.5</b>	44° 01.8' N	146° 59.4' E	79km	M: 4.3
3	1 10 18	沖縄本島近海 鹿児島県 2 伊仙町伊仙* <b>1.5</b> 1 和泊町国頭* <b>1.4</b> 和泊町和泊* <b>1.4</b> 天城町平土野* <b>0.8</b>	27° 18.7' N	128° 52.9' E	31km	M: 3.7
4	1 19 16	兵庫県南東部 京都府 2 京都西京区大枝* <b>2.3</b> 亀岡市安町* <b>2.2</b> 大山崎町円明寺* <b>2.1</b> 八幡市八幡* <b>1.8</b> 京都中京区西ノ京* <b>1.7</b> 亀岡市余部町* <b>1.7</b> 久御山町田井* <b>1.7</b> 京都伏見区向島* <b>1.6</b> 京都伏見区醍醐* <b>1.5</b> 京都西京区榎原* <b>1.5</b> 1 宇治市宇治琵琶* <b>1.4</b> 京都伏見区淀* <b>1.3</b> 長岡京市開田* <b>1.3</b> 井手町井手* <b>1.3</b> 京都南区西九条* <b>1.2</b> 京都右京区太秦* <b>1.2</b> 京都北区中川* <b>1.2</b> 京都下京区河原町塩小路* <b>1.2</b> 城陽市寺田* <b>1.2</b> 向日市寺戸町* <b>1.2</b> 京都左京区田中* <b>1.1</b> 京都左京区大原* <b>1.1</b> 京都伏見区竹田* <b>1.1</b> 京田辺市田辺* <b>1.0</b> 宇治田原町荒木* <b>0.9</b> 京都伏見区久我* <b>0.9</b> 京都山科区安朱川向町* <b>0.9</b> 京都右京区京北周山町* <b>0.9</b> 宇治市折居台* <b>0.8</b> 南丹市八木町八木* <b>0.8</b> 京都山科区西野* <b>0.7</b> 京都右京区嵯峨* <b>0.7</b> 京丹波町蒲生* <b>0.7</b> 南丹市園部町小桜町* <b>0.7</b> 京都上京区藪ノ内町* <b>0.7</b> 京都北区紫竹* <b>0.7</b> 和束町釜塚* <b>0.6</b> 福知山市三和町千束* <b>0.6</b> 京都中京区河原町御池* <b>0.6</b> 京都右京区嵯峨嵯原* <b>0.6</b> 京都上京区今出川御前* <b>0.5</b> 大阪府 2 高槻市桃園町* <b>2.3</b> 高槻市立第 2 中学校* <b>2.3</b> 高槻市消防本部* <b>2.3</b> 箕面市箕面* <b>2.1</b> 箕面市粟生外院* <b>2.1</b> 豊中市皆根南町* <b>1.9</b> 豊中市役所* <b>1.8</b> 枚方市大垣内* <b>1.8</b> 大阪東淀川区北江口* <b>1.8</b> 島本町若山台* <b>1.8</b> 茨木市東中条町* <b>1.7</b> 豊能町余野* <b>1.7</b> 能勢町今西* <b>1.7</b> 吹田市内本町* <b>1.7</b> 大阪旭区大宮* <b>1.5</b> 1 大阪生野区舍利寺* <b>1.4</b> 大阪国際空港* <b>1.4</b> 大阪東成区東中本* <b>1.3</b> 大阪北区茶屋町* <b>1.3</b> 池田市城南* <b>1.3</b> 八尾市本町* <b>1.3</b> 寝屋川市役所* <b>1.3</b> 摂津市三島* <b>1.3</b> 交野市私部* <b>1.3</b> 大阪都島区都島本通* <b>1.3</b> 大阪西淀川区千舟* <b>1.2</b> 大阪東淀川区柴島* <b>1.2</b> 大阪淀川区木川東* <b>1.2</b> 大阪平野区平野南* <b>1.1</b> 大阪福島区福島* <b>1.1</b> 能勢町役場* <b>1.0</b> 大阪東住吉区杭全* <b>1.0</b> 守口市京阪本通* <b>1.0</b> 松原市阿保* <b>0.9</b> 四條畷市中野* <b>0.9</b> 門真市中町* <b>0.8</b> 大阪太子町山田* <b>0.8</b> 大阪堺市堺区大浜南町* <b>0.8</b> 大阪城東区放出西* <b>0.8</b> 富田林市高辺台* <b>0.8</b> 河内長野市清見台* <b>0.8</b> 富田林市本町* <b>0.7</b> 大阪此花区春日出北* <b>0.7</b> 羽曳野市誉田* <b>0.7</b> 柏原市安堂町* <b>0.7</b> 大阪阿倍野区松崎町* <b>0.7</b> 大阪住之江区御崎* <b>0.7</b> 大阪大正区泉尾* <b>0.6</b> 大東市新町* <b>0.6</b> 大阪堺市中区深井清水町* <b>0.6</b> 大阪堺市南区桃山台* <b>0.6</b> 藤井寺市岡* <b>0.5</b> 大阪鶴見区横堤* <b>0.5</b> 東大阪市荒北* <b>0.5</b> 大阪中央区大手前* <b>0.5</b> 兵庫県 2 川西市中央町* <b>1.7</b> 宝塚市東洋町* <b>1.5</b> 三田市下里* <b>1.5</b> 1 西宮市宮前町* <b>1.4</b> 三田市下深田* <b>1.4</b> 尼崎市昭和通* <b>1.3</b> 朝来市生野町* <b>1.2</b> 西宮市平木* <b>1.2</b> 篠山市北新町* <b>1.2</b> 篠山市杉* <b>1.2</b> 神戸中央区脇浜* <b>0.8</b> 伊丹市千僧* <b>0.7</b> 芦屋市精道町* <b>0.6</b> 猪名川町紫合* <b>0.6</b> 西脇市上比延町* <b>0.5</b> 丹波市春日町* <b>0.5</b> 奈良県 2 広陵町南郷* <b>1.8</b> 香芝市本町* <b>1.6</b> 1 高取町観音寺* <b>1.2</b> 天理市川原城町* <b>1.1</b> 橿原市八木町* <b>1.0</b> 斑鳩町法隆寺西* <b>1.0</b> 田原本町役場* <b>1.0</b> 宇陀市大宇陀迫間* <b>1.0</b> 奈良川西町結崎* <b>0.9</b> 三宅町伴堂* <b>0.9</b> 上牧町上牧* <b>0.9</b> 大和高田市大中* <b>0.8</b> 大和郡山北郡山町* <b>0.8</b> 桜井市初瀬* <b>0.8</b> 三郷町勢野西* <b>0.8</b> 葛城市長尾* <b>0.8</b> 奈良市半田開町* <b>0.7</b> 大和高田市野口* <b>0.7</b> 桜井市栗殿* <b>0.7</b> 葛城市柿本* <b>0.7</b> 御所市役所* <b>0.6</b> 生駒市東新町* <b>0.5</b> 宇陀市菟田野松井* <b>0.5</b> 岐阜県 1 大野町大野* <b>0.5</b> 大垣市墨俣町* <b>0.5</b> 羽島市竹鼻町* <b>0.5</b> 滋賀県 1 大津市南郷* <b>1.1</b> 草津市草津* <b>1.1</b> 大津市国分* <b>1.1</b> 東近江市五個荘小幡町* <b>1.0</b> 栗東市安養寺* <b>0.9</b> 愛荘町安孫子* <b>0.8</b> 近江八幡市出町* <b>0.7</b> 愛荘町愛知川* <b>0.7</b> 大津市南小松* <b>0.6</b> 甲良町在土* <b>0.6</b> 竜王町小口* <b>0.6</b> 近江八幡市桜宮町* <b>0.5</b> 湖南市中央森北公園* <b>0.5</b> 甲賀市甲賀町大久保* <b>0.5</b> 甲賀市甲賀町相模* <b>0.5</b> 東近江市市子川原町* <b>0.5</b>	34° 47.1' N	135° 21.8' E	11km	M: 3.8
5	1 20 39	千葉県北西部 千葉県 1 千葉緑区おゆみ野* <b>1.0</b>	35° 35.1' N	140° 08.7' E	0km	M: 1.9
6	1 22 55	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町湾* <b>0.8</b>	28° 01.3' N	130° 14.9' E	36km	M: 3.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
7	2 01 06	福島県沖 福島県 1 浪江町幾世橋=0.6	37° 30.6' N	141° 30.4' E	46km	M: 3.5
8	2 08 36	沖縄本島近海 沖縄県 1 座間味村座間味*=1.1 渡嘉敷村渡嘉敷*=0.5	26° 17.3' N	127° 19.5' E	45km	M: 3.2
9	2 10 33	奄美大島近海 鹿児島県 1 宇検村湯湾*=0.6	28° 30.4' N	129° 04.8' E	10km	M: 3.2
10	2 17 50	父島近海 東京都 1 小笠原村父島三日月山=0.6 小笠原村父島西町=0.5	27° 28.1' N	142° 11.9' E	71km	M: 3.9
11	3 01 41	東京都多摩東部 茨城県 1 笠間市石井*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.6 神奈川県 1 三浦市城山町*=0.5	35° 40.5' N	139° 35.9' E	95km	M: 3.4
12	3 03 39	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=1.4 青森南部町平*=0.8 青森南部町苔米地*=0.7 八戸市内丸*=0.7 七戸町森ノ上*=0.6 八戸市湊町=0.6 五戸町古館=0.5 岩手県 1 普代村銅屋*=1.1 宮古市田老*=0.7 久慈市枝成沢=0.7 岩手洋野町大野*=0.7 田野畑村役場*=0.6 軽米町軽米*=0.6 久慈市長内町*=0.5	40° 05.5' N	141° 59.2' E	67km	M: 3.7
13	3 06 04	小笠原諸島西方沖 千葉県 1 八千代市大和田新田*=0.5 東京都 1 小笠原村母島=1.2 小笠原村父島三日月山=0.6 小笠原村父島西町=0.5	27° 49.9' N	140° 46.0' E	695km	M: 5.6
14	3 06 13	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑠*=0.5	43° 05.9' N	145° 56.5' E	51km	M: 3.0
15	3 07 01	茨城県沖 福島県 1 いわき市小名浜=1.4 いわき市三和町=1.4 檜葉町北田*=1.3 平田村永田*=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 いわき市平梅本*=1.2 いわき市錦町*=1.0 田村市大越町*=0.9 天栄村下松本*=0.9 川内村上川内小山平*=0.8 浅川町浅川*=0.8 白河市新白河*=0.8 いわき市平四ツ波*=0.8 白河市郭内=0.7 小野町中通*=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 茨城県 1 東海村東海*=1.4 日立市役所*=1.2 笠間市石井*=1.1 日立市助川小学校*=1.1 高萩市下手綱*=1.0 高萩市安良川*=1.0 日立市十王町友部*=0.9 水戸市内原町*=0.8 笠間市中央*=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 土浦市常名=0.8 笠間市笠間*=0.7 筑西市門井*=0.6 桜川市羽田*=0.6 土浦市下高津*=0.6 筑西市舟生=0.5 水戸市千波町*=0.5 桜川市岩瀬*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 小美玉市堅倉*=0.5 栃木県 1 小山市神鳥谷*=0.7 真岡市田町*=0.6	36° 41.7' N	141° 01.2' E	18km	M: 4.2
16	3 08 21	宮城県沖 岩手県 1 住田町世田米*=0.9 釜石市中妻町*=0.7 一関市千厩町*=0.7 釜石市只越町=0.6	38° 43.6' N	142° 09.7' E	41km	M: 3.6
17	<b>3 20 39</b>	<b>釧路地方北部</b> 北海道 3 弟子屈町弟子屈*=2.5 2 弟子屈町美里=2.2 弟子屈町サワンチサップ*=1.8 1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=1.3 釧路市音別町中園*=1.3 標茶町川上*=1.2 釧路市阿寒町中央*=1.0 鶴居村鶴居東*=1.0 根室市落石東*=0.8 別海町本別海*=0.7 標茶町塘路*=0.7 津別町幸町*=0.6 斜里町ウトロ香川*=0.5	<b>43° 31.1' N</b>	<b>144° 21.1' E</b>	<b>3km</b>	<b>M: 3.9</b>
18	3 20 46	兵庫県南東部 兵庫県 1 西宮市平木*=1.0 宝塚市東洋町*=0.7 三田市下里*=0.5	34° 47.7' N	135° 19.5' E	7km	M: 2.9
19	3 22 08	釧路地方北部 北海道 1 弟子屈町弟子屈*=0.6	43° 30.9' N	144° 21.2' E	3km	M: 2.4
20	3 22 35	熊本県熊本地方 熊本県 1 山都町下馬尾*=0.6	32° 42.4' N	130° 54.2' E	16km	M: 2.3
21	<b>4 04 34</b>	<b>網走地方</b> 北海道 5弱 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=4.7 3 足寄町上螺湾=2.8 2 弟子屈町弟子屈*=2.4 弟子屈町美里=2.2 陸別町陸別*=2.1 弟子屈町サワンチサップ*=2.1 北見市公園町=2.0 美幌町東3条=1.9 津別町幸町*=1.8 釧路市阿寒町中央*=1.6 斜里町ウトロ香川*=1.5 小清水町小清水*=1.5 大空町東藻琴*=1.5 1 別海町常盤=1.4 本別町北2丁目=1.3 釧路市音別町中園*=1.3 大空町女満別西3条*=1.3 別海町本別海*=1.3 鶴居村鶴居東*=1.2 置戸町拓殖*=1.2 上土幌町上土幌*=1.2 標茶町塘路*=1.1 北見市南仲町*=1.1 訓子府町東町*=1.1 標茶町川上*=1.1 北見市留辺蘂町栄町*=1.0 湧別町栄町*=1.0 十勝大樹町生花*=1.0 根室市瑤瑤瑠*=1.0 新得町2条*=0.9 根室市落石東*=0.9 本別町向陽町*=0.9 上土幌町清水谷*=0.8 根室市厚床*=0.8 白糠町西1条*=0.8 十勝大樹町東本通*=0.8 土幌町土幌*=0.7 北見市常呂町常呂*=0.7 清里町羽衣町*=0.7	<b>43° 29.5' N</b>	<b>144° 03.6' E</b>	<b>0km</b>	<b>M: 5.0</b>

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
22	4 04 49	網走地方 北海道	43° 29.8' N	144° 03.8' E	0km	M: 3.4
		帯広市東6条*0.6 帯広市東4条=0.5 釧路市幸町=0.5 占冠村中央*0.5 紋別市南が丘町=0.5 2 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*2.0 1 弟子屈町サウチサップ*1.2 弟子屈町弟子屈*1.1 斜里町ウトロ香川*0.8 弟子屈町美里=0.7 津別町幸町*0.6 小清水町小清水*0.5 美幌町東3条=0.5				
23	4 04 51	網走地方 北海道	43° 30.1' N	144° 04.0' E	0km	M: 2.9
		2 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.6 1 弟子屈町弟子屈*0.5				
24	4 05 36	網走地方 北海道	43° 30.0' N	144° 03.5' E	0km	M: 2.6
		1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.1				
25	<b>4 14 03</b>	<b>網走地方</b> 北海道	<b>43° 29.5' N</b>	<b>144° 02.3' E</b>	<b>0km</b>	<b>M: 3.2</b>
		3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*2.8				
26	4 14 36	青森県東方沖 青森県	41° 29.2' N	141° 59.2' E	64km	M: 3.6
		1 東通村砂子又沢内*1.1 階上町道仏*0.9 野辺地町田狭沢*0.6 六ヶ所村尾駈=0.6				
27	4 16 21	網走地方 北海道	43° 29.7' N	144° 03.0' E	0km	M: 2.1
		1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*0.6				
28	5 08 52	紀伊水道 和歌山県	33° 44.2' N	135° 04.4' E	40km	M: 4.2
		2 白浜町日置*2.4 湯浅町湯浅*2.0 紀美野町下佐々*1.9 田辺市中屋敷町*1.9 御坊市藪=1.9 日高川町土生*1.9 みなべ町芝*1.6 日高川町川原河*1.5 由良町里*1.5 海南市日方*1.5 田辺市中辺路町近露=1.5 1 日高川町高津尾*1.4 田辺市龍神村西*1.4 白浜町消防本部=1.4 みなべ町土井=1.3 有田川町下津野*1.3 田辺市本宮町本宮*1.3 上富田町朝来*1.2 和歌山美浜町和田*1.2 和歌山日高町高家*1.1 有田川町清水*1.1 有田市初島町*1.0 海南市下津*0.9 和歌山広川町広*0.9 田辺市中辺路町栗栖川*0.9 紀の川市貴志川町神戸*0.8 すさみ町周参見*0.8 有田市箕島=0.7 紀の川市粉河=0.7 古座川町高池=0.7 かつらぎ町丁ノ町*0.6 和歌山市一番丁*0.6 高野町高野山中学校=0.5 和歌山市男野芝丁=0.5				
		徳島県 2 阿南市山口町*2.1 阿南市富岡町=1.8 1 那賀町和食*1.4 美波町西の地*1.2 鳴門市鳴門町*1.1 小松島市横須町*1.0 徳島市大和町=1.0 石井町高川原*0.9 阿南市羽ノ浦町*0.8 吉野川市鴨島町=0.7 鳴門市撫養町=0.6 那賀町横石=0.5 那賀町上那賀*0.5				
		兵庫県 1 南あわじ市湊*0.7 南あわじ市福良=0.6				
		奈良県 1 御所市役所*1.1 高取町観音寺*1.0 広陵町南郷*0.7 大淀町桧垣本=0.7 宇陀市大宇陀迫間*0.7 天川村洞川=0.5 桜井市初瀬=0.5				
29	5 15 11	宮城県沖 岩手県	38° 43.2' N	142° 15.2' E	38km	M: 3.7
		1 一関市千蔵町*0.6				
30	5 19 36	千葉県北西部 埼玉県 東京都	35° 40.2' N	139° 54.9' E	39km	M: 3.0
		1 狭山市入間川*0.5 1 東京品川区北品川*1.3 東京江戸川区中央=1.1 東京江東区塩浜*1.0 東京江戸川区船堀*1.0 東京渋谷区本町*0.8 東京品川区平塚*0.7 東京江東区越中島*0.5 東京渋谷区宇田川町*0.5 東京品川区広町*0.5				
		神奈川県 1 横浜鶴見区末広町*0.7 川崎川崎区宮前町*0.6				
31	6 06 27	千葉県東方沖 千葉県	35° 43.3' N	140° 53.4' E	15km	M: 3.0
		1 銚子市若宮町*0.6 旭市高生*0.5				
32	6 09 30	西表島付近 沖縄県	24° 15.9' N	123° 45.1' E	16km	M: 3.3
		1 竹富町船浮=1.2 竹富町大原=0.6				
33	6 16 28	八丈島近海 東京都	33° 14.2' N	139° 08.2' E	26km	M: 4.6
		1 神津島村金長=0.5 八丈町榎立=0.5 八丈町三根=0.5 八丈町富士ランド*0.5				
34	6 17 05	網走地方 北海道	43° 29.3' N	144° 03.0' E	0km	M: 2.1
		1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*0.7				
35	7 06 15	網走地方 北海道	43° 29.6' N	144° 03.4' E	0km	M: 2.3
		1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*0.8				
36	<b>7 08 50</b>	<b>網走地方</b> 北海道	<b>43° 29.6' N</b>	<b>144° 03.4' E</b>	<b>0km</b>	<b>M: 3.9</b>
		3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*2.8 2 弟子屈町弟子屈*1.7 弟子屈町サウチサップ*1.6 1 美幌町東3条=1.4 弟子屈町美里=1.4 津別町幸町*1.2 斜里町ウトロ香川*1.1 小清水町小清水*0.9 別海町常盤=0.8 大空町東藻琴*0.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
37	7 09 06	網走地方 北海道 2 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.6 1 弟子屈町弟子屈*0.6	43° 29.9' N	144° 03.7' E	0km	M: 2.9
38	7 19 20	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*1.1 根室市牧の内*0.5	43° 21.2' N	146° 11.7' E	49km	M: 3.7
39	8 01 14	茨城県沖 茨城県 1 高萩市安良川*1.3 高萩市下手綱*0.9 日立市助川小学校*0.6 常陸大宮市山方*0.6 常陸大宮市北町*0.5	36° 19.1' N	140° 51.8' E	45km	M: 3.3
40	8 04 29	沖繩本島北西沖 沖繩県 1 座間味村座間味*0.9	26° 34.2' N	126° 07.4' E	134km	M: 4.7
41	8 14 25	伊勢湾 三重県 1 鈴鹿市西条=0.8	34° 49.8' N	136° 39.1' E	15km	M: 2.5
42	8 15 01	<b>青森県東方沖</b> 青森県 4 東通村砂子又沢内*3.9 階上町道仏*3.6 3 むつ市大畑町中島*3.3 八戸市南郷区*3.2 東通村砂子又蒲谷地=3.2 平内町小湊=3.1 外ヶ浜町蟹田*3.0 むつ市金曲=3.0 野辺地町田狭沢*2.9 東北町上北南*2.8 青森南部町苦米地*2.8 むつ市金谷*2.8 八戸市湊町=2.8 野辺地町野辺地*2.8 青森南部町平*2.7 横浜町林ノ脇*2.7 七戸町森ノ上*2.6 三沢市桜町*2.6 八戸市内丸*2.6 六ヶ所村尾駈=2.6 五戸町古館=2.6 東通村白糠*2.6 五戸町倉石中市*2.6 おいらせ町中下田*2.5 大間町大間*2.5 2 横浜町寺下*2.4 むつ市川内町*2.4 東通村尻屋*2.4 おいらせ町上明堂*2.3 七戸町七戸*2.3 六戸町犬落瀬*2.2 むつ市大畑町奥栗研=2.2 東北町塔ノ沢山*2.1 三戸町在府小路町*2.1 青森南部町沖田面*2.1 中泊町中里*2.1 藤崎町西豊田*2.0 十和田市西二番町*2.0 十和田市西十二番町*2.0 十和田市奥瀬*2.0 青森市浪岡*2.0 六ヶ所村出戸=2.0 青森市花園=1.9 五所川原市栄町=1.9 五所川原市金木町*1.9 平内町東田沢*1.9 蓬田村蓬田*1.9 むつ市脇野沢*1.9 風間浦村易国間*1.9 佐井村長後*1.9 藤崎町水木*1.9 青森市中央*1.8 佐井村佐井*1.8 今別町今別*1.8 つがる市柏*1.8 つがる市車力町*1.8 八戸市島守=1.7 板柳町板柳*1.6 鶴田町鶴田*1.6 つがる市木造*1.6 田子町田子*1.6 つがる市稲垣町*1.6 黒石市市ノ町*1.6 田舎館村田舎館*1.6 平川市猿賀*1.6 五所川原市相内*1.6 五所川原市敷島町*1.5 弘前市弥生=1.5 弘前市城東中央*1.5 1 外ヶ浜町三厩*1.4 西目屋村田代*1.4 外ヶ浜町平館*1.3 弘前市賀田*1.2 新郷村戸来*1.2 つがる市森田町*1.1 中泊町小泊*1.1 鱒ヶ沢町本町*1.1 平川市柏木町*1.0 七戸町北天間閣=0.9 弘前市五所*0.8 深浦町深浦岡町=0.8 五所川原市太田=0.8 弘前市和田町=0.8 鱒ヶ沢町舞戸町*0.7 函館市泊町*3.4 函館市新浜町*2.9 様似町栄町*2.8 えりも町えりも岬*2.6 2 函館市日ノ浜町*2.4 浦幌町桜町*2.4 新冠町北星町*2.3 浦河町潮見=2.3 安平町早来北進*2.3 むかわ町松風*2.2 浦河町築地*2.2 千歳市若草*2.2 厚真町鹿沼=2.1 新千歳空港=2.0 渡島森町砂原*2.0 新ひだか町静内山手町=2.0 十勝大樹町東本通*2.0 函館市美原=1.9 函館市大森町*1.9 札幌南区元町*1.9 七飯町本町*1.9 千歳市北栄=1.9 浦河町野深=1.9 苫小牧市末広町=1.9 苫小牧市旭町*1.9 幕別町忠類錦町*1.9 むかわ町穂別*1.8 壮瞥町滝之町*1.8 釧路市音別町中園*1.8 新篠津村第4 7線*1.8 新ひだか町三石旭町*1.8 七飯町桜町=1.8 福島町福島*1.8 木古内町木古内*1.8 南幌町栄町*1.8 新ひだか町静内御幸町*1.7 広尾町並木通=1.7 恵庭市京町*1.7 安平町追分柏が丘*1.7 函館市川汲町*1.7 札幌南区真駒内*1.7 登別市鉦山=1.7 長沼町中央*1.7 厚真町京町*1.6 洞爺湖町洞爺町*1.6 標津町北2条*1.6 乙部町緑町*1.6 千歳市支笏湖温泉*1.6 江別市緑町*1.6 日高地方日高町門別*1.6 登別市桜木町*1.6 鹿部町宮浜*1.6 胆振伊達市大滝区本町*1.5 渡島北斗市本町*1.5 札幌白石区北郷*1.5 渡島北斗市中央*1.5 十勝大樹町生花*1.5 胆振伊達市梅本=1.5 1 札幌清田区平岡*1.4 北広島市共栄*1.4 函館市尾札部町=1.4 渡島森町上台町*1.4 知内町重内*1.4 上ノ国町大留*1.4 厚沢部町新町*1.4 平取町振内*1.4 帯広市東4条=1.4 帯広市東6条*1.4 音更町元町*1.4 白糠町西1条*1.4 別海町常盤=1.4 別海町西春別*1.4 札幌厚別区もみじ台*1.3 三笠市幸町*1.3 洞爺湖町栄町*1.3 十勝清水町南4条=1.3 芽室町東2条*1.3 豊頃町茂岩本町*1.3 更別村更別*1.3 広尾町白樺通=1.3 釧路市阿寒町中央*1.3 白老町大町=1.3 長万部町平里*1.3 新得町2条*1.3 根室市厚床*1.3 厚沢部町木間内*1.2 栗山町松風*1.2 えりも町目黒*1.2 札幌北区篠路*1.2 別海町本別海*1.1 新ひだか町静内御園=1.1 根室市落石東*1.1 幕別町本町*1.1 渡島森町御幸町=1.1 本別町北2丁目=1.1 本別町向陽町*1.1 中札内村東2条*1.1 鹿追町東町*1.1 札幌北区新琴似*1.1 豊浦町大岸*1.1 標茶町塘路*1.1 札幌北区太平*1.1 留寿都村留寿都*1.1 岩見沢市5条=1.1 真狩村真狩*1.0 江別市高砂町=1.0 根室市瑠瑠瑠*1.0 白老町緑丘*1.0 札幌豊平区月寒東*1.0 岩見沢市栗沢町東本町*1.0 えりも町本町=1.0 恵庭市漁平=1.0 札幌手稲区前田*1.0 ニセコ町中央通*1.0 喜茂別町喜茂別*0.9 夕張市若菜=0.9 今金町今金*0.9 岩見沢市鳩が丘*0.9 当別町白樺*0.9 美唄市西5条=0.9 弟子屈町弟子屈*0.8 釧路市音別町尺別=0.8 石狩市花川=0.8 厚岸町真栄*0.8 由仁町新光*0.8 檜山江差町姥神=0.8 檜山江差町中歌町*0.8 知内町小谷石=0.8 石狩市聚富=0.7 月形町円山公園*0.7 土幌町土幌*0.7 札幌南区簾舞*0.7 弟子屈町美里=0.7 上ノ国町小砂子*0.7 小樽市勝納町=0.7 八雲町熊石雲石町*0.7 平取町本町*0.7 釧路市幸町=0.6 鶴居村鶴居東*0.6 上土幌町清水谷*0.6 渡島松前町福山=0.6 黒松内町黒松内*0.6 標茶町川上*0.6 島牧村江ノ島=0.5 南富良野町役場*0.5 新ひだか町静内農屋*0.5 厚岸町尾幌=0.5 室蘭市山手町=0.5 浜中町霧多布*0.5 足寄町上螺湾=0.5	41° 27.3' N	142° 01.1' E	66km	M: 5.6

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		<p>岩手県</p> <p>3 二戸市浄法寺町*=2.8 軽米町軽米*=2.6</p> <p>2 久慈市枝成沢=2.4 岩手洋野町種市=2.3 盛岡市玉山区薮川*=2.3 一戸町高善寺*=2.1</p> <p>八幡平市田頭*=2.0 九戸村伊保内*=1.9 野田村野田*=1.8 岩手洋野町大野*=1.8</p> <p>盛岡市玉山区洪民*=1.8 八幡平市叭田*=1.8 矢巾町南矢幅*=1.8 普代村銅屋*=1.7</p> <p>盛岡市山王町=1.7 岩手町五日市*=1.7 八幡平市野駄*=1.7 宮古市川井*=1.7 宮古市田老*=1.7</p> <p>滝沢市鶴飼*=1.7 宮古市区界*=1.6 久慈市川崎町=1.6 二戸市福岡=1.6 二戸市石切所*=1.6</p> <p>紫波町日詰*=1.6 久慈市長内町*=1.5 宮古市五月町*=1.5 遠野市青笹町*=1.5</p> <p>1 釜石市中妻町*=1.4 住田町世田*=1.4 葛巻町葛巻元木=1.4 八幡平市大更=1.4 花巻市大迫町=1.4</p> <p>花巻市石鳥谷町*=1.4 花巻市東和町*=1.4 一関市千蔵町*=1.4 山田町大沢*=1.3</p> <p>北上市相去町*=1.3 奥州市胆沢区*=1.3 花巻市材木町*=1.2 久慈市山形町*=1.2 北上市柳原町=1.2</p> <p>遠野市宮守町*=1.2 大船渡市大船渡町=1.2 平泉町平泉*=1.2 奥州市江刺区*=1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.2</p> <p>一関市室根町*=1.1 宮古市茂市*=1.1 盛岡市馬場町*=1.1 葛巻町消防分署*=1.1</p> <p>奥州市前沢区*=1.0 葛巻町役場*=1.0 奥州市衣川区*=1.0 山田町八幡町=1.0 一関市藤沢町*=1.0</p> <p>金ヶ崎町西根*=1.0 宮古市長沢=0.9 釜石市只越町=0.9 花巻市大迫総合支所*=0.9</p> <p>西和賀町沢内川舟*=0.9 奥州市水沢区大鐘町=0.9 奥州市水沢区佐倉河*=0.9 岩泉町岩泉*=0.8</p> <p>田野畑村役場*=0.8 雫石町千刈田=0.8 一関市大東町=0.7 田野畑村田野畑=0.6 一関市東山町*=0.6</p> <p>岩泉町大川*=0.5 雫石町西根上駒木野=0.5 一関市竹山町*=0.5 大船渡市猪川町=0.5</p> <p>陸前高田市高田町*=0.5</p> <p>宮城県</p> <p>2 石巻市桃生町*=1.7 石巻市大街道南*=1.5</p> <p>1 涌谷町新町裏=1.4 登米市登米町*=1.4 登米市迫町*=1.4 登米市中田町=1.3 登米市米山町*=1.3</p> <p>気仙沼市笹が陣*=1.2 栗原市若柳*=1.2 登米市南方町*=1.2 気仙沼市赤岩=1.1</p> <p>気仙沼市唐桑町*=1.1 宮城美里町木間塚*=1.1 大崎市古川三日町=1.1 石巻市前谷地*=1.1</p> <p>栗原市栗駒=1.0 栗原市築館*=1.0 栗原市一迫*=1.0 南三陸町志津川=1.0 大崎市古川北町*=1.0</p> <p>大崎市松山*=1.0 丸森町鳥屋*=1.0 東松島市矢本*=1.0 松島町高城=0.9 大崎市鹿島台*=0.8</p> <p>大崎市田尻*=0.8 石巻市相野谷*=0.8 栗原市志波姫*=0.8 栗原市高清水*=0.7 登米市東和町*=0.6</p> <p>利府町利府*=0.6 大崎市古川大崎=0.5</p> <p>秋田県</p> <p>1 井川町北川尻*=1.0 大館市桜町*=0.9 大館市中城*=0.9 大館市比内町扇田*=0.9 大館市早口*=0.8</p> <p>横手市大雄*=0.8 北秋田市花園町=0.7 北秋田市阿仁銀山*=0.7 大仙市高梨*=0.7</p> <p>能代市二ツ井町上台*=0.6 藤里町藤琴*=0.5 大仙市刈和野*=0.5</p> <p>山形県</p> <p>1 中山町長崎*=1.2</p>				
43	8 18 15	<p>宮古島近海</p> <p>24° 49.5' N 125° 31.5' E 30km M: 3.8</p> <p>沖繩県</p> <p>2 宮古島市城辺福北=1.8 宮古島市城辺福西*=1.7</p> <p>1 宮古島市平良狩保*=0.9 宮古島市平良西里*=0.8 宮古島市上野支所*=0.8 宮古島市平良下里=0.5</p> <p>宮古島市平良池間=0.5 宮古島市伊良部国仲=0.5</p>				
44	8 20 43	<p>沖繩本島近海</p> <p>26° 19.2' N 127° 20.8' E 48km M: 3.3</p> <p>沖繩県</p> <p>1 渡名喜村渡名喜*=0.6</p>				
45	8 23 20	<p>長崎県南西部</p> <p>32° 55.1' N 129° 56.1' E 11km M: 2.0</p> <p>長崎県</p> <p>1 大村市玖島*=1.1</p>				
46	9 05 44	<p>茨城県南部</p> <p>36° 10.9' N 140° 00.8' E 51km M: 4.4</p> <p>栃木県</p> <p>4 真岡市石島*=3.5</p> <p>3 鹿沼市晃望台*=3.1 小山市神鳥谷*=3.0 栃木市大平町富田*=2.8 宇都宮市明保野町=2.8</p> <p>鹿沼市今宮町*=2.7 小山市中央町*=2.7 益子町益子=2.7 栃木市岩舟町静*=2.6 栃木市旭町=2.6</p> <p>下野市石橋*=2.5 下野市小金井*=2.5 下野市田中*=2.5 佐野市葛生東*=2.5 宇都宮市白沢町*=2.5</p> <p>真岡市田町*=2.5</p> <p>2 野木町丸林*=2.4 高根沢町石末*=2.4 宇都宮市中里町*=2.2 真岡市荒町*=2.2 壬生町通町*=2.2</p> <p>栃木市万町*=2.1 鹿沼市口栗野*=2.1 栃木市西方町本城*=2.1 栃木市藤岡町藤岡*=2.0</p> <p>佐野市田沼町*=2.0 宇都宮市旭*=1.9 市貝町市塙*=1.9 足利市大正町*=1.9</p> <p>栃木さくら市氏家*=1.9 栃木市都賀町家中*=1.9 芳賀町祖母井*=1.8 宇都宮市塙田*=1.8</p> <p>上三川町しらさぎ*=1.8 大田原市湯津上*=1.7 佐野市中町*=1.7 栃木さくら市喜連川*=1.7</p> <p>茂木町茂木*=1.7 佐野市亀井町*=1.6 日光市鬼怒川温泉大原*=1.6 日光市芹沼*=1.6</p> <p>日光市日蔭*=1.5</p> <p>1 日光市中鉢石町*=1.4 日光市今市本町*=1.4 塩谷町玉生*=1.4 茂木町北高岡天矢場*=1.4</p> <p>那須烏山市中央=1.4 矢板市本町*=1.3 日光市瀬川=1.3 那須烏山市大金*=1.3</p> <p>栃木那珂川町馬頭*=1.3 日光市足尾町中才*=1.2 日光市藤原*=1.1 日光市足尾町通洞*=1.0</p> <p>那須塩原市あたご町*=1.0 那須塩原市塩原庁舎*=0.9 那須町寺子*=0.9 栃木那珂川町小川*=0.9</p> <p>那須烏山市役所*=0.7 那須塩原市鍋掛*=0.7 日光市湯元*=0.7 大田原市黒羽田町=0.5</p> <p>茨城県</p> <p>3 坂東市馬立*=3.4 笠間市笠間*=3.1 笠間市石井*=3.1 桜川市岩瀬*=3.1 石岡市柿岡=3.0</p> <p>筑西市舟生=3.0 筑西市門井*=3.0 笠間市中央*=2.9 坂東市山*=2.9 水戸市内原町*=2.8</p> <p>城里町阿波山*=2.8 土浦市常名=2.8 石岡市八郷*=2.7 桜川市羽田*=2.7 下妻市本城町*=2.7</p> <p>小美玉市小川*=2.7 城里町石塚*=2.7 土浦市下高津*=2.7 筑西市海老ヶ島*=2.7</p> <p>常陸大宮市野口*=2.7 境町旭町*=2.6 かすみがうら市上土田*=2.6 笠間市下郷*=2.6</p> <p>常陸太田市町屋町=2.6 常陸大宮市北町*=2.6 つくば市研究学園*=2.6 茨城古河市仁連*=2.5</p> <p>八千代町菅谷*=2.5 筑西市下中山*=2.5 日立市助川小学校*=2.5 つくば市天王台*=2.5</p> <p>2 日立市十王町友部*=2.4 東海村東海*=2.4 桜川市真壁*=2.4 鉾田市造谷*=2.4</p> <p>かすみがうら市大和田*=2.3 行方市玉造*=2.3 日立市役所*=2.3 水戸市金町=2.3 茨城町小堤*=2.3</p> <p>水戸市千波町*=2.3 小美玉市上玉里*=2.3 取手市寺田*=2.3 美浦村受領*=2.3 坂東市岩井=2.3</p> <p>茨城鹿嶋市鉢形=2.2 ひたちなか市東石川*=2.2 五霞町小福田*=2.2 小美玉市堅倉*=2.2</p> <p>稲敷市江戸崎甲*=2.2 稲敷市役所*=2.2 稲敷市結佐*=2.2 つくば市小釜*=2.1</p> <p>常陸大宮市上小瀬*=2.1 茨城鹿嶋市宮中*=2.1 茨城古河市下大野*=2.1 結城市結城*=2.1</p>				



地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>下妻市鬼怒*2.1 常総市新石下*2.1 常陸大宮市山方*2.1 常総市水海道諏訪町*2.0                      常陸大宮市中富町*2.0 鉾田市鉾田*2.0 城里町徳蔵*2.0 土浦市藤沢*2.0 守谷市大柏*1.9                      つくばみらい市福田*1.9 ひたちなか市南神敷台*1.9 稲敷市柴崎*1.9 鉾田市汲上*1.9                      行方市麻生*1.9 那珂市瓜連*1.8 常陸太田市高柿町*1.8 那珂市福田*1.7 潮来市辻*1.7                      行方市山田*1.7 高萩市下手綱*1.7 阿見町中央*1.7 高萩市安良川*1.7 牛久市中央*1.6                      稲敷市須賀津*1.6 龍ヶ崎市役所*1.6 つくばみらい市加藤*1.6 常陸太田市金井町*1.6                      常陸太田市町田町*1.5 茨城古河市長谷町*1.5 常陸大宮市高部*1.5 大子町池田*1.5                      大洗町磯浜町*1.5</p> <p>1 ひたちなか市山ノ上町=1.4 取手市井野*1.4 潮来市堀之内=1.4 利根町布川=1.4                      常陸太田市大中町*1.3 神栖市溝口*1.3 取手市藤代*1.2 北茨城市磯原町*1.1                      河内町源清田*1.0</p> <p>群馬県</p> <p>3 邑楽町中野*2.6</p> <p>2 館林市美園町*2.3 館林市城町*2.0 群馬明和町新里*2.0 大泉町日の出*1.9 板倉町板倉=1.8                      千代田町赤岩*1.8 太田市西本町*1.8 桐生市新里町*1.6</p> <p>1 太田市浜町*1.4 桐生市黒保根町*1.3 桐生市元宿町*1.3 沼田市西倉内町=1.2                      沼田市利根町*1.2 沼田市白沢町*1.1 前橋市粕川町*1.1 前橋市富士見町*1.1                      伊勢崎市西久保町*1.1 太田市粕川町*1.1 太田市大原町*1.0 渋川市赤城町*1.0                      渋川市吹屋*1.0 みどり市笠懸町*1.0 みどり市大間々町*1.0 片品村東小川=1.0                      伊勢崎市今泉町*0.9 片品村鎌田*0.9 前橋市堀越町*0.9 沼田市下久屋町*0.8                      みどり市東町*0.7 伊勢崎市東町*0.7 伊勢崎市境*0.7 前橋市鼻毛石町*0.7                      高崎市吉井町吉井川*0.7 太田市新田金井町*0.7 桐生市織姫町=0.7 みなかみ町鹿野沢*0.5                      高崎市高松町*0.5 神流町生利*0.5 神流町神ヶ原*0.5 東吾妻町原町=0.5 前橋市大手町*0.5</p> <p>埼玉県</p> <p>3 春日部市粕壁*3.1 春日部市金崎*2.9 久喜市下早見=2.6 さいたま岩槻区本丸*2.6                      熊谷市大里*2.5</p> <p>2 羽生市東*2.4 久喜市鷲宮*2.4 桶川市上日出谷*2.4 幸手市東*2.4 熊谷市江南*2.3                      東松山市松葉町*2.3 北本市本町*2.3 久喜市青葉*2.2 久喜市栗橋*2.2 川越市新宿町*2.2                      蓮田市黒浜*2.2 宮代町笠原*2.2 上尾市本町*2.1 八潮市中央*2.1 行田市本丸*2.1                      鴻巣市中央*2.1 さいたま西区指扇*2.0 さいたま北区宮原*2.0 さいたま見沼区堀崎*2.0                      白岡市千駄野*2.0 久喜市菫蒲*2.0 春日部市谷原新田*2.0 草加市高砂*2.0                      加須市大利根*2.0 川口市中青木分室*1.9 和光市広沢*1.9 吉川市吉川*1.9 杉戸町清地*1.9                      さいたま浦和区高砂=1.9 加須市北川辺*1.8 松伏町松伏*1.8 鴻巣市吹上富士見*1.8                      さいたま南区別所*1.8 三郷市幸房*1.7 滑川町福田*1.7 埼玉美里町木部*1.7                      加須市騎西*1.7 東松山市市ノ川*1.7 鴻巣市川里*1.7 熊谷市宮町*1.6                      さいたま大宮区大門*1.6 戸田市上戸田*1.6 志木市中宗岡*1.6 嵐山町杉山*1.6                      吉見町下細谷*1.6 さいたま大宮区天沼町*1.5 行田市南河原*1.5 加須市下三俣*1.5                      さいたま中央区下落合*1.5 さいたま桜区道場*1.5 川越市旭町=1.5 ふじみ野市福岡*1.5                      深谷市川本*1.5 伊奈町小室*1.5 本庄市児玉町=1.5 朝霞市本町*1.5</p> <p>千葉県</p> <p>1 熊谷市桜町=1.4 ときがわ町桃木*1.4 新座市野火止*1.4 川島町平沼*1.4 越谷市越ヶ谷*1.3                      坂戸市千代田*1.3 埼玉三芳町藤久保*1.3 越生町越生*1.3 さいたま浦和区常盤*1.3                      さいたま緑区中尾*1.2 長瀬町野上下郷*1.2 川口市青木*1.2 蕨市中央*1.2                      富士見市鶴馬*1.2 熊谷市妻沼*1.1 毛呂山町中央*1.0 深谷市岡部*1.0 小川町大塚*1.0                      鳩山町大豆戸=1.0 狭山市入間川*1.0 深谷市仲町*0.9 所沢市北有楽町*0.9 皆野町皆野*0.9                      川口市三ツ和*0.8 ふじみ野市大井*0.8 鶴ヶ島市三ツ木*0.8 長瀬町本野上*0.8                      埼玉神川町下阿久原*0.7 ときがわ町玉川*0.7 秩父市上町=0.7 秩父市近戸町*0.7                      入間市豊岡*0.7 飯能市名栗*0.5 東秩父村御堂*0.5 埼玉神川町植竹*0.5</p> <p>3 柏市旭町=2.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.6</p> <p>2 千葉花見川区花島町*2.3 白井市復*2.3 野田市東宝珠花*2.2 八千代市大和田新田*2.2                      香取市役所*2.1 成田市花崎町=2.1 香取市佐原諏訪台*2.0 香取市仁良*2.0                      千葉稲毛区園生町*2.0 成田国際空港=2.0 神崎町神崎本宿*1.9 芝山町小池*1.9                      船橋市湊町*1.9 成田市中台*1.9 柏市柏*1.9 柏市大島田*1.9 浦安市日の出=1.9                      印西市大森*1.9 香取市佐原平田=1.8 印西市美瀬*1.8 栄町安食台*1.8 山武市塩谷*1.8                      四街道市鹿渡*1.7 印西市笠神*1.7 我孫子市我孫子*1.7 酒々井町中央*1.6                      千葉美浜区稲毛海岸*1.6 千葉佐倉市海隣寺町*1.6 習志野市鷺沼*1.6 千葉若葉区小倉台*1.5                      成田市松子*1.5 香取市羽根川*1.5 香取市岩部*1.5 千葉中央区都町*1.5</p> <p>福島県</p> <p>1 東金市日吉台*1.4 多古町多古=1.4 匝瑳市八日市場*1.4 千葉美浜区ひび野=1.4                      松戸市根本*1.4 流山市平和台*1.4 山武市松尾町富士見台=1.3 旭市南堀之内*1.2                      旭市萩園*1.2 八街市八街*1.2 成田市役所*1.1 長南町長南*1.1 千葉中央区中央港=1.1                      千葉中央区千葉市役所*1.1 市川市八幡*1.0 市原市姉崎*1.0 浦安市猫実*1.0                      東金市東新宿=1.0 旭市高生*1.0 旭市ニ*1.0 千葉緑区おゆみ野*1.0 成田市猿山*0.9                      横芝光町宮川*0.9 横芝光町栗山*0.9 山武市蓮沼*0.9 茂原市道表*0.9 一宮町一宮=0.8                      木更津市役所*0.8 東金市東岩崎*0.8 山武市殿台*0.8 東庄町笹川*0.6                      君津市久留里市場*0.6</p> <p>東京都</p> <p>2 白河市表郷*1.6</p> <p>1 白河市大信*1.3 泉崎村泉崎*1.2 白河市東*1.2 鏡石町不時沼*1.2 矢祭町東館*1.1                      平田村永田*1.1 白河市新白河*1.1 玉川村小高*1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0                      古殿町松川新桑原*1.0 いわき市三和町=1.0 須賀川市八幡山*1.0 郡山市湖南町*0.9                      いわき市小名浜=0.9 白河市郭内=0.9 浅川町浅川*0.9 いわき市錦町*0.8 矢祭町戸塚*0.7                      田村市都路町*0.5 田村市常葉町*0.5</p> <p>2 東京江戸川区中央=2.3 東京文京区大塚*2.1 東京中野区江古田*2.0 東京板橋区相生町*2.0                      東京練馬区豊玉北*2.0 東京中野区中野*1.9 東京杉並区高井戸*1.9 東京足立区神明南*1.9                      東京千代田区大手町=1.8 東京渋谷区本町*1.8 東京杉並区桃井*1.8 東京葛飾区立石*1.8                      東京新宿区下落合*1.7 東京足立区伊興*1.7 三鷹市野崎*1.7 調布市西つつじヶ丘*1.7                      東京北区西ヶ原*1.6 東京板橋区高島平*1.6 東京江戸川区鹿骨*1.6 東京港区南青山*1.5</p>				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京新宿区百人町*=1.5 東京江戸川区船堀*=1.5 小平市小川町*=1.5 西東京市中町*=1.5 1 東京文京区スポーツセンタ*=1.4 東京江東区森下*=1.4 東京江東区塩浜*=1.4 東京品川区平塚*=1.4 東京渋谷区宇田川町*=1.4 東京練馬区光が丘*=1.4 武蔵野市吉祥寺東町*=1.4 町田市中町*=1.4 東大和市中央*=1.4 東京千代田区富士見*=1.3 東京中央区築地*=1.3 東京文京区本郷*=1.3 東京品川区広町*=1.3 東京荒川区東尾久*=1.3 東京練馬区東大泉*=1.3 東京墨田区東向島*=1.2 東京世田谷区成城*=1.2 東京豊島区東池袋*=1.2 東京北区赤羽南*=1.2 東京葛飾区金町*=1.2 東村山市本町*=1.2 国分寺市戸倉=1.2 狛江市和泉本町*=1.2 稲城市東長沼*=1.2 東京中央区勝どき*=1.2 東京中野区中央*=1.1 東京足立区千住中居町*=1.1 武蔵野市緑町*=1.1 東京港区海岸=1.1 東京府中市白糸台*=1.1 東京港区白金*=1.1 東京江東区越中島*=1.1 清瀬市中里*=1.1 東京品川区北品川*=1.1 東京目黒区中央町*=1.1 東京大田区本羽田*=1.1 東京板橋区板橋*=1.0 東京足立区中央本町*=1.0 八王子市堀之内*=1.0 東京千代田区麹町*=1.0 小金井市本町*=1.0 日野市神明*=1.0 国分寺市本多*=1.0 東京新宿区歌舞伎町*=1.0 多摩市関戸*=1.0 東京台東区東上野*=1.0 東京国際空港=1.0 東京世田谷区世田谷*=1.0 東京世田谷区中町*=1.0 東京江東区東陽*=0.9 町田市森野*=0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 東京荒川区荒川*=0.9 東京台東区千束*=0.9 東京府中市寿町*=0.8 町田市忠生*=0.8 東京新宿区西新宿=0.8 東京墨田区横川=0.8 東京江東区亀戸*=0.8 武蔵村山市本町*=0.7 東京大田区多摩川*=0.7 東京江東区青海=0.7 東京港区芝公園*=0.6 調布市小島町*=0.6 神奈川県 2 川崎宮前区宮前平*=2.1 横浜青葉区市ヶ尾町*=1.6 1 横浜神奈川区神大寺*=1.4 横浜港北区日吉本町*=1.4 横浜緑区十日市場町*=1.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.2 川崎川崎区宮前町*=1.2 川崎中原区小杉町*=1.2 川崎宮前区野川*=1.2 相模原南区相模大野*=1.2 横浜鶴見区未広町*=1.1 横浜中区山手町*=1.1 横浜旭区川井宿町*=1.1 横浜青葉区榎が丘*=1.1 相模原緑区中野*=1.1 相模原緑区久保沢*=1.1 横浜神奈川区広台太田町*=1.0 横浜磯子区洋光台*=1.0 横浜港南区丸山台東部*=1.0 横浜旭区上白根町*=1.0 横浜緑区鴨居*=1.0 横浜瀬谷区中屋敷*=1.0 横浜瀬谷区三ツ境*=1.0 川崎中原区小杉陣屋町=1.0 川崎高津区下作延*=1.0 座間市緑ヶ丘*=1.0 綾瀬市深谷*=1.0 相模原中央区上溝*=1.0 相模原緑区橋本*=1.0 横浜中区山吹町*=0.9 川崎多摩区登戸*=0.9 大和市下鶴間*=0.9 相模原中央区水郷田名*=0.9 三浦市城山町*=0.8 横浜旭区今宿東町*=0.8 相模原南区磯部*=0.8 横浜青葉区美しが丘*=0.6 川崎麻生区万福寺*=0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 横浜泉区和泉町*=0.5 湯河原町中央=0.5 山梨県 1 上野原市役所*=0.6 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.8				
47	9 16 06	徳島県南部 徳島県	33° 49.9' N	134° 38.6' E	9km	M: 3.1
		2 阿南市山口町*=1.5 1 美波町西の地*=1.2 那賀町和食*=0.9 美波町奥河内*=0.7				
48	9 16 10	島根県東部 島根県	35° 22.3' N	133° 14.7' E	9km	M: 2.3
		1 安来市伯太町東母里*=0.7				
49	9 18 20	天草灘 長崎県 熊本県	32° 32.9' N	130° 00.8' E	14km	M: 3.0
		1 雲仙市小浜町雲仙=0.7 南島原市南有馬町*=0.7 雲仙市雲仙出張所*=0.6 雲仙市南串山町*=0.6 南島原市北有馬町*=0.5 1 天草市五和町*=1.0 天草市東浜町*=0.9 荅北町志岐*=0.7				
50	9 20 08	青森県東方沖 北海道 青森県	41° 28.3' N	142° 00.9' E	65km	M: 3.9
		1 函館市泊町*=0.7 1 東通村砂子又沢内*=1.2 階上町道仏*=1.0 六ヶ所村尾駈=0.7				
51	10 02 00	青森県東方沖 北海道	41° 28.5' N	142° 01.9' E	65km	M: 3.8
		1 函館市泊町*=0.8				
52	10 03 44	青森県東方沖 北海道 青森県	40° 57.9' N	142° 53.0' E	15km	M: 4.4
		1 函館市泊町*=1.4 函館市新浜町*=1.2 様似町栄町*=0.7 浦河町潮見=0.6 1 野辺地町野辺地*=1.0 野辺地町田狭沢*=0.9 青森南部町平*=0.9 東通村砂子又沢内*=0.9 五戸町古館=0.8 むつ市金谷*=0.7 七戸町森ノ上*=0.6				
53	10 08 07	新島・神津島近海 東京都	34° 13.5' N	139° 11.6' E	10km	M: 2.6
		1 神津島村役場*=1.1 神津島村金長=0.9 新島村式根島=0.8 新島村大原=0.5				
54	10 08 38	奄美大島北東沖 鹿児島県	29° 45.8' N	130° 24.1' E	52km	M: 4.1
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6 屋久島町平内=0.5 屋久島町宮之浦*=0.5				
55	10 11 18	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 26.2' N	130° 30.9' E	8km	M: 3.1
		1 八代市平山新町=1.3 八代市坂本町*=1.1 芦北町田浦町*=1.0 上天草市姫戸町*=1.0 芦北町芦北=0.7 上天草市松島町*=0.6				
56	10 17 32	三陸沖 青森県	39° 39.7' N	143° 37.1' E	36km	M: 5.8
		2 階上町道仏*=1.6 五戸町古館=1.5 青森南部町苦米地*=1.5 七戸町森ノ上*=1.5 おいらせ町中下田*=1.5 1 八戸市南郷区*=1.4 六戸町犬落瀬*=1.4 東北町上北南*=1.4 おいらせ町上明堂*=1.3 青森市花園=1.3 七戸町七戸*=1.3 青森南部町平*=1.2 むつ市金曲=1.1 十和田市西十二番町*=1.1 八戸市内丸*=1.1 青森市中央*=1.1 野辺地町野辺地*=1.0 外ヶ浜町蟹田*=0.9 十和田市西二番町*=0.9 平川市猿賀*=0.8 三沢市桜町*=0.8 つがる市稲垣町*=0.8				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>五戸町倉石中市*0.8 田子町田子*0.8 青森市浪岡*0.7 東通村砂子又沢内*0.7 三戸町在府小路町*0.7</p> <p>岩手県 2 盛岡市玉山区薮川*2.3 普代村銅屋*2.0 矢巾町南矢幅*2.0 宮古市田老*1.8 野田村野田*1.5 盛岡市玉山区洪民*1.5</p> <p>1 山田町大沢*1.4 盛岡市山王町*1.4 紫波町日詰*1.4 滝沢市鶴飼*1.4 花巻市材木町*1.4 花巻市東和町*1.4 奥州市胆沢区*1.3 花巻市石鳥谷町*1.2 岩手町五日市*1.2 八幡平市田頭*1.2 奥州市江刺区*1.2 釜石市中妻町*1.2 一関市花泉町*1.1 一関市千厩町*1.1 奥州市前沢区*1.1 宮古市五月町*1.1 山田町八幡町*1.1 二戸市浄法寺町*1.1 北上市柳原町*1.1 北上市相去町*1.1 遠野市青笹町*1.1 奥州市水沢区大鐘町*1.0 奥州市水沢区佐倉河*1.0 八幡平市大更*1.0 雫石町千刈田*1.0 花巻市大迫町*0.9 久慈市川崎町*0.9 一関市室根町*0.8 雫石町西根上駒木野*0.7 西和賀町川尻*0.6 宮古市川井*0.5 宮古市鉾ヶ崎*0.5 大船渡市大船渡町*0.5 久慈市枝成沢*0.5 久慈市長内町*0.5</p> <p>宮城県 2 登米市迫町*1.8 登米市南方町*1.7 登米市米山町*1.7 栗原市若柳*1.6 石巻市桃生町*1.6 登米市中田町*1.5 登米市登米町*1.5 大崎市古川三日町*1.5</p> <p>1 宮城美里町木間塚*1.4 大崎市古川北町*1.4 栗原市一迫*1.3 大崎市田尻*1.3 石巻市大街道南*1.3 栗原市高清水*1.2 大崎市松山*1.2 宮城加美町中新田*1.1 栗原市築館*1.1 栗原市志波姫*1.1 大崎市古川大崎*1.1 大河原町新南*1.1 石巻市前谷地*1.1 松島町高城*1.1 宮城加美町小野田*1.0 色麻町四竈*1.0 栗原市栗駒*1.0 角田市角田*1.0 栗原市鶯沢*1.0 東松島市矢本*1.0 利府町利府*1.0 宮城美里町北浦*0.9 栗原市花山*0.9 栗原市金成*0.9 南三陸町志津川*0.9 丸森町鳥屋*0.9 石巻市相野谷*0.8 大崎市岩出山*0.8 宮城川崎町前川*0.8 気仙沼市赤岩*0.8 名取市増田*0.7 栗原市瀬峰*0.7 蔵王町円田*0.7 気仙沼市笹が陣*0.7 大崎市鹿島台*0.6</p> <p>山形県 2 中山町長崎*1.6</p> <p>1 酒田市飛鳥*0.8</p> <p>北海道 1 函館市新浜町*1.0</p> <p>秋田県 1 大仙市高梨*1.3 大仙市刈和野*1.1 横手市大雄*1.0 大仙市太田町太田*1.0 由利本荘市西目町沼田*0.9 にかほ市平沢*0.8 大館市中城*0.8 秋田美郷町土崎*0.8 大仙市北長野*0.8 大館市桜町*0.7 大館市比内町扇田*0.6 能代市二ツ井町上台*0.6 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*0.6 大仙市神宮寺*0.6 由利本荘市岩谷町*0.5 大仙市協和境野田*0.5 由利本荘市尾崎*0.5 湯沢市川連町*0.5</p>				
57	10 17 44	三陸沖 岩手県	39° 37.4' N	143° 42.3' E	18km	M: 4.5
		1 盛岡市玉山区薮川*0.9 山田町大沢*0.5				
58	10 19 25	千葉県北東部 千葉県	35° 42.4' N	140° 41.9' E	52km	M: 3.9
		<p>2 旭市南堀之内*2.2 東金市日吉台*2.0 東金市東新宿*1.9 芝山町小池*1.8 匝瑳市今泉*1.8 横芝光町宮川*1.8 山武市埴谷*1.8 多古町多古*1.7 東金市東岩崎*1.7 匝瑳市八日市場*1.7 成田市花崎町*1.7 山武市松尾町富士見台*1.6 香取市仁良*1.6 香取市役所*1.6 成田市松子*1.6 山武市松尾町五反田*1.5</p> <p>1 九十九里町片貝*1.4 横芝光町栗山*1.4 山武市殿台*1.4 香取市羽根川*1.3 旭市ニ*1.3 長南町長南*1.3 香取市佐原諏訪台*1.2 旭市高生*1.2 一宮町一宮*1.2 山武市蓮沼*1.2 成田国際空港*1.2 成田市中台*1.2 成田市役所*1.2 千葉佐倉市海隣寺町*1.2 旭市萩園*1.1 千葉中央区都町*1.1 千葉花見川区花島町*1.1 香取市佐原平田*1.1 四街道市鹿渡*1.1 八街市八街*1.1 香取市岩部*1.0 市原市姉崎*1.0 神崎町神崎本宿*0.9 白子町関*0.9 大網白里市大網*0.9 東庄町笹川*0.9 八千代市大和田新田*0.9 千葉稲毛区園生町*0.9 千葉若葉区小倉台*0.9 栄町安食台*0.9 千葉中央区中央港*0.7 千葉美浜区ひび野*0.5 成田市猿山*0.5 君津市久留里市場*0.5</p> <p>茨城県 1 神栖市溝口*1.4 潮来市辻*1.2 かすみがうら市上土田*1.1 土浦市下高津*1.1 潮来市堀之内*1.1 土浦市常名*1.1 美浦村受領*1.1 稲敷市結佐*1.1 筑西市舟生*1.1 稲敷市役所*1.0 稲敷市須賀津*1.0 茨城鹿嶋市鉢形*1.0 小美玉市上玉里*1.0 稲敷市江戸崎甲*1.0 稲敷市柴崎*0.9 茨城鹿嶋市宮中*0.8 取手市寺田*0.8 かすみがうら市大和田*0.8 笠間市石井*0.8 行方市麻生*0.8 小美玉市堅倉*0.7 石岡市柿岡*0.7 つくば市天王台*0.5</p> <p>栃木県 1 真岡市石島*0.7 益子町益子*0.7 真岡市田町*0.6</p> <p>東京都 1 調布市西つつじヶ丘*0.5 町田市中町*0.5</p> <p>神奈川県 1 三浦市城山町*0.5</p>				
59	10 20 24	千葉県北東部 千葉県	35° 43.1' N	140° 40.1' E	49km	M: 3.2
		1 香取市仁良*0.5 成田市花崎町*0.5				
60	11 04 50	新潟県中越地方 新潟県	37° 07.3' N	138° 35.0' E	13km	M: 1.8
		1 上越市大島区岡*0.8				
61	11 05 06	十勝沖 北海道	41° 42.0' N	144° 15.7' E	28km	M: 4.7
		<p>2 釧路市音別町中園*1.8</p> <p>1 十勝大樹町生花*0.9 白糠町西1条*0.9 豊頃町茂岩本町*0.8 十勝大樹町東本通*0.8</p>				
62	11 05 10	茨城県沖 茨城県 千葉県	35° 55.4' N	141° 00.6' E	17km	M: 3.8
		<p>1 笠間市石井*0.6 土浦市常名*0.5</p> <p>1 香取市仁良*0.8 東金市日吉台*0.5 芝山町小池*0.5</p>				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
63	11 09 29	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 50.4' N	141° 36.6' E	75km	M: 3.9
		2 一関市千厩町*=1.9 一関市室根町*=1.9 1 住田町世田米*=1.4 大船渡市猪川町=1.3 釜石市中妻町*=1.3 一関市藤沢町*=1.2 一関市東山町*=1.1 大船渡市大船渡町=1.1 一関市大東町=1.1 陸前高田市高田町*=1.0 平泉町平泉*=1.0 金ヶ崎町西根*=0.8 北上市相去町*=0.8 奥州市衣川区*=0.8 山田町八幡町=0.7 釜石市只越町=0.7 一関市花泉町*=0.7 大船渡市盛町*=0.6 遠野市青笹町*=0.5 盛岡市山王町=0.5				
		2 南三陸町志津川=1.7 1 石巻市北上町*=1.4 登米市中田町=1.3 登米市豊里町*=1.3 気仙沼市唐桑町*=1.2 登米市登米町*=1.2 石巻市泉町=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.1 涌谷町新町裏=1.1 女川町女川浜*=1.1 気仙沼市本吉町津谷*=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 石巻市大街道南*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 南三陸町歌津*=0.9 登米市東和町*=0.9 登米市津山町*=0.9 宮城川崎町前川*=0.8 気仙沼市本吉町西川内=0.8 登米市石越町*=0.8 大崎市田尻*=0.7 栗原市栗駒=0.7 栗原市築館*=0.7 栗原市高清水*=0.7 石巻市雄勝町*=0.7 東松島市小野*=0.7 栗原市志波姫*=0.6 仙台青葉区大倉=0.5				
64	11 09 31	岩手県沖 青森県 岩手県	40° 03.3' N	142° 11.4' E	50km	M: 3.9
		2 階上町道仏*=2.2 1 八戸市湊町=1.4 青森南部町苦米地*=1.3 八戸市内丸*=1.0 青森南部町平*=0.9 八戸市南郷区*=0.8 三戸町在府小路町*=0.7				
		1 軽米町軽米*=1.1 九戸村伊保内*=0.8 盛岡市玉山区薮川*=0.6 二戸市石切所*=0.6 盛岡市玉山区渋民*=0.5 久慈市枝成沢=0.5				
65	11 13 45	三陸沖 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 青森県	39° 41.8' N	143° 37.5' E	27km	M: 5.9
		2 矢巾町南矢幅*=2.1 普代村銅屋*=1.9 盛岡市玉山区薮川*=1.9 奥州市胆沢区*=1.5 花巻市材木町*=1.5 1 宮古市田老*=1.4 山田町八幡町=1.4 滝沢市鶴飼*=1.4 花巻市石鳥谷町*=1.4 奥州市江刺区*=1.4 北上市柳原町=1.3 北上市相去町*=1.3 奥州市水沢区大鐘町=1.3 奥州市水沢区佐倉河*=1.3 山田町大沢*=1.3 野田村野田*=1.3 盛岡市玉山区渋民*=1.3 紫波町日詰*=1.3 花巻市東和町*=1.2 釜石市中妻町*=1.2 八幡平市田頭*=1.2 雫石町千刈田=1.1 二戸市浄法寺町*=1.1 宮古市五月町*=1.0 八幡平市大更=1.0 一関市千厩町*=0.9 雫石町西根上駒木野=0.9 盛岡市山王町=0.9 遠野市青笹町*=0.9 西和賀町川尻*=0.8 花巻市大迫町=0.7 釜石市只越町=0.6 宮古市川井*=0.5				
		2 涌谷町新町裏=2.4 登米市米山町*=1.9 登米市迫町*=1.9 宮城美里町木間塚*=1.8 登米市中田町=1.7 大崎市古川三日町=1.7 大崎市古川北町*=1.7 登米市登米町*=1.7 登米市南方町*=1.6 丸森町鳥屋*=1.6 栗原市若柳*=1.6 石巻市桃生町*=1.5 石巻市前谷地*=1.5 1 宮城加美町中新田*=1.4 栗原市高清水*=1.4 大崎市田尻*=1.4 栗原市一迫*=1.3 宮城美里町北浦*=1.3 大崎市古川大崎=1.3 石巻市大街道南*=1.3 色麻町四竈*=1.2 栗原市志波姫*=1.2 大崎市岩出山*=1.2 角田市角田*=1.2 東松島市矢本*=1.2 松島町高城=1.2 蔵王町円田*=1.1 大河原町新南*=1.1 宮城川崎町前川*=1.1 栗原市築館*=1.0 山元町浅生原*=1.0 宮城加美町小野田*=1.0 栗原市鶯沢*=0.9 栗原市花山*=0.9 栗原市金成*=0.9 南三陸町志津川=0.9 大崎市三本木*=0.9 宮城加美町宮崎*=0.8 栗原市栗駒=0.8 利府町利府*=0.8 大崎市鹿島台*=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.7 名取市増田*=0.7 富谷町富谷*=0.7 大衡村大衡*=0.7 栗原市瀬峰*=0.7 仙台青葉区雨宮*=0.7 仙台若林区遠見塚*=0.7 亙理町下小路*=0.6 石巻市相野谷*=0.6 気仙沼市赤岩=0.6 仙台青葉区落合*=0.5				
		2 井川町北川尻*=1.6 秋田市雄和妙法*=1.6 1 大仙市高梨*=1.4 由利本荘市西目町沼田*=1.2 横手市大雄*=1.2 大仙市刈和野*=1.2 大仙市太田町太田*=1.2 にかほ市平沢*=1.1 秋田美郷町土崎*=1.1 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=1.0 大仙市神宮寺*=1.0 三種町豊岡*=0.9 秋田市雄和女米木=0.9 湯上市天王*=0.8 大仙市北長野*=0.8 大仙市南外*=0.8 大仙市協和境野田*=0.7 湯上市昭和久保*=0.7 仙北市西木町上荒井*=0.7 由利本荘市岩城内道川*=0.7 由利本荘市岩谷町*=0.7 大館市中城*=0.7 湯沢市川連町*=0.7 大館市比内町扇田*=0.6 横手市中央町*=0.6 横手市平鹿町浅舞*=0.6 由利本荘市尾崎*=0.6 由利本荘市矢島町矢島町*=0.5 横手市十文字町*=0.5 羽後町西馬音内*=0.5				
		2 中山町長崎*=1.9 1 酒田市亀ヶ崎=1.2 酒田市飛鳥*=1.2 村山市中央*=1.2 天童市老野森*=1.2 酒田市山田*=1.1 河北町谷地=1.1 酒田市本町*=1.0 河北町役場*=1.0 遊佐町遊佐=0.9				
		1 おいらせ町中下田*=1.3 青森市花園=1.3 六戸町大落瀬*=1.2 東北町上北南*=1.2 五戸町古館=1.2 八戸市南郷区*=1.2 七戸町森ノ上*=1.2 階上町道仏*=1.1 七戸町七戸*=1.1 おいらせ町上明堂*=1.1 青森南部町平*=1.0 藤崎町水木*=0.9 平川市猿賀*=0.9 青森南部町苦米地*=0.9 田子町田子*=0.8 十和田市西十二番町*=0.8 つがる市稲垣町*=0.7 野辺地町野辺地*=0.7 八戸市内丸*=0.7 つがる市木造*=0.7 板柳町板柳*=0.5				
66	11 13 51	三陸沖 岩手県	39° 37.2' N	143° 30.4' E	36km	M: 5.9
		3 盛岡市玉山区薮川*=2.9 野田村野田*=2.7 矢巾町南矢幅*=2.7 普代村銅屋*=2.5 2 奥州市江刺区*=2.4 紫波町日詰*=2.3 盛岡市玉山区渋民*=2.3 金ヶ崎町西根*=2.2 滝沢市鶴飼*=2.2 八幡平市野駄*=2.1 宮古市田老*=2.1 花巻市材木町*=2.1 山田町大沢*=2.1 盛岡市山王町=2.1 奥州市胆沢区*=2.0 八幡平市田頭*=2.0 山田町八幡町=2.0 花巻市東和町*=1.9 北上市相去町*=1.9 奥州市水沢区大鐘町=1.9 奥州市水沢区佐倉河*=1.9 花巻市石鳥谷町*=1.9 奥州市前沢区*=1.9 宮古市五月町*=1.8 二戸市浄法寺町*=1.8 雫石町千刈田=1.8 岩手町五日市*=1.8 一関市花泉町*=1.8 八幡平市大更=1.8 雫石町西根上駒木野=1.7 釜石市中妻町*=1.7 久慈市川崎町=1.7 北上市柳原町=1.7 八幡平市刈田*=1.7 遠野市青笹町*=1.7 平泉町平泉*=1.6 西和賀町川尻*=1.5 1 一戸町高善寺*=1.4 奥州市衣川区*=1.4 田野畑村田野畑=1.3 花巻市大迫町=1.3 西和賀町沢内川舟*=1.3 軽米町軽米*=1.2 花巻市大迫総合支所*=1.2 一関市千厩町*=1.2				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>住田町世田米*1.2 二戸市福岡=1.2 二戸市石切所*1.2 遠野市宮守町*1.1 宮古市鎌ヶ崎=1.1 宮古市川井*1.1 久慈市枝成沢=1.1 久慈市長内町*1.1 釜石市只越町=1.1 盛岡市馬場町*1.0 宮古市区界*1.0 大船渡市大船渡町=1.0 一関市竹山町*1.0 葛巻町葛巻元木=1.0 一関市室根町*0.9 宮古市長沢=0.9 岩手洋野町種市=0.9 一関市藤沢町*0.8 大船渡市盛町*0.7 大船渡市猪川町=0.6 一関市大東町=0.5</p> <p>宮城県 3 涌谷町新町裏=2.6 2 登米市迫町*2.4 登米市米山町*2.3 宮城美里町木間塚*2.3 石巻市桃生町*2.3 栗原市若柳*2.2 登米市登米町*2.2 登米市中田町=2.1 登米市南方町*2.1 大崎市古川北町*2.1 大崎市古川三日町=2.0 丸森町鳥屋*2.0 石巻市前谷地*2.0 石巻市大街道南*1.9 登米市豊里町*1.9 松島町高城=1.9 角田市角田*1.8 栗原市一迫*1.8 石巻市相野谷*1.8 栗原市志波姫*1.8 大崎市田尻*1.7 栗原市高清水*1.7 宮城美里町北浦*1.7 宮城加美町中新田*1.7 大崎市古川大崎=1.7 大崎市松山*1.7 大崎市岩出山*1.7 色麻町四竈*1.6 大河原町新南*1.6 宮城加美町小野田*1.5 東松島市矢本*1.5 利府町利府*1.5 栗原市築館*1.5 栗原市金成*1.5 栗原市花山*1.5</p> <p>秋田県 1 栗原市鶯沢*1.4 山元町浅生原*1.4 大崎市三本木*1.3 大崎市鹿島台*1.3 栗原市栗駒=1.3 南三陸町志津川=1.3 富谷町富谷*1.2 気仙沼市赤岩=1.2 気仙沼市笹が陣*1.2 宮城加美町宮崎*1.2 大崎市鳴子*1.2 蔵王町円田*1.2 宮城川崎町前川*1.2 名取市増田*1.1 仙台区将監*1.1 大和町吉岡*1.1 大衡村大衡*1.1 栗原市瀬峰*1.1 仙台青葉区雨宮*1.0 仙台青葉区落合*1.0 気仙沼市唐桑町*1.0 亙理町下小路*1.0 仙台宮城野区五輪=0.9 仙台若林区遠見塚*0.9 大郷町柏川*0.9 仙台北区山田*0.8 登米市石越町*0.7 仙台青葉区大倉=0.6</p> <p>3 秋田市雄和妙法*2.5 2 由利本荘市西目町沼田*2.1 大仙市刈和野*2.1 大仙市高梨*2.1 井川町北川尻*2.0 由利本荘市前郷*1.8 横手市大雄*1.8 にかほ市平沢*1.7 大仙市大曲花園町*1.7 羽後町西馬音内*1.6 大仙市神宮寺*1.6 大仙市太田町太田*1.6 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.6 秋田美郷町土崎*1.5 大仙市北長野*1.5 三種町豊岡*1.5 秋田市山王=1.5 秋田市雄和女米木=1.5 由利本荘市岩谷町*1.5</p> <p>1 潟上市天王*1.4 大館市中城*1.4 鹿角市花輪*1.4 大仙市南外*1.4 仙北市西木町上荒井*1.4 潟上市昭和久保*1.3 由利本荘市石脇=1.3 由利本荘市尾崎*1.3 由利本荘市岩城内道川*1.3 大館市比内町扇田*1.3 横手市中央町*1.3 大仙市協和境野田*1.3 仙北市田沢湖生保内上清水*1.3 大館市桜町*1.2 横手市雄物川町今宿=1.2 横手市平鹿町浅舞*1.2 湯沢市沖鶴=1.2 湯沢市川連町*1.2 北秋田市花園町=1.1 秋田美郷町六郷東根=1.1 仙北市角館町東勝楽丁=1.1 仙北市角館町小勝田*1.1 能代市緑町=1.1 由利本荘市矢島町矢島町*1.0 由利本荘市東由利老方*1.0 仙北市西木町上桧木内*1.0 大館市早口*1.0 能代市二ツ井町上台*1.0 横手市大森町*1.0 横手市山内土淵*1.0 藤里町藤琴*0.9 五城目町西磯ノ目*0.9 潟上市飯田川下虻川*0.9 由利本荘市鳥海町伏見*0.9 にかほ市金浦*0.9 にかほ市象潟町浜ノ田*0.8 八郎潟町大道*0.8 東成瀬村田子内*0.8 大仙市協和境唐松岳*0.8 横手市増田町増田*0.7 横手市十文字町*0.7 上小阿仁村小沢田*0.7 大潟村中央*0.6 三種町鶴川*0.6 湯沢市佐竹町*0.6 三種町鹿渡*0.5 男鹿市船川*0.5</p> <p>北海道 2 函館市新浜町*1.7 1 新子蔵空港=1.3 函館市美原=1.1 長沼町中央*0.9 札幌北区篠路*0.8 苫小牧市末広町=0.8 函館市泊町*0.8 札幌清田区平岡*0.7 札幌東区元町*0.5 浦河町潮見=0.5</p> <p>青森県 2 おいらせ町中下田*2.3 東北町上北南*2.1 六戸町犬落瀬*2.1 青森南部町苦米地*2.0 階上町道仏*2.0 八戸市南郷区*2.0 七戸町森ノ上*2.0 五戸町古館=2.0 七戸町七戸*1.9 おいらせ町上明堂*1.9 むつ市金谷*1.8 青森南部町平*1.8 青森市花園=1.8 むつ市金曲=1.8 むつ市大畑町中島*1.7 つがる市稲垣町*1.7 野辺地町野辺地*1.6 外ヶ浜町蟹田*1.6 青森市中央*1.6 十和田市西二番町*1.6 野辺地町田狭沢*1.6 十和田市西十二番町*1.5 青森市浪岡*1.4 平川市猿賀*1.4 八戸市内丸*1.4 三沢市桜町*1.4 五戸町倉石中市*1.4 田子町田子*1.3 東北町塔ノ沢山*1.3 つがる市木造*1.3 三戸町在府小路町*1.2 蓬田村蓬田*1.2 藤崎町水木*1.2 大間町大間*1.2 東通村砂子又蒲谷地=1.2 東通村砂子又沢内*1.2 六ヶ所村尾駈=1.2 鶴岡町鶴岡*1.1 むつ市川内町*1.1 五所川原市敷島町*1.1 横浜町寺下*1.1 つがる市柏*1.1 藤崎町西豊田*1.1 板柳町板柳*1.1 つがる市車力町*1.0 新郷村戸来*1.0 五所川原市金木町*0.9 十和田市奥瀬*0.9 田舎館村田舎館*0.9 平川市柏木町*0.9 むつ市脇野沢*0.8 中泊町中里*0.8 黒石市市ノ町*0.8 今別町今別*0.8 青森南部町沖田面*0.8 八戸市湊町=0.7 つがる市森田町*0.7 五所川原市太田=0.5</p> <p>山形県 2 中山町長崎*2.2 酒田市飛鳥*1.8 酒田市亀ヶ崎=1.6 酒田市山田*1.6 遊佐町遊佐=1.5 村山市中央*1.5 河北町谷地=1.5 河北町役場*1.5</p> <p>1 鶴岡市藤島*1.4 遊佐町舞鶴*1.4 天童市老野森*1.4 三川町横山*1.3 庄内町余目*1.3 白鷹町荒砥*1.3 酒田市宮野浦*1.2 酒田市本町*1.2 山辺町緑ヶ丘*1.1 酒田市観音寺*1.0 山形川西町小松*1.0 庄内町狩川*0.9 上山市河崎*0.9 高島町高島*0.9 鶴岡市温海川=0.7</p> <p>福島県 1 福島市松木町=0.9</p> <p>新潟県 1 村上市岩船駅前*1.2</p>				
67	11 13 54	<p>新島・神津島近海 東京都 2 東京利島村東山=1.7 1 新島村大原=0.5</p>	34° 29.5' N	139° 12.4' E	4km	M: 3.2
68	11 13 56	<p>三陸沖 青森県 2 七戸町森ノ上*1.7 青森南部町苦米地*1.7 階上町道仏*1.7 おいらせ町中下田*1.7 八戸市南郷区*1.7 東北町上北南*1.6 五戸町古館=1.6 野辺地町野辺地*1.5 六戸町犬落瀬*1.5 七戸町七戸*1.4 青森南部町平*1.4 おいらせ町上明堂*1.3 青森市花園=1.3 むつ市金曲=1.2 むつ市大畑町中島*1.2 五戸町倉石中市*1.1 外ヶ浜町蟹田*1.1 八戸市内丸*1.1</p>	39° 36.4' N	143° 35.4' E	25km	M: 5.6

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>十和田市西十二番町*1.1 青森市中央*1.1 東通村砂子又沢内*1.0 十和田市西二番町*1.0 三沢市桜町*1.0 つがる市稲垣町*0.9 三戸町在府小路町*0.9 東通村砂子又蒲谷地*0.8 青森市浪岡*0.8 東北町塔ノ沢*0.8 むつ市川内町*0.7 田子町田子*0.7 横浜町寺下*0.7 平川市猿賀*0.7 六ヶ所村尾駈*0.6 八戸市湊町=0.5</p> <p>2 普代村銅屋*2.1 盛岡市玉山区薮川*2.1 矢巾町南矢幅*2.1 盛岡市玉山区渋民*1.8 宮古市田老*1.8 野田村野田*1.7 盛岡市山王町=1.7 滝沢市鶴飼*1.7 八幡平市野駄*1.6 山田町大沢*1.6 紫波町日詰*1.6 花巻市東和町*1.5 岩手町五日市*1.5</p> <p>1 釜石市中妻町*1.4 八幡平市田頭*1.4 花巻市材木町*1.4 八幡平市吠田*1.3 花巻市石鳥谷町*1.3 奥州市江刺区*1.3 奥州市胆沢区*1.3 二戸市浄法寺町*1.3 雫石町千刈田*1.2 遠野市青笹町*1.2 八幡平市大更*1.2 奥州市前沢区*1.2 山田町八幡町=1.2 北上市柳原町=1.1 北上市相去町*1.1 一関市花泉町*1.1 一関市千厩町*1.1 奥州市水沢区佐倉河*1.1 宮古市五月町*1.1 久慈市川崎町=1.1 花巻市大迫町=1.1 奥州市水沢区大鐘町=1.0 雫石町西根上駒木野*0.9 一関市室根町*0.9 一関市藤沢町*0.8 西和賀町川尻*0.8 宮古市区界*0.8 久慈市枝成沢*0.8 宮古市鍛ヶ崎*0.8 二戸市福岡*0.8 宮古市川井*0.7 葛巻町葛巻元木*0.7 久慈市長内町*0.7 田野畑村田野畑*0.7 大船渡市大船渡町*0.7 住田町世田米*0.7 盛岡市馬場町*0.6 西和賀町沢内川舟*0.6 岩手野野町種*0.5 釜石市只越町=0.5</p> <p>2 石巻市桃生町*1.8 登米市迫町*1.6 登米市米山町*1.5 登米市南方町*1.5 大崎市古川三日町=1.5 大崎市古川北町*1.5 大崎市田尻*1.5</p> <p>1 栗原市若柳*1.4 栗原市志波姫*1.3 宮城美里町木間塚*1.3 大崎市古川大崎=1.3 石巻市相野谷*1.3 栗原市一迫*1.2 登米市中田町=1.2 登米市登米町*1.2 石巻市前谷地*1.2 栗原市築館*1.2 栗原市高清水*1.1 南三陸町志津川=1.1 大崎市松山*1.1 松島町高城=1.1 宮城加美町中新田*1.1 宮城加美町小野田*1.0 色麻町四竈*1.0 東松島市矢本*1.0 利府町利府*0.9 栗原市栗駒*0.9 大河原町新南*0.9 石巻市大街道南*0.9 宮城美里町北浦*0.9 角田市角田*0.8 丸森町鳥屋*0.8 栗原市金成*0.8 気仙沼市赤岩*0.7 気仙沼市笹が陣*0.7 大崎市鹿島台*0.7 栗原市鶯沢*0.7 栗原市瀬峰*0.7 気仙沼市唐桑町*0.6 大崎市岩出山*0.6 大崎市鳴子*0.6</p>				
		<p>1 函館市新浜町*1.3 新千歳空港=0.7 函館市泊町*0.7</p> <p>1 秋田市雄和妙法*1.4 大仙市高梨*1.4 大仙市刈和野*1.3 井川町北川尻*1.2 由利本荘市前郷*1.2 由利本荘市西目町沼田*1.1 横手市大雄*1.0 秋田美郷町土崎*0.9 大仙市北長野*0.9 秋田市雄和女米木*0.8 由利本荘市岩谷町*0.8 にかほ市平沢*0.8 大館市桜町*0.8 大館市中城*0.8 大仙市太田町太田*0.8 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*0.8 仙北市西木町上荒井*0.8 大館市比内町扇田*0.7 大仙市神宮寺*0.7 大仙市協和境野田*0.6 大仙市南外*0.6 仙北市角館町東勝楽丁*0.6 仙北市田沢湖生保内上清水*0.6 由利本荘市尾崎*0.6 横手市中央町*0.6 由利本荘市岩城内道川*0.6 由利本荘市石脇=0.5 能代市緑町=0.5 大館市早口*0.5 潟上市天王*0.5 秋田市山王=0.5 秋田美郷町六郷東根=0.5</p>				
		<p>1 中山町長崎*1.2 酒田市飛鳥*0.8 酒田市亀ヶ崎=0.7 村山市中央*0.7 酒田市山田*0.6 遊佐町遊佐=0.6 三川町横山*0.5 遊佐町舞鶴*0.5 庄内町余目*0.5</p>				
69	11 14 29	三陸沖 岩手県	39° 36.2' N	143° 36.6' E	39km	M: 4.8
		1 盛岡市玉山区薮川*1.1 宮古市田老*0.6				
70	11 14 31	釧路地方中南部 北海道	43° 27.9' N	144° 03.6' E	0km	M: 2.3
		1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.2				
71	11 15 15	福井県嶺北 福井県 岐阜県	35° 55.0' N	136° 37.7' E	10km	M: 2.9
		1 大野市貝皿*0.9 大野市朝日*0.9				
		1 揖斐川町東杉原*0.7				
72	11 18 19	種子島南東沖 鹿児島県	29° 41.8' N	131° 26.5' E	56km	M: 4.7
		2 肝付町新富*1.9				
		1 錦江町田代支所*1.4 鹿屋市新栄町=1.2 錦江町城元*1.2 鹿屋市串良町岡崎*1.1 大崎町仮宿*1.1 中種子町野間*1.1 南種子町西之*0.9 枕崎市高見町=0.6 屋久島町宮之浦*0.6 錦江町田代麓=0.5 西之表市住吉=0.5				
		1 宮崎市松橋*0.9 都城市菖蒲原=0.5				
73	11 18 45	西表島付近 沖縄県	24° 12.4' N	123° 47.6' E	15km	M: 3.2
		1 竹富町船浮=1.2 竹富町大原=0.7				
74	11 21 42	日向灘 宮崎県	32° 17.4' N	132° 00.4' E	20km	M: 3.1
		1 川南町川南*1.0 宮崎都農町役場*0.8 高鍋町上江*0.7				
75	13 05 56	宮城県沖 岩手県	38° 59.6' N	142° 15.8' E	50km	M: 4.7
		3 一関市室根町*2.8 一関市千厩町*2.8 釜石市中妻町*2.6 住田町世田米*2.6 釜石市只越町=2.6 大船渡市猪川町=2.5 大船渡市大船渡町=2.5				
		2 陸前高田市高田町*2.3 平泉町平泉*2.1 北上市相去町*2.0 一関市藤沢町*2.0 大船渡市盛町*2.0 一関市大東町=1.9 奥州市胆沢区*1.9 遠野市青笹町*1.9 盛岡市玉山区薮川*1.8 一関市花泉町*1.8 一関市東山町*1.6 遠野市宮守町*1.6 盛岡市玉山区渋民*1.6 矢巾町南矢幅*1.6 宮古市茂市*1.5 山田町大沢*1.5 奥州市衣川区*1.5 金ヶ崎町西根*1.5				
		1 宮古市区界*1.4 大槌町小鏡*1.4 盛岡市山王町=1.4 花巻市大迫町=1.4 八幡平市田頭*1.3 滝沢市鶴飼*1.3 花巻市東和町*1.3 北上市柳原町=1.3 奥州市前沢区*1.3 奥州市江刺区*1.2 宮古市田老*1.2 宮古市川井*1.2 西和賀町沢内川舟*1.2 宮古市五月町*1.1				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		花巻市石鳥谷町*=1.1 花巻市大迫総合支所*=1.1 宮古市楯ヶ崎=1.1 盛岡市馬場町*=1.0 一戸町高善寺*=1.0 山田町八幡町=1.0 奥州市水沢区佐倉河*=0.9 花巻市材木町*=0.9 八幡平市大更=0.9 岩手町五日市*=0.9 一関市竹山町*=0.9 西和賀町川尻*=0.8 宮古市長沢=0.8 奥州市水沢区大鐘町=0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 九戸村伊保内*=0.6 雫石町千刈田=0.5 葛巻町消防分署*=0.5 宮城県 3 南三陸町志津川=2.9 気仙沼市唐桑町*=2.8 気仙沼市赤岩=2.5 2 気仙沼市笹が陣*=2.4 大崎市田尻*=2.3 石巻市桃生町*=2.3 涌谷町新町裏=2.0 登米市迫町*=1.9 石巻市北上町*=1.9 栗原市若柳*=1.8 石巻市相野谷*=1.8 大崎市松山*=1.7 栗原市金成*=1.7 石巻市泉町=1.7 登米市中田町=1.7 登米市豊里町*=1.7 栗原市栗駒=1.7 塩竈市旭町*=1.7 南三陸町歌津*=1.6 宮城美里町北浦*=1.6 大崎市古川大崎=1.6 大崎市鹿島台*=1.6 登米市東和町*=1.6 登米市米山町*=1.6 登米市南方町*=1.6 女川町女川浜*=1.6 大崎市古川北町*=1.5 登米市登米町*=1.5 岩沼市桜*=1.5 栗原市瀬峰*=1.5 栗原市志波姫*=1.5 栗原市高清水*=1.5 東松島市矢本*=1.5 気仙沼市本吉町津谷*=1.5 1 栗原市築館*=1.4 宮城美里町木間塚*=1.4 大崎市古川三日町=1.4 名取市増田*=1.4 石巻市大街道南*=1.4 石巻市前谷地*=1.4 栗原市一迫*=1.3 松島町高城=1.3 登米市津山町*=1.2 色麻町四籠*=1.2 仙台青葉区作並*=1.2 仙台宮城野区苦竹*=1.2 東松島市小野*=1.2 登米市石越町*=1.2 栗原市鶯沢*=1.1 利府町利府*=1.1 石巻市大瓜=1.0 石巻市鮎川浜*=1.0 大崎市鳴子*=1.0 気仙沼市本吉町西川内=1.0 宮城加美町中新田*=1.0 石巻市雄勝町*=0.9 亶理町下小路*=0.9 大郷町粕川*=0.9 栗原市花山*=0.8 大崎市岩出山*=0.8 角田市角田*=0.8 蔵王町円田*=0.8 宮城川崎町前川*=0.8 宮城加美町小野田*=0.8 山元町浅生原*=0.8 大衡村大衡*=0.8 仙台空港=0.7 仙台若林区遠見塚*=0.7 仙台泉区将監*=0.7 仙台青葉区大倉=0.6 柴田町船岡=0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 青森県 1 階上町道仏*=1.3 八戸市南郷区*=0.9 青森南部町苔米地*=0.7 青森南部町平*=0.7 八戸市湊町=0.7 五戸町古館=0.5 八戸市内丸*=0.5 秋田県 1 大仙市高梨*=0.8 横手市大雄*=0.5 大仙市北長野*=0.5 山形県 1 尾花沢市若葉町*=0.8 河北町谷地=0.5 福島県 1 田村市滝根町*=0.8 相馬市中村*=0.8				
76	13 12 33	伊予灘 山口県 1 平生町平生*=0.8	33° 43.1' N	132° 16.9' E	49km	M: 3.1
77	14 04 15	徳島県北部 徳島県 2 美馬市木屋平*=1.9 1 美馬市穴吹町*=1.2 つるぎ町貞光*=1.2 吉野川市鴨島町=1.1 吉野川市川島町*=0.9 那賀町和食*=0.9 神山村神領*=0.8 石井町高川原*=0.8 美馬市穴吹ふれスポ公園=0.6 美馬市脇町=0.6 佐那河内村下*=0.5	33° 57.5' N	134° 15.2' E	7km	M: 3.0
78	14 11 16	日高地方東部 北海道 1 浦河町築地*=0.5	42° 19.0' N	142° 59.8' E	50km	M: 3.3
79	14 12 46	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=0.5	34° 01.5' N	135° 14.1' E	5km	M: 1.5
80	14 13 18	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田*=1.3 富岡町本岡*=1.1 浪江町幾世橋=1.0 大熊町野上*=0.9 いわき市三和町=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8 いわき市平四ツ波*=0.6 白河市新白河*=0.5	37° 09.4' N	141° 25.4' E	48km	M: 3.9
81	15 05 59	長野県北部 新潟県 1 妙高市関川*=0.6	36° 50.9' N	138° 12.7' E	14km	M: 2.0
82	15 07 22	小笠原諸島西方沖 東京都 1 小笠原村母島=1.3 小笠原村父島三日月山=0.7	27° 25.5' N	140° 39.4' E	404km	M: 5.5
83	15 17 38	網走地方 北海道 3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=2.7 2 弟子屈町弟子屈*=1.5 1 弟子屈町サワチサップ*=1.4 津別町幸町*=1.3 弟子屈町美里=1.1 美幌町東3条=0.8 陸別町陸別*=0.8 斜里町ウトロ香川*=0.5	43° 29.9' N	144° 03.6' E	0km	M: 3.8
84	16 04 41	長野県北部 長野県 1 栄村北信*=0.9	36° 56.2' N	138° 35.6' E	5km	M: 2.5
85	16 13 42	新潟県上中越沖 新潟県 2 柏崎市西山町池浦*=1.5 1 刈羽村割町新田*=1.3 出雲崎町米田=1.1 小千谷市旭町*=1.0 長岡市小国町法坂*=1.0 長岡市寺泊教ヶ首根*=1.0 柏崎市中央町*=0.9 長岡市上岩井*=0.9 阿賀町鹿瀬中学校*=0.9 三条市新堀*=0.8 長岡市寺泊一里塚*=0.8 弥彦村矢作*=0.8 長岡市寺泊烏帽子平*=0.8 出雲崎町川西*=0.7 関川村下関*=0.7 燕市分水桜町*=0.7 長岡市中之島*=0.6 長岡市与板町与板*=0.6 阿賀町白崎*=0.6 長岡市千手*=0.5 長岡市小島谷*=0.5 山形県 1 飯豊町上原*=0.5	37° 27.9' N	138° 28.7' E	18km	M: 3.8
86	16 16 47	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=1.0	38° 42.0' N	141° 47.9' E	53km	M: 3.1

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
87	16 19 50	網走地方 北海道 2 釧路市阿寒町阿寒湖温泉* =1.5	43° 29.0' N	144° 02.7' E	0km	M: 2.4
88	17 02 59	宮城県沖 宮城県 福島県 1 仙台空港=1.2 山元町浅生原* =1.0 名取市増田* =0.9 岩沼市桜* =0.8 1 新地町谷地小屋* =0.7	37° 58.3' N	141° 04.8' E	14km	M: 3.5
89	17 04 57	千葉県東方沖 千葉県 1 東金市日吉台* =0.8 芝山町小池* =0.7	35° 41.3' N	140° 45.1' E	45km	M: 3.4
90	17 09 56	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校* =0.7	36° 27.7' N	140° 38.9' E	15km	M: 2.8
91	18 08 39	東京湾 東京都 神奈川県 静岡県 1 調布市西つづじヶ丘* =0.9 町田市中町* =0.5 1 横浜神奈川区神大寺* =1.4 三浦市城山町* =1.3 横浜中区山手町=1.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町* =1.1 横浜青葉区榎が丘* =1.0 横浜青葉区市ヶ尾町* =0.9 横浜旭区川井宿町* =0.9 横浜緑区十日市場町* =0.9 横浜旭区今宿東町* =0.8 横浜瀬谷区三ツ境* =0.8 横浜港南区丸山台東部* =0.8 横浜鶴見区鶴見* =0.7 横浜旭区上白根町* =0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6 横浜金沢区白帆* =0.5 1 東伊豆町奈良本* =1.2	35° 32.4' N	139° 53.6' E	69km	M: 3.5
92	18 10 06	広島県北部 広島県 1 安芸高田市高宮町* =0.6 広島三次市君田町* =0.5	34° 54.5' N	132° 48.2' E	8km	M: 2.5
93	18 16 36	岩手県沿岸北部 青森県 岩手県 宮城県 1 青森南部町苦米地* =1.2 八戸市内丸* =0.9 八戸市南郷区* =0.8 八戸市湊町=0.6 五戸町古館=0.5 2 階上町道仏* =1.7 2 遠野市青笹町* =2.1 宮古市区界* =1.5 盛岡市玉山区薮川* =1.5 宮古市川井* =1.5 1 普代村銅屋* =1.4 葛巻町葛巻元木=1.4 盛岡市玉山区渡民* =1.3 八幡平市田頭* =1.3 遠野市宮守町* =1.3 宮古市田老* =1.2 宮古市茂市* =1.2 田野畑村田野畑=1.2 花巻市大迫総合支所* =1.2 一関市室根町* =1.2 花巻市東和町* =1.1 野田村野田* =1.0 久慈市枝成沢=1.0 矢巾町南矢幅* =1.0 花巻市大迫町=1.0 葛巻町消防分署* =0.9 葛巻町役場* =0.9 住田町世田米* =0.9 紫波町日詰* =0.9 久慈市川崎町=0.8 北上市相去町* =0.8 大船渡市大船渡町=0.8 一関市千蔵町* =0.8 盛岡市馬場町* =0.7 花巻市材木町* =0.7 八幡平市大更=0.7 山田町大沢* =0.7 二戸市浄法寺町* =0.7 田野畑村役場* =0.7 岩泉町大川* =0.7 花巻市石鳥谷町* =0.6 岩手町五日市* =0.6 釜石市中妻町* =0.6 北上市柳原町=0.6 八幡平市叭田* =0.6 岩泉町岩泉* =0.6 盛岡市山王町=0.6 一関市東山町* =0.6 岩手洋野町大野* =0.6 九戸村伊保内* =0.5 釜石市只越町=0.5 軽米町軽米* =0.5 1 気仙沼市笹が陣* =0.6 気仙沼市唐桑町* =0.6	39° 45.4' N	141° 50.4' E	59km	M: 4.0
94	19 03 49	新潟県中越地方 新潟県 長野県 2 十日町市上山* =1.6 1 津南町下船渡* =1.0 十日町市松之山* =0.7 1 栄村北信* =0.5	36° 59.9' N	138° 38.1' E	8km	M: 2.4
95	19 09 35	福島県沖 福島県 宮城県 3 田村市都路町* =2.7 浪江町幾世橋=2.6 2 檜葉町北田* =2.3 富岡町本岡* =2.3 白河市郭内=2.1 相馬市中村* =2.1 福島広野町下北迫大谷地原* =2.0 新地町谷地小屋* =2.0 南相馬市原町区高見町* =2.0 川内村下川内=1.9 須賀川市岩瀬支所* =1.9 福島伊達市霊山町* =1.9 南相馬市小高区* =1.9 二本松市油井* =1.8 国見町藤田* =1.8 浅川町浅川* =1.8 田村市大越町* =1.8 葛尾村落合落合* =1.8 田村市常葉町* =1.8 南相馬市原町区三島町=1.8 白河市新白河* =1.8 いわき市三和町=1.8 本宮市本宮* =1.7 本宮市白岩* =1.7 いわき市平梅本* =1.7 飯館村伊丹沢* =1.7 福島市飯野町* =1.7 福島伊達市梁川町* =1.7 南相馬市原町区本町* =1.7 小野町小野新町* =1.7 天栄村下松本* =1.6 田村市滝根町* =1.6 福島伊達市月館町* =1.6 田村市船引町=1.6 須賀川市八幡山* =1.5 二本松市金色* =1.5 川内村上川内早渡* =1.5 川俣町樋ノ口* =1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5 南相馬市鹿島区西町* =1.5 白河市表郷* =1.5 1 郡山市湖南町* =1.4 福島市桜木町* =1.3 福島市五老内町* =1.3 郡山市朝日=1.3 白河市東* =1.3 桑折町東大隅* =1.3 鏡石町不時沼* =1.3 玉川村小高* =1.3 福島伊達市保原町* =1.3 いわき市平四ツ波* =1.3 大熊町野上* =1.3 福島広野町下北迫苗代替* =1.2 二本松市針道* =1.2 白河市八幡小路* =1.1 白河市大信* =1.1 須賀川市長沼支所* =1.1 須賀川市牛袋町* =1.1 小野町中通* =1.1 福島伊達市前川原* =1.1 福島市松木町=1.1 南相馬市鹿島区栴蓮=1.1 猪苗代町千代田* =1.1 石川町下泉* =1.0 三春町大町* =1.0 大玉村玉井* =1.0 泉崎村泉崎* =1.0 古殿町松川新桑原* =0.9 川内村上川内小山平* =0.9 大玉村曲藤=0.8 西郷村熊倉* =0.8 平田村永田* =0.8 いわき市錦町* =0.7 いわき市小名浜=0.6 矢祭町戸塚* =0.5 猪苗代町城南=0.5 矢祭町東館* =0.5 2 石巻市桃生町* =2.1 角田市角田* =2.1 山元町浅生原* =2.1 岩沼市桜* =1.9 松島町高城=1.8 利府町利府* =1.7 宮城川崎町前川* =1.6 亘理町下小路* =1.6 登米市迫町* =1.6 東松島市矢本* =1.5 丸森町鳥屋* =1.5 仙台宮城野区五輪=1.5 仙台若林区遠見塚* =1.5 石巻市大街道南* =1.5 名取市増田* =1.5 1 登米市中田町=1.4 登米市米山町* =1.4 大崎市松山* =1.4 丸森町上滝=1.4 大崎市田尻* =1.3	37° 30.7' N	141° 32.3' E	46km	M: 4.7



地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		仙台空港=1.3 蔵王町円田*=1.3 大河原町新南*=1.3 柴田町船岡=1.3 大崎市古川三日町=1.3 塩竈市旭町*=1.3 東松島市小野*=1.3 登米市南方町*=1.3 涌谷町新町裏=1.2 宮城美里町木間塚*=1.2 宮城加美町中新田*=1.2 色麻町四蔵*=1.2 女川町女川浜*=1.2 大崎市鹿島台*=1.1 仙台青葉区落合*=1.1 白石市互理町*=1.1 大郷町柏川*=1.1 大衡村大衡*=1.1 栗原市築館*=1.1 栗原市瀬峰*=1.1 栗原市若柳*=1.0 仙台青葉区雨宮*=1.0 南三陸町志津川=1.0 仙台太白区山田*=1.0 石巻市相野谷*=1.0 登米市登米町*=1.0 七ヶ浜町東宮浜*=1.0 栗原市志波姫*=0.9 栗原市高清水*=0.9 大崎市古川大崎=0.9 大崎市古川北町*=0.9 仙台泉区将監*=0.9 栗原市一迫*=0.9 石巻市前谷地*=0.9 宮城美里町北浦*=0.8 栗原市栗駒=0.8 石巻市北上町*=0.8 気仙沼市赤岩=0.8 七ヶ宿町関*=0.8 登米市東和町*=0.8 村田町村田*=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.8 仙台青葉区大倉=0.7 大和町吉岡*=0.7 富谷町富谷*=0.7 気仙沼市唐桑町*=0.7 石巻市泉町=0.6 石巻市鮎川浜*=0.6 多賀城市中央*=0.6 登米市津山町*=0.5 1 階上町道仏*=0.9 八戸市南郷区*=0.6 青森県 岩手県 1 一関市千厩町*=1.1 一関市室根町*=1.1 釜石市中妻町*=1.1 一関市花泉町*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 奥州市衣川区*=0.9 住田町世田米*=0.9 盛岡市玉山区薮川*=0.8 奥州市前沢区*=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 盛岡市山王町=0.7 宮古市田老*=0.7 一関市東山町*=0.7 一関市竹山町*=0.6 北上市相去町*=0.6 遠野市青笹町*=0.6 山形県 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.9 笠間市石井*=0.9 大子町池田*=0.9 東海村東海*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 日立市役所*=0.7 高萩市安良川*=0.7 高萩市下手綱*=0.7 土浦市常名=0.6 水戸市内原町*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 城里町石塚*=0.5 笠間市笠間*=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=1.2 大田原市湯津上*=0.9 宇都宮市明保野町=0.6				
96	19 11 13	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1	29° 53.1' N	129° 55.5' E	10km	M: 2.1
97	19 14 47	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.8	36° 35.1' N	141° 08.5' E	33km	M: 3.2
98	19 17 09	父島近海 東京都 1 小笠原村父島三日月山=0.8 小笠原村母島=0.8	27° 03.7' N	143° 46.9' E	78km	M: 5.2
99	19 21 30	奄美大島北東沖 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=1.5 鹿児島十島村悪石島*=1.5 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.9 奄美市名瀬港町=0.7 奄美市笠利町里*=0.7	29° 13.4' N	130° 28.4' E	66km	M: 4.4
100	20 11 44	神奈川県西部 神奈川県 2 箱根町湯本*=1.6 1 小田原市久野=1.0 湯河原町中央=1.0 静岡県 1 熱海市泉*=0.6 伊豆市中伊豆グラウンド=0.5 三島市東本町=0.5 三島市大社町*=0.5	35° 13.5' N	139° 01.5' E	5km	M: 2.9
101	20 16 42	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.6	38° 20.4' N	141° 33.3' E	56km	M: 3.3
102	20 18 06	長野県南部 長野県 1 木曾町三岳*=0.7	35° 52.0' N	137° 35.0' E	6km	M: 2.1
103	20 18 18	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.0 笠間市石井*=0.9 大子町池田*=0.9 常陸大宮市上小瀬*=0.9 水戸市金町=0.8 ひたちなか市東石川*=0.7 筑西市門井*=0.7 桜川市羽田*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 笠間市下郷*=0.6 石岡市柿岡=0.6 水戸市内原町*=0.6 常陸大宮市北町*=0.6 常陸大宮市野口*=0.6 常陸大宮市山方*=0.6 小美玉市堅倉*=0.5 土浦市常名=0.5 東海村東海*=0.5 水戸市千波町*=0.5 笠間市笠間*=0.5 那珂市福田*=0.5 城里町石塚*=0.5 栃木県 1 真岡市石島*=0.8 茂木町茂木*=0.7	36° 16.6' N	140° 39.7' E	54km	M: 3.4
104	20 22 50	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.6	25° 35.1' N	143° 12.9' E	0km	M: 4.8
105	21 13 16	宮城県沖 宮城県 2 女川町女川浜*=2.2 石巻市桃生町*=1.8 登米市豊里町*=1.7 涌谷町新町裏=1.5 1 石巻市鮎川浜*=1.4 石巻市大街道南*=1.4 大崎市鹿島台*=1.3 気仙沼市唐桑町*=1.2 石巻市北上町*=1.2 松島町高城=1.2 石巻市泉町=1.1 宮城川崎町前川*=1.1 大崎市田尻*=1.0 石巻市雄勝町*=1.0 塩竈市旭町*=1.0 岩沼市桜*=1.0 互理町下小路*=0.9 東松島市矢本*=0.9 東松島市小野*=0.9 宮城美里町北浦*=0.9 登米市南方町*=0.8 石巻市前谷地*=0.8 仙台若林区遠見塚*=0.8 名取市増田*=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.8 七ヶ浜町東宮浜*=0.7 仙台泉区将監*=0.7 登米市中田町=0.6 登米市東和町*=0.6 南三陸町歌津*=0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 気仙沼市赤岩=0.6 栗原市栗駒=0.6 栗原市築館*=0.6 南三陸町志津川=0.5 柴田町船岡=0.5 栗原市金成*=0.5 大崎市古川大崎=0.5 岩手県 1 一関市藤沢町*=1.1 一関市千厩町*=1.1 一関市室根町*=1.1 住田町世田米*=0.8 大船渡市大船渡町=0.6 釜石市中妻町*=0.5 一関市東山町*=0.5 大船渡市猪川町=0.5 一関市花泉町*=0.5 福島県 1 田村市船引町=0.9 田村市大越町*=0.9 福島伊達市霊山町*=0.9 相馬市中村*=0.9 飯館村伊丹沢*=0.9 南相馬市鹿島区西町*=0.7 南相馬市鹿島区栢窪=0.5 南相馬市原町区高見町*=0.5	38° 10.9' N	141° 41.4' E	50km	M: 4.0

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
106	21 22 59	茨城県南部 茨城県 栃木県	36° 01.9' N	139° 55.9' E	43km	M: 2.8
		1 水戸市内原町*0.6 笠間市石井*0.6 笠間市下郷*0.6 1 栃木市旭町=0.6				
107	22 05 30	茨城県沖 福島県	36° 29.5' N	141° 07.4' E	53km	M: 4.1
		2 平田村永田*1.8 玉川村小高*1.6 白河市新白河*1.5 1 泉崎村泉崎*1.4 矢祭町戸塚*1.3 須賀川市岩瀬支所*1.2 矢祭町東館*1.2 いわき市平四ツ波*1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 いわき市小名浜=1.1 鏡石町不時沼*1.1 天栄村下松本*1.1 白河市東*1.1 浅川町浅川*1.1 田村市滝根町*1.1 古殿町松川新桑原*1.0 郡山市開成*1.0 須賀川市八幡山*0.9 郡山市湖南町*0.9 田村市船引町=0.8 二本松市油井*0.8 白河市郭内=0.8 郡山市朝日=0.8 いわき市錦町*0.8 大玉村曲藤=0.7 石川町下泉*0.7 いわき市三和町=0.6 小野町中通*0.6 田村市都路町*0.6 檜葉町北田*0.6 福島広野町下北迫大谷地原*0.5 小野町小野新町*0.5 福島市松木町=0.5				
		茨城県 2 日立市助川小学校*2.0 笠間市石井*2.0 日立市十王町友部*1.8 高萩市安良川*1.8 高萩市下手綱*1.7 城里町石塚*1.6 東海村東海*1.5 水戸市内原町*1.5 鉾田市汲上*1.5 1 日立市役所*1.4 笠間市笠間*1.4 常陸大宮市北町*1.4 常陸大宮市上小瀬*1.4 土浦市常名=1.4 大子町池田*1.3 常陸太田市町屋町=1.3 常陸大宮市野口*1.3 那珂市瓜連*1.3 ひたちなか市南神敷台*1.3 茨城町小堤*1.2 常陸大宮市山方*1.1 笠間市中央*1.1 那珂市福田*1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 水戸市金町=1.0 水戸市千波町*1.0 ひたちなか市東石川*1.0 常陸太田市高柿町*1.0 北茨城市磯原町*1.0 茨城鹿嶋市宮中*1.0 小美玉市堅倉*0.9 美浦村受領*0.9 石岡市柿岡=0.9 行方市山田*0.8 桜川市岩瀬*0.8 桜川市真壁*0.8 小美玉市上玉里*0.8 土浦市下高津*0.8 常陸太田市町田町*0.7 土浦市藤沢*0.7 鉾田市鉾田=0.7 鉾田市造谷*0.7 城里町阿波山*0.7 つくば市研究学園*0.7 小美玉市小川*0.7 笠間市下郷*0.7 筑西市門井*0.7 かすみがうら市上土田*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.6 取手市寺田*0.6 かすみがうら市大和田*0.6 潮来市堀之内=0.6 桜川市羽田*0.6 つくば市天王台*0.5 行方市麻生*0.5 筑西市舟生=0.5				
		栃木県 1 宇都宮市中里町*1.0 真岡市石島*1.0 益子町益子=0.9 大田原市湯津上*0.8 茂木町茂木*0.8 栃木那珂川町馬頭*0.7 小山市神島谷*0.5 真岡市田町*0.5 芳賀町祖母井*0.5				
		千葉県 1 芝山町小池*0.8 香取市仁良*0.8 香取市佐原平田=0.5				
108	22 11 17	宮城県沖 岩手県	38° 44.1' N	142° 20.0' E	38km	M: 5.0
		2 一関市千厩町*1.9 住田町世田米*1.9 釜石市中妻町*1.8 一関市藤沢町*1.8 宮古市五月町*1.7 盛岡市玉山区薮川*1.6 大船渡市猪川町=1.6 陸前高田市高田町*1.6 一関市室根町*1.5 遠野市青笹町*1.5 奥州市江刺区*1.5 1 宮古市田老*1.4 矢巾町南矢幅*1.4 遠野市宮守町*1.4 大船渡市大船渡=1.3 山田町大沢*1.3 平泉町平泉*1.2 花巻市大迫町=1.2 北上市相去町*1.2 釜石市越崎町=1.2 一関市竹山町*1.1 一関市花泉町*1.1 一関市東山町*1.1 花巻市東和町*1.1 奥州市前沢区*1.1 盛岡市玉山区洪民*1.0 花巻市石鳥谷町*1.0 奥州市胆沢区*1.0 奥州市衣川区*1.0 金ヶ崎町西根*0.9 二戸市浄法寺町*0.9 八幡平市田頭*0.9 山田町八幡町=0.9 盛岡市山王町=0.9 宮古市区界*0.8 宮古市川井*0.8 一関市大東町=0.8 大船渡市盛町*0.7 宮古市茂市*0.6 北上市柳原町=0.6 宮古市長沢=0.6 八幡平市大更=0.5 宮古市鉾ヶ崎=0.5 盛岡市馬場町*0.5 奥州市水沢区大鐘町=0.5 奥州市水沢区佐倉河*0.5 葛巻町葛巻元木=0.5				
		宮城県 2 気仙沼市赤岩=2.2 石巻市桃生町*2.1 岩沼市桜*2.0 登米市登米町*2.0 気仙沼市唐桑町*1.9 涌谷町新町裏=1.8 登米市迫町*1.8 気仙沼市笹が陣*1.8 大河原町新南*1.7 石巻市前谷地*1.7 宮城美里町木間塚*1.7 登米市豊里町*1.6 石巻市大街道南*1.6 南三陸町志津川=1.6 女川町女川浜*1.6 登米市南方町*1.5 石巻市北上町*1.5 登米市中田町=1.5				
		1 栗原市栗駒=1.4 栗原市築館*1.4 栗原市若柳*1.4 登米市米山町*1.4 大崎市古川三日町=1.4 大崎市古川大崎=1.4 大崎市松山*1.4 名取市増田*1.4 角田市角田*1.4 蔵王町円田*1.4 丸森町鳥屋*1.4 亘理町下小路*1.4 塩竈市旭町*1.4 色麻町四竈*1.3 大崎市古川北町*1.3 山元町浅生原*1.3 石巻市相野谷*1.3 大崎市田尻*1.3 東松島市矢本*1.3 松島町高城=1.3 宮城美里町北浦*1.3 栗原市一迫*1.2 石巻市鮎川浜*1.2 大崎市鹿島台*1.2 栗原市高清水*1.2 利府町利府*1.2 栗原市瀬峰*1.1 栗原市志波姫*1.1 宮城加美町中新田*1.1 栗原市金成*1.1 大衡村大衡*1.1 宮城川崎町前川*1.1 仙台青葉区作並*1.1 仙台宮城野区五輪=1.0 村田町村田*1.0 東松島市小野*1.0 大崎市鳴子*1.0 登米市東和町*0.9 南三陸町歌津*0.9 大郷町粕川*0.9 栗原市鶯沢*0.9 栗原市花山*0.9 仙台若林区遠見塚*0.9 宮城加美町小野田*0.9 白石市亘理町*0.9 石巻市雄勝町*0.8 柴田町船岡=0.8 仙台青葉区落合*0.8 七ヶ浜町東宮浜*0.8 石巻市泉町=0.8 大和町吉岡*0.8 気仙沼市本吉町津谷*0.8 大崎市三本木*0.7 仙台青葉区大倉=0.7 仙台太白区山田*0.7 登米市石越町*0.7				
		福島県 2 田村市大越町*1.5 1 玉川村小高*1.4 国見町藤田*1.3 南相馬市鹿島区西町*1.3 川俣町樋ノ口*1.2 相馬市中村*1.2 田村市滝根町*1.1 本宮市白岩*1.1 須賀川市八幡山*1.0 二本松市針道*1.0 福島伊達市梁川町*1.0 本宮市本宮*0.9 新地町谷地小屋*0.9 郡山市朝日=0.8 飯館村伊丹沢*0.8 福島市松木町=0.8 福島伊達市壘山町*0.7 いわき市三和町=0.7 檜葉町北田*0.7 浪江町幾世橋=0.7 天栄村下松本*0.7 福島市桜木町*0.7 南相馬市原町区三島町=0.6 南相馬市原町区高見町*0.6 福島広野町下北迫大谷地原*0.5 浅川町浅川*0.5 田村市船引町=0.5				
		青森県 1 階上町道仏*1.2 八戸市南郷区*0.9 青森南部町苔米地*0.9 八戸市湊町=0.6 五戸町古館=0.6				
		秋田県 1 大仙市高梨*0.6 横手市大雄*0.5 大仙市刈和野*0.5				
		山形県 1 中山町長崎*0.8 尾花沢市若葉町*0.6 米沢市林泉寺*0.6				
		茨城県 1 笠間市石井*0.6 筑西市舟生=0.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
109	22 18 12	群馬県南部 群馬県	36° 14.3' N	139° 24.2' E	18km	M: 2.8 1 桐生市元宿町*=0.7
110	22 22 11	高知県東部 高知県	33° 28.1' N	134° 05.8' E	12km	M: 3.1 1 安田町安田*=1.3 馬路村馬路*=1.2 東洋町生見*=1.1 奈半利町役場*=0.9 北川村野友*=0.6
111	23 00 35	青森県東方沖 青森県	41° 29.0' N	142° 05.2' E	63km	M: 4.6 4 東通村砂子又沢内*=3.6 2 東通村砂子又蒲谷地=2.4 階上町道仏*=2.3 むつ市金曲=2.1 むつ市大畑町中島*=2.0 野辺地町田狭沢*=2.0 平内町小湊=1.9 むつ市金谷*=1.9 東通村白糠*=1.9 野辺地町野辺地*=1.8 外ヶ浜町蟹田*=1.7 横浜町林ノ脇*=1.7 八戸市南郷区*=1.7 六ヶ所村尾駈=1.6 むつ市川内町*=1.6 八戸市湊町=1.5 1 八戸市内丸*=1.4 七戸町森ノ上*=1.4 五戸町倉石中市*=1.4 青森南部町平*=1.4 大間町大間*=1.4 東通村尻屋*=1.4 青森南部町苫米地*=1.3 横浜町寺下*=1.3 五戸町古館=1.3 三沢市桜町*=1.3 東北町上北南*=1.2 平内町東田沢*=1.1 六ヶ所村出戸=1.0 おいらせ町中下田*=1.0 中泊町中里*=1.0 青森南部町沖田面*=1.0 東北町塔ノ沢山*=1.0 青森市浪岡*=0.9 三戸町在府小路町*=0.9 七戸町七戸*=0.9 むつ市大畑町奥葉研=0.9 十和田市奥瀬*=0.8 五所川原市金木町*=0.8 佐井村長後*=0.8 藤崎町西豊田*=0.8 おいらせ町上明堂*=0.8 むつ市脇野沢*=0.8 十和田市西二番町*=0.7 今別町今別*=0.7 蓬田村蓬田*=0.7 六戸町犬落瀬*=0.7 青森市花園=0.7 青森市中央*=0.7 北海道 2 函館市泊町*=2.1 函館市新浜町*=1.7 1 函館市日ノ浜町*=1.2 安平町早来北進*=1.0 新千歳空港=0.9 千歳市若草*=0.8 厚真町鹿沼=0.7 札幌東区元町*=0.7 福島町福島*=0.7 壮瞥町滝之町*=0.6 新ひだか町静内山手町=0.6 七飯町桜町=0.6 七飯町本町*=0.5 苫小牧市末広町=0.5 様似町栄町*=0.5 函館市美原=0.5 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=1.2 軽米町軽米*=1.2 盛岡市玉山区薮川*=1.0 久慈市枝成沢=0.9 岩手洋野町種市=0.5 岩手洋野町大野*=0.5
112	23 15 48	千葉県東方沖 千葉県	35° 32.8' N	141° 02.1' E	36km	M: 3.4 1 銚子市若宮町*=0.7
113	23 17 57	福島県沖 福島県	37° 30.5' N	141° 22.6' E	51km	M: 3.5 1 浪江町幾世橋=0.9 川内村下川内=0.6
114	23 18 13	青森県津軽北部 青森県	40° 43.0' N	140° 27.9' E	15km	M: 2.4 1 つがる市森田町*=0.5
115	23 20 06	宮城県沖 宮城県	38° 42.5' N	142° 16.5' E	38km	M: 4.0 1 石巻市桃生町*=1.0 南三陸町志津川=0.8 気仙沼市赤岩=0.7
116	23 21 18	小笠原諸島西方沖 東京都	27° 42.0' N	140° 10.7' E	484km	M: 6.8 4 小笠原村母島=3.5 3 小笠原村父島三日月山=2.6 2 小笠原村父島西町=2.3 1 東京千代田区大手町=1.2 東京江東区塩浜*=1.1 東京品川区平塚*=1.0 東京足立区伊興*=1.0 東京中央区勝どき*=0.9 東京港区海岸=0.9 東京江東区越中島*=0.9 東京大田区本羽田*=0.9 東京荒川区東尾久*=0.9 東京板橋区高島平*=0.9 東京足立区神明南*=0.9 東京江東区青海=0.8 東京荒川区荒川*=0.8 東京足立区千住中居町*=0.8 東京江戸川区船堀*=0.8 東京港区白金*=0.7 東京文京区大塚*=0.7 東京江東区東陽*=0.7 東京江東区亀戸*=0.7 東京品川区北品川*=0.7 東京北区赤羽南*=0.7 東京板橋区板橋*=0.7 東京葛飾区金町*=0.7 東京北区西ヶ原*=0.6 東京練馬区東大泉*=0.6 町田市中町*=0.6 東京渋谷区宇田川町*=0.6 国分寺市戸倉=0.5 東京板橋区相生町*=0.5 宮城県 2 丸森町鳥屋*=2.0 1 角田市角田*=1.3 石巻市大街道南*=1.2 大崎市古川北町*=1.0 蔵王町円田*=1.0 大崎市古川三日町=0.9 大河原町新南*=0.8 宮城川崎町前川*=0.8 宮城美里町木間塚*=0.8 大崎市三本木*=0.8 松島町高城=0.7 登米市登米町*=0.7 宮城加美町中新田*=0.7 登米市米山町*=0.6 栗原市若柳*=0.6 東松島市矢本*=0.6 福島県 2 福島市松木町=1.5 国見町藤田*=1.5 1 泉崎村泉崎*=1.4 浪江町幾世橋=1.4 郡山市湖南町*=1.1 いわき市錦町*=1.1 須賀川市八幡山*=1.1 いわき市小名浜=1.0 大熊町野上*=0.9 平田村永田*=0.9 古殿町松川新桑原*=0.9 玉川村小高*=0.8 南相馬市原町区三島町=0.8 猪苗代町城南=0.8 郡山市朝日=0.8 川内村上川内小山平*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 いわき市三和町=0.5 栃木県 2 栃木市岩舟町静*=1.5 1 高根沢町石末*=1.2 大田原市湯津上*=1.1 真岡市田町*=1.1 真岡市石島*=1.1 宇都宮市明保野町=0.8 益子町益子=0.7 日光市芹沼*=0.6 埼玉県 2 宮代町笠原*=1.7 熊谷市大里*=1.5 久喜市栗橋*=1.5 幸手市東*=1.5 1 加須市大利根*=1.4 鴻巣市中央*=1.4 鴻巣市吹上富士見*=1.3 久喜市青葉*=1.3 川口市青木*=1.3 春日部市谷原新田*=1.3 戸田市上戸田*=1.3 久喜市鷲宮*=1.2 杉戸町清地*=1.2 さいたま市大宮区天沼町*=1.2 春日部市粕壁*=1.1 さいたま緑区中尾*=1.1 久喜市菖蒲*=1.1 川口市三ツ和*=1.1 草加市高砂*=1.0 蕨市中央*=1.0 加須市下三俣*=1.0 鴻巣市川里*=1.0 加須市騎西*=0.9 八潮市中央*=0.9 富士見市鶴馬*=0.9 吉川市吉川*=0.9 さいたま南区別所*=0.9 春日部市金崎*=0.9 三郷市幸房*=0.8 川島町平沼*=0.8 行田市本丸*=0.8 さいたま中央区下落合*=0.8 久喜市下早見=0.8 さいたま見沼区堀崎*=0.7 越谷市越ヶ谷*=0.7 さいたま岩槻区本丸*=0.7 白岡市千駄野*=0.7 志木市中宗岡*=0.7 吉見町下細谷*=0.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		加須市北川辺*0.7 伊奈町小室*0.7 鶴ヶ島市三ツ木*0.6 さいたま北区宮原*0.6 行田市南河原*0.6 さいたま浦和区高砂*0.6 埼玉美里町木部*0.5 山形県 1 中山町長崎*1.4 村山市中央*0.9 茨城県 1 高萩市下手綱*1.4 つくばみらい市加藤*1.4 岡崎市柿岡*1.3 日立市役所*1.3 笠間市中央*1.3 坂東市岩井*1.2 筑西市舟生*1.2 笠間市石井*1.1 利根町布川*0.5 土浦市常名*0.5 群馬県 1 邑楽町中野*1.0 片品村東小川*0.9 群馬明和町新里*0.7 千代田町赤岩*0.7 館林市美園町*0.7 板倉町板倉*0.7 館林市城町*0.6 沼田市白沢町*0.6 桐生市元宿町*0.6 桐生市黒保根町*0.5 沼田市西倉内町*0.5 安中市安中*0.5 千葉県 1 市原市姉崎*1.2 鴨川市横渚*1.2 千葉美浜区ひび野*1.1 千葉中央区都町*1.0 浦安市日の出*1.0 館山市長須賀*1.0 君津市久留里市場*0.9 鴨川市八色*0.8 東金市日吉台*0.7 千葉中央区中央港*0.7 南房総市上堀*0.7 多古町多古*0.6 勝浦市墨名*0.5 香取市佐原平田*0.5 神奈川県 1 川崎市崎区千鳥町*1.3 横浜中区山手町*1.2 横浜神奈川区神大寺*1.1 新潟県 1 刈羽村割町新田*0.8 南魚沼市六日町*0.7					
117	23 21 22	小笠原諸島西方沖 東京都 2 小笠原村母島=1.5 1 小笠原村父島三日月山=0.5	27° 41.9' N	140° 13.6' E	480km	M: 5.4	
118	24 06 47	高知県東部 高知県 1 安田町安田*1.4 馬路村馬路*1.4 東洋町生見*1.1 安芸市矢ノ丸*0.5 北川村野友*0.5 安芸市西浜=0.5	33° 28.2' N	134° 05.9' E	13km	M: 3.0	
119	24 12 42	根室地方南部 北海道 1 別海町本別海*0.6	43° 14.7' N	145° 18.0' E	78km	M: 3.3	
120	24 18 12	奈良県 奈良県 1 奈良川上村迫*1.2	34° 19.7' N	135° 58.8' E	4km	M: 2.7	
121	25 07 34	宮城県沖 宮城県 1 宮城川崎町前川*0.8 名取市増田*0.7 大崎市田尻*0.7 東松島市矢本*0.7 石巻市桃生町*0.6 石巻市大街道南*0.6 角田市角田*0.5 大衡村大衡*0.5 福島県 1 田村市船引町*0.5	38° 15.3' N	141° 51.9' E	63km	M: 3.8	
122	26 04 11	新潟県上越地方 新潟県 1 上越市安塚区安塚*0.8 上越市蒲川原区釜淵*0.8 上越市大島区岡*0.7	37° 09.2' N	138° 31.3' E	14km	M: 2.0	
123	26 14 49	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*1.3 東海村東海*1.1 那珂市福田*0.9 日立市役所*0.8 城里町石塚*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.6 ひたちなか市南神敷台*0.6 水戸市内原町*0.6 常陸大宮市北町*0.5 水戸市金町=0.5	36° 26.7' N	140° 54.3' E	32km	M: 3.3	
124	26 19 38	青森県東方沖 北海道 2 函館市泊町*1.5 1 函館市新浜町*1.0 様似町栄町*0.9 千歳市若草*0.7 新千歳空港=0.6 登別市鉾山=0.5 むかわ町穂別*0.5 千歳市北栄=0.5 えりも町えりも岬*0.5 函館市日ノ浜町*0.5 青森県 2 階上町道仏*2.3 東通村砂子又沢内*2.1 六ヶ所村尾駸=1.8 野辺地町田狭沢*1.6 八戸市湊町=1.6 1 東通村砂子又蒲谷地=1.4 野辺地町野辺地*1.3 八戸市内丸*1.2 青森南部町苦米地*1.2 青森南部町平*1.2 むつ市金曲=1.2 八戸市南郷区*1.2 東通村白糠*1.1 むつ市金谷*1.1 東通村尻屋*1.0 横浜町林ノ脇*1.0 七戸町森ノ上*1.0 東北町上北南*0.9 五戸町古館=0.9 三沢市桜町*0.9 六ヶ所村出戸*0.8 五戸町倉石中市*0.8 むつ市大畑町中島*0.8 東北町塔ノ沢山*0.7 外ヶ浜町蟹木*0.7 横浜町寺下*0.7 むつ市大畑町奥薬研=0.6 岩手県 1 軽米町軽米*1.2 久慈市枝成沢=1.1 盛岡市玉山区藪川*0.9 岩手洋野町種市=0.7 岩手洋野町大野*0.5	41° 29.1' N	142° 00.4' E	65km	M: 4.4	
125	27 01 16	与那国島近海 沖縄県 1 竹富町大原=0.6 竹富町船浮=0.6 竹富町黒島=0.5	24° 52.5' N	123° 19.8' E	116km	M: 4.7	
126	27 03 30	北海道東方沖 北海道 2 根室市落石東*1.7 1 別海町常盤=1.4 根室市瑤瑤瑠*1.3 根室市牧の内*1.1 標津町北2条*1.1 標茶町塘路*1.0 別海町本別海*1.0 根室市弥栄=0.5 白糠町西1条*0.5 浜中町霧多布*0.5	43° 56.2' N	146° 58.2' E	73km	M: 4.7	
127	27 05 39	奄美大島近海 鹿児島県 3 奄美市名瀬港町=3.2 奄美市名瀬幸町*2.6 2 瀬戸内町西古見=2.3 奄美市笠利町里*2.3 瀬戸内町加計呂麻島*2.2 瀬戸内町請島*2.2 奄美市住用町西仲間*2.2 大和村思勝*2.0 瀬戸内町古仁屋*1.7 瀬戸内町与路島*1.7 宇檢村湯湾*1.6 龍郷町浦*1.6 天城町平土野*1.5 1 龍郷町屋入=1.4 喜界町滝川=1.1 伊仙町伊仙*1.0 喜界町湾*0.7	28° 18.2' N	129° 30.4' E	35km	M: 4.2	
128	27 10 30	千葉県北東部 千葉県 1 多古町多古=0.7	35° 42.5' N	140° 42.3' E	51km	M: 3.2	

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
129	27 15 23	茨城県沖 茨城県 千葉県	36° 11.5' N	140° 57.6' E	43km	M: 3.6 2 茨城鹿嶋市宮中*=1.6 1 茨城鹿嶋市鉢形=1.3 ひたちなか市南神敷台*=0.9 潮来市堀之内=0.7 日立市助川小学校*=0.7 土浦市常名=0.6 1 成田市花崎町=1.0 香取市役所*=0.7 香取市仁良*=0.7
130	27 16 57	福島県沖 福島県 茨城県 栃木県	36° 51.8' N	140° 57.4' E	55km	M: 3.8 2 田村市大越町*=2.2 平田村永田*=2.1 田村市滝根町*=2.1 田村市都路町*=2.0 檜葉町北田*=2.0 いわき市平梅本*=1.9 玉川村小高*=1.7 田村市常葉町*=1.6 田村市船引町=1.6 小野町小野新町*=1.5 1 棚倉町棚倉中居野=1.4 古殿町松川新桑原*=1.4 いわき市小名浜=1.4 天栄村下松本*=1.3 小野町中通*=1.3 いわき市平四ツ波*=1.2 川内村下川内=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 鏡石町不時沼*=1.2 白河市新白河*=1.2 いわき市三和町=1.1 福島広野町下北迫大谷地原*=1.1 二本松市金色*=1.0 浪江町幾世橋=1.0 葛尾村落合落合*=1.0 二本松市油井*=1.0 いわき市錦町*=1.0 白河市東*=1.0 須賀川市岩瀬支所*=1.0 飯館村伊丹沢*=0.9 富岡町本岡*=0.9 大玉村玉井*=0.9 郡山市開成*=0.9 本宮市本宮*=0.9 石川町下泉*=0.9 須賀川市八幡山*=0.8 大熊町野上*=0.7 福島広野町下北迫苗代替*=0.7 川内村上川内小山平*=0.7 浅川町浅川*=0.7 古殿町松川横川=0.6 大玉村曲藤=0.5 2 高萩市下手綱*=1.8 高萩市安良川*=1.6 1 大子町池田*=1.4 日立市助川小学校*=1.3 北茨城市磯原町*=1.2 常陸大宮市山方*=1.2 日立市役所*=1.0 東海村東海*=0.8 水戸市内原町*=0.8 日立市十王町友部*=0.8 常陸太田市町屋町=0.7 常陸太田市高柿町*=0.6 常陸大宮市北町*=0.6 笠間市笠間*=0.6 笠間市石井*=0.5 水戸市千波町*=0.5 常陸大宮市上小瀬*=0.5 栃木県 1 那須烏山市中央=0.5
131	27 20 20	千葉県北西部 東京都 神奈川県	35° 48.7' N	140° 05.2' E	64km	M: 3.2 1 東京江東区塩浜*=0.7 東京渋谷区本町*=0.6 1 川崎中原区小杉町*=0.6
132	28 01 14	山口県東部 山口県	34° 10.7' N	132° 12.6' E	9km	M: 2.5 1 岩国市横山*=0.9
133	28 05 44	トカラ列島近海 鹿児島県	30° 05.9' N	130° 14.6' E	68km	M: 3.8 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8 鹿児島十島村口之島出張所*=0.7 屋久島町宮之浦*=0.6
134	28 07 37	栃木県北部 福島県	37° 07.7' N	139° 56.6' E	4km	M: 2.7 1 下郷町高崎*=0.6
135	28 07 58	宮城県沖 宮城県 岩手県	38° 33.7' N	142° 04.6' E	43km	M: 4.0 2 石巻市桃生町*=1.9 石巻市泉町=1.7 石巻市大街道南*=1.6 1 涌谷町新町裏=1.4 登米市豊里町*=1.4 栗原市志波姫*=1.3 気仙沼市唐桑町*=1.3 大崎市田尻*=1.3 女川町女川浜*=1.3 大崎市古川大崎=1.2 南三陸町志津川=1.2 石巻市雄勝町*=1.2 東松島市矢本*=1.2 宮城美里町北浦*=1.2 石巻市北上町*=1.1 石巻市前谷地*=1.0 登米市南方町*=1.0 気仙沼市笹が陣*=1.0 登米市米山町*=1.0 栗原市瀬峰*=0.9 大崎市鹿島台*=0.9 大崎市古川三日町=0.9 岩沼市桜*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 栗原市築館*=0.8 登米市迫町*=0.8 登米市中田町=0.8 栗原市一迫*=0.8 東松島市小野*=0.8 栗原市栗駒=0.7 大崎市古川北町*=0.7 登米市登米町*=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 栗原市高清水*=0.6 栗原市金成*=0.6 登米市津山町*=0.6 登米市東和町*=0.5 登米市石越町*=0.5 石巻市相野谷*=0.5 大崎市鳴子*=0.5 南三陸町歌津*=0.5 松島町高城=0.5 1 一関市千厩町*=1.4 一関市室根町*=1.3 一関市藤沢町*=0.8 平泉町平泉*=0.7 一関市大東町=0.7 一関市東山町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 奥州市前沢区*=0.5 一関市花泉町*=0.5 住田町世田米*=0.5
136	28 10 39	宮城県沖 宮城県	38° 33.7' N	142° 04.2' E	42km	M: 3.5 1 気仙沼市唐桑町*=0.8
137	29 09 04	神奈川県西部 神奈川県	35° 14.5' N	139° 01.0' E	1km	M: 1.9 1 箱根町湯本*=0.6
138	29 12 07	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.8' N	139° 01.3' E	0km	M: 1.6 1 箱根町湯本*=0.8
139	29 14 38	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 10.2' N	129° 19.0' E	3km	M: 2.2 1 鹿児島十島村小宝島*=1.0
140	29 19 07	福島県沖 福島県	36° 53.1' N	141° 04.5' E	50km	M: 3.9 2 小野町中通*=2.4 いわき市平梅本*=2.1 小野町小野新町*=1.9 檜葉町北田*=1.9 川内村下川内=1.9 いわき市小名浜=1.9 いわき市錦町*=1.8 田村市都路町*=1.8 白河市新白河*=1.7 玉川村小高*=1.7 平田村永田*=1.6 福島広野町下北迫大谷地原*=1.6 田村市大越町*=1.5 いわき市三和町=1.5 田村市常葉町*=1.5 川内村上川内早渡*=1.5 浅川町浅川*=1.5 1 田村市船引町=1.4 田村市滝根町*=1.4 いわき市平四ツ波*=1.4 葛尾村落合落合*=1.3 矢祭町戸塚*=1.3 棚倉町棚倉中居野=1.3 矢祭町東館*=1.2 福島広野町下北迫苗代替*=1.2 富岡町本岡*=1.2 浪江町幾世橋=1.2 白河市表郷*=1.2 天栄村下松本*=1.2 飯館村伊丹沢*=1.1

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		二本松市針道*=1.1 大熊町野上*=1.1 白河市郭内=1.1 白河市大信*=1.1 川内村上川内小山平*=1.0 泉崎村泉崎*=1.0 白河市東*=1.0 鏡石町不時沼*=1.0 須賀川市岩瀬支所*=1.0 古殿町松川新桑原*=1.0 石川町下泉*=0.9 郡山市開成*=0.9 二本松市油井*=0.8 郡山市朝日=0.7 本宮市本宮*=0.7 須賀川市八幡山*=0.7 二本松市金色*=0.6 古殿町松川横川=0.6 南相馬市原町区高見町*=0.6 郡山市湖南町*=0.5 本宮市白岩*=0.5 茨城県 2 日立市十王町友部*=2.1 高萩市安良川*=1.9 日立市助川小学校*=1.7 常陸大宮市山方*=1.7 北茨城市磯原町*=1.6 常陸大宮市野口*=1.6 大子町池田*=1.5 1 常陸太田市高柿町*=1.4 高萩市下手綱*=1.4 日立市役所*=1.3 ひたちなか市南神敷台*=1.3 東海村東海*=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 笠間市石井*=1.2 笠間市笠間*=1.2 常陸太田市町屋町=1.0 常陸太田市町田町*=1.0 ひたちなか市東石川*=0.9 水戸市内原町*=0.9 那珂市瓜連*=0.9 城里町石塚*=0.9 土浦市常名=0.8 常陸大宮市上小瀬*=0.8 常陸大宮市中富町=0.7 水戸市金町=0.7 小美玉市小川*=0.6 桜川市岩瀬*=0.6 鉾田市汲上*=0.6 笠間市下郷*=0.6 城里町阿波山*=0.6 桜川市羽田*=0.5 常陸大宮市高部*=0.5 水戸市千波町*=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=1.3 大田原市湯津上*=0.9 那須烏山市中央=0.8 栃木那珂川町小川*=0.7 那須塩原市鍋掛*=0.6 宇都宮市明保野町=0.6 栃木那珂川町馬頭*=0.5				
141	29 21 10	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.2' N	139° 01.9' E	2km	M: 1.8
		1 箱根町湯本*=0.5				
142	29 22 15	島根県東部 島根県	35° 08.6' N	132° 46.8' E	9km	M: 2.4
		1 雲南市吉田町吉田*=0.5				
143	29 23 25	福島県沖 福島県	37° 21.5' N	141° 31.9' E	75km	M: 3.8
		1 田村市船引町=0.9 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8 田村市都路町*=0.7 檜葉町北田*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.6 白河市新白河*=0.6 浪江町幾世橋=0.5				
144	30 00 09	和歌山県南部 和歌山県	33° 36.9' N	135° 34.9' E	21km	M: 2.9
		1 白浜町日置*=1.0				
145	30 02 59	千葉県北西部 茨城県	35° 42.9' N	139° 59.1' E	65km	M: 3.3
		1 笠間市石井*=0.5				
146	30 06 04	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.3' N	139° 01.9' E	3km	M: 2.8
		2 箱根町湯本*=1.8 1 湯河原町中央=0.9 小田原市久野=0.6 静岡県 1 裾野市石脇*=0.9 富士宮市野中*=0.5				
147	30 06 14	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.2' N	139° 01.6' E	1km	M: 2.1
		1 箱根町湯本*=0.8				
148 (注)	30 06 56 30 06 57	<b>神奈川県西部</b> <b>神奈川県西部</b> 神奈川県	<b>35° 13.5' N</b> <b>35° 13.5' N</b>	<b>139° 01.6' E</b> <b>139° 01.5' E</b>	<b>3km</b> <b>5km</b>	<b>M: 3.3</b> <b>M: 2.8</b>
		3 箱根町湯本*=2.8 2 小田原市久野=1.8 湯河原町中央=1.8 南足柄市関本*=1.5 1 中井町比奈窪*=1.1 松田町松田惣領*=1.1 開成町延沢*=0.9 山北町山北*=0.9 静岡県 1 熱海市泉*=1.3 伊豆の国市四日町*=1.3 函南町平井*=1.1 三島市東本町=1.1 伊豆の国市長岡*=1.0 裾野市石脇*=1.0 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 三島市大社町*=0.9 静岡清水町堂庭*=0.9 沼津市高島本町*=0.8 御殿場市萩原=0.8 富士市吉永*=0.7 富士宮市野中*=0.7 長泉町中土狩*=0.7				
149	30 06 58	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.8' N	139° 01.6' E	3km	M: 2.3
		1 箱根町湯本*=0.9				
150	30 06 58	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.2' N	139° 01.5' E	3km	M: 2.0
		1 箱根町湯本*=0.7				
151	30 08 39	神奈川県西部 神奈川県	35° 12.9' N	139° 01.4' E	1km	M: 1.8
		1 箱根町湯本*=0.6				
152	30 09 12	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.7' N	139° 01.8' E	3km	M: 2.5
		2 箱根町湯本*=1.5 1 小田原市久野=0.7				
153	30 09 25	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.7' N	139° 01.6' E	3km	M: 1.9
		1 箱根町湯本*=0.5				
154	30 09 54	神奈川県西部 神奈川県	35° 13.8' N	139° 01.3' E	0km	M: 2.0
		1 箱根町湯本*=1.4				
155	30 10 32	<b>神奈川県西部</b> 神奈川県	<b>35° 14.6' N</b>	<b>139° 01.5' E</b>	<b>2km</b>	<b>M: 3.2</b>
		3 箱根町湯本*=2.6 2 小田原市久野=2.0 南足柄市関本*=1.6 山北町山北*=1.5 1 湯河原町中央=1.4 松田町松田惣領*=1.3 開成町延沢*=1.2 中井町比奈窪*=1.1 神奈川大井町金子*=0.9				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
156	30 10 45	静岡県 1 御殿場市萩原=1.4 御殿場市茱萸沢*=1.0 裾野市石脇*=0.9 熱海市泉*=0.8 三島市大社町*=0.7 富士市吉永*=0.6 富士宮市野中*=0.5	35° 14.6' N	139° 01.3' E	0km	M: 2.5
157	30 10 52	神奈川県西部 1 箱根町湯本*=1.3 小田原市久野=1.0 静岡県 1 裾野市石脇*=0.5	35° 12.9' N	139° 02.1' E	4km	M: 3.1
158	30 12 42	神奈川県置賜地方 1 湯河原町中央=0.9 小田原市久野=0.8 南足柄市関本*=0.5 山形県 1 熱海市泉*=0.8 伊豆の国市長岡*=0.8 伊豆の国市四日町*=0.7 函南町平井*=0.7 三島市大社町*=0.6 裾野市石脇*=0.6 長泉町中土狩*=0.6 三島市東本町=0.5	37° 48.3' N	140° 00.2' E	8km	M: 3.1
159	30 13 03	山形県 1 飯豊町上原*=0.8 米沢市アルカディア=0.5	28° 28.2' N	129° 09.5' E	54km	M: 3.3
160	30 16 05	奄美大島近海 1 瀬戸内町西古見=0.5	27° 11.7' N	141° 52.9' E	120km	M: 4.4
		東京都 2 小笠原村母島=1.9 1 小笠原村父島三日月山=1.3 小笠原村父島西町=1.1				

●付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 <平成26年（2014年）7月～平成27年（2015年）6月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成26年（2014年）											
7月	118	46	9	5	2					180	5日 岩手県沖（震度5弱） 8日 胆振地方中東部（震度5弱） 伊豆大島近海の地震活動 （震度3：1回、震度2：3回、震度1：13回）
8月	103	43	9	5	1					161	10日 青森県東方沖（震度5弱） 奄美大島北西沖（奄美大島の西約100km）の地震活動 （震度3：2回、震度2：3回、震度1：3回）
9月	141	37	11	5	2					196	3日 栃木県北部（震度5弱） 余震活動（震度4：1回、震度3：2回、震度2：6回、震度1：21回） 16日 茨城県南部（震度5弱）
10月	92	35	10	5						142	
11月	177	67	16	5	1		1			267	22日 長野県北部（震度6弱） 地震活動（震度6弱：1回、震度5弱：1回、 震度4：2回、震度3：9回、震度2：25回、 震度1：67回）
12月	111	38	13	4						166	
平成27年（2015年）											
1月	94	39	13	3						149	
2月	100	42	8	3		2				155	6日 徳島県南部（震度5強） 17日 岩手県沖（震度5強） 三陸沖の地震活動 （震度4：1回、震度3：1回、震度2：5回、 震度1：5回）
3月	90	33	17	2						142	
4月	85	38	8	2						133	
5月	108	37	10	2	2	2				161	13日 宮城県沖（震度5強） 22日 奄美大島近海（震度5弱） 25日 埼玉県北部（震度5弱） 30日 小笠原諸島西方沖（震度5強） 神奈川県西部の地震活動 （震度2：2回、震度1：19回）
6月	107	38	10	4	1					160	4日 網走地方（震度5弱） 余震活動（震度3：3回、震度2：4回、震度1：5回） 神奈川県西部の地震活動 （震度3：2回、震度2：4回、震度1：10回 ただし、震度2を観測した4回のうち1回は20日に発生した地震）
平成27年計	584	227	66	16	3	4	0	0	0	900	
過去1年計	1326	493	134	45	9	4	1	0	0	2012	（平成26年7月～平成27年6月）

注）「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。



### ●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M)別の月別地震回数 ＜平成26年(2014年)7月～平成27年(2015年)6月＞

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成26年(2014年)								
7月	588	113	8	2	1	712	124	1日 小笠原諸島西方沖 (M6.2) 12日 福島県沖 (M7.0) 21日 択捉島南東沖 (M6.4)
8月	478	84	9	2		573	95	10日 青森県東方沖 (M6.1) 29日 日向灘 (M6.0)
9月	357	56	11			424	67	
10月	407	54	10	1		472	65	11日 青森県東方沖 (M6.1)
11月	428	72	9	1		510	82	22日 長野県北部 (M6.7)
12月	369	79	7	2		457	88	11日 石垣島北西沖 (M6.1) 20日 福島県沖 (M6.0)
平成27年(2015年)								
1月	377	82	10			469	92	
2月	461	93	10	5		569	108	14日 台湾付近 (M6.2) 17日 三陸沖 (M6.9) 20日 三陸沖 (M6.5) 21日 三陸沖 (M6.4) 25日 鳥島近海 (M6.1)
3月	406	73	6			485	79	
4月	369	67	11	3		450	81	20日 与那国島近海 (M6.8) 20日 与那国島近海 (M6.0) 20日 与那国島近海 (M6.4)
5月	360	70	10	3	1	444	84	11日 鳥島近海 (M6.3) 13日 宮城県沖 (M6.8) 30日 小笠原諸島西方沖 (M8.1) 31日 鳥島近海 (M6.6)
6月	359	78	13	1		451	92	23日 小笠原諸島西方沖 (M6.8)
平成27年計	2332	463	60	12	1	2868	536	
過去1年計	4959	921	114	20	2	6016	1057	(平成26年7月～平成27年6月)

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

## ● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 27 年 6 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 84 回であった。

### 震度 5 弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度
平成 27 年 06 月 04 日 04 時 34 分	網走地方	5.0	5 弱	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

### 平成 19 年 10 月～平成 27 年 6 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	/	/	/	/	/	/	5 (477)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、( ) 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び国立研究開発法人海洋研究開発機構の地震観測データを利用している。

## ● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 27 年 6 月に長周期地震動階級<sup>※</sup> 1 以上を観測した地震はなかった。（平成 27 年 5 月は 2 回）

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	2	0	0	1	1	1	0	0	10
平成 26 年 (2014 年)	0	0	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	9
平成 27 年 (2015 年)	0	1	0	1	2	0							4

平成 25 年 3 月～平成 27 年 6 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数  
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）<sup>※※</sup>の提供開始以降）

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 12 月号「付録 5. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

## ● 正誤表

平成 27 年 3 月、4 月及び 5 月号の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

### 平成 27 年 3 月 地震・火山月報（防災編）

77 ページ

#### ● 付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数

平成 26 年（2014 年）12 月及び過去 1 年計の地震回数（下線部を修正）

		M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上
修正後	12 月	369	79	<u>7</u>	2		<u>457</u>	<u>88</u>
	過去 1 年計	5093	904	<u>103</u>	16	1	<u>6117</u>	<u>1024</u>
修正前	12 月	369	79	<u>8</u>	2		<u>458</u>	<u>89</u>
	過去 1 年計	5093	904	<u>104</u>	16	1	<u>6118</u>	<u>1025</u>

### 平成 27 年 4 月 地震・火山月報（防災編）

75 ページ

#### ● 付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数

平成 26 年（2014 年）12 月及び過去 1 年計の地震回数（下線部を修正）

		M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上
修正後	12 月	369	79	<u>7</u>	2		<u>457</u>	<u>88</u>
	過去 1 年計	5085	902	<u>105</u>	19	1	<u>6112</u>	<u>1027</u>
修正前	12 月	369	79	<u>8</u>	2		<u>458</u>	<u>89</u>
	過去 1 年計	5085	902	<u>106</u>	19	1	<u>6113</u>	<u>1028</u>

### 平成 27 年 5 月 地震・火山月報（防災編）

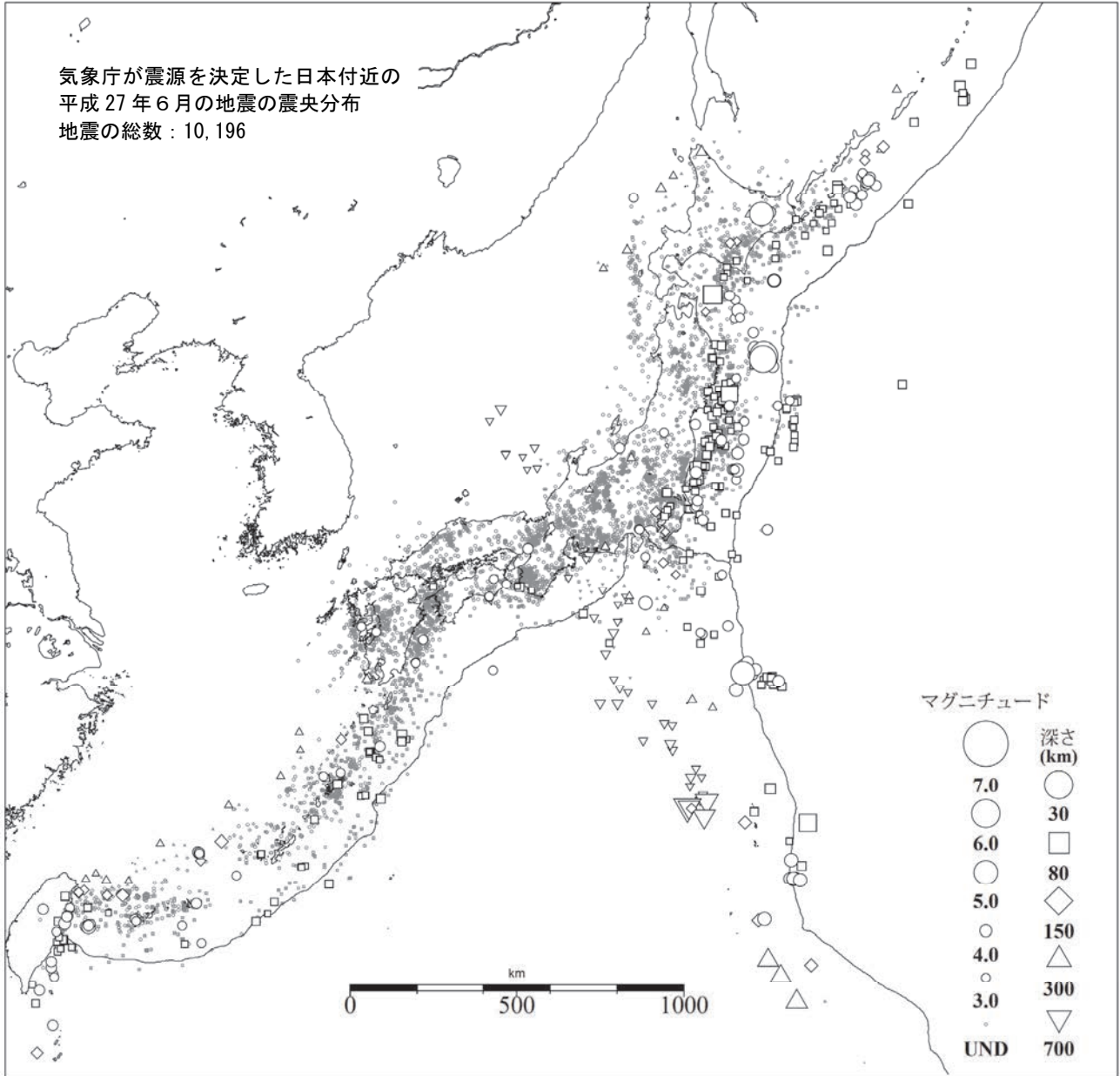
102 ページ

#### ● 付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数

平成 26 年（2014 年）12 月及び過去 1 年計の地震回数（下線部を修正）

		M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上
修正後	12 月	369	79	<u>7</u>	2		<u>457</u>	<u>88</u>
	過去 1 年計	5016	908	<u>108</u>	20	2	<u>6054</u>	<u>1038</u>
修正前	12 月	369	79	<u>8</u>	2		<u>458</u>	<u>89</u>
	過去 1 年計	5016	908	<u>109</u>	20	2	<u>6055</u>	<u>1039</u>

気象庁が震源を決定した日本付近の  
平成27年6月の地震の震央分布  
地震の総数：10,196



(M3.0以上の地震については白抜きで示す)